

使用説明書

本機を使用するための準備	1
映像を投影する	2
USBメモリーやデジタルカメラのファイルを投影する	3
便利な機能	4
ネットワーク経由で本機を使用する	5
インタラクティブ機能を使用する (RICOH PJ WX4152 _{NI} のみ)	6
本機の設定を変更する	7
困ったときには	8
保守・運用	9
付録	10

目次

はじめに.....	7
映像の著作権について.....	7
おことわり.....	7
3D 映像の視聴について.....	7
本機に同梱される説明書.....	9
この本の読みかた.....	10
正しくお使いいただくために.....	10
マークについて.....	10
本書についてのご注意.....	10
お客様登録.....	11
はがきで登録する.....	11
インターネットで登録する.....	11
1. 本機を使用するための準備	
本機を使用するときの注意事項.....	13
こんなことができます.....	15
付属品を確認する.....	17
本体各部の名称とはたらき.....	18
本体上面・操作部.....	18
本体正面・本体左側面.....	19
本体右側面・本体背面.....	20
本体底面.....	21
リモコン各部の名称とはたらき.....	22
リモコンの使いかた.....	24
リモコンの有効範囲.....	24
リモコンに電池を入れる.....	25
文字を入力する.....	26
リモコンで複数のプロジェクターを操作する.....	26
本機を設置する.....	29
設置方法.....	29
投影距離と投影画面サイズの関係.....	31
本機と機器を接続する.....	32
パソコンと接続する.....	32
AV 機器と接続する.....	34

外部スピーカーを接続する.....	35
2. 映像を投影する	
基本的な映像投影のしかた.....	37
電源を入れる.....	37
映像を投影する.....	39
電源を切る.....	40
投影画面を調整する.....	42
投影角度を調整する.....	42
ピントを調整する.....	42
台形ゆがみを補正する.....	43
投影画面のサイズを小さくする.....	44
投影中に本機を操作する.....	46
スピーカーの音量を調整する.....	46
音質を切り替える.....	46
映像を拡大する.....	47
映像と音声を一時的に消去する.....	48
映像を静止させる.....	48
ランプの設定をする.....	48
プレゼンテーションタイマーを使用する.....	49
3. USB メモリーやデジタルカメラのファイルを投影する	
USB ファイル投影の動作条件.....	51
USB 機器のファイルを投影する.....	53
USB 機器を接続する.....	53
ファイルを投影する.....	53
投影した映像を操作する.....	54
USB 機器を取り外す.....	55
JPEG 変換ツールでプレゼンテーションファイルを JPEG に変換する.....	57
JPEG 変換ツールを使用するには.....	57
プレゼンテーションファイルを JPEG に変換する.....	58
4. 便利な機能	
スライドショーで映像を投影する.....	61
日時を指定してスライドショーを投影する.....	61
スライドショーをカスタマイズする.....	65

好みの音質で再生する.....	68
プレゼンテーションするとき.....	68
音楽を再生するとき.....	68

5. ネットワーク経由で本機を使用する

ネットワーク機能を使用する前に.....	69
LAN ケーブルを接続する.....	69
無線 LAN を使用するときの注意.....	70
本機をネットワークと接続する.....	71
ネットワーク設定ウィザードを開く.....	72
有線 LAN の設定をする.....	72
無線 LAN（インフラストラクチャーモード）の設定をする.....	73
無線 LAN（アドホックモード）の設定をする.....	76
パソコン画面をネットワーク経由で投影する.....	78
QuickProjection を使用するには.....	78
QuickProjection で画像を投影する.....	79
DLNA 対応機器を使用して映像を投影する.....	81
事前準備.....	82
DLNA 対応機器から映像を投影する.....	82
サーバーのファイルを投影する.....	83
スマートデバイスを使用して映像を投影する.....	86

6. インタラクティブ機能を使用する（RICOH PJ WX4152NI のみ）

インタラクティブ機能を使用できるようにする.....	89
本機をインタラクティブモードにする.....	90
パソコン用 USB アダプターを登録する.....	91
本機に電子ペンを認識させる.....	94
RICOH PJ Interactive Software をインストールする.....	96
電子ペンの使いかた.....	98
電子ペン各部の名称とはたらき.....	98
電子ペンの操作方法.....	99
電子ペンに充電電池をセットする.....	101
電子ペンを充電する.....	103
インタラクティブ機能を使用できないとき.....	104
思いどおりに操作できないとき.....	106

7. 本機の設定を変更する

メニュー画面の見かた.....	107
設定を変更する.....	109
すべての設定を工場出荷時の設定に戻す.....	111
映像調整メニュー.....	112
表示・音設定メニュー.....	115
省エネ設定メニュー.....	117
初期設定 1 メニュー.....	119
初期設定 2 メニュー.....	120
USB 設定メニュー.....	122
設定.....	122
状態表示.....	123
ネットワーク設定メニュー.....	124
有線 LAN.....	124
無線 LAN.....	125
LAN 共通.....	129
プロジェクター ID.....	130
設定ウィザード.....	130
状態表示.....	130
ネットワークアプリ設定メニュー.....	132
管理ツール.....	132
セキュリティー.....	134
Miracast.....	135
サーバー.....	135
状態表示.....	136
管理者認証.....	136
状態表示.....	137

8. 困ったときには

インジケータ表示一覧.....	139
よくある質問.....	143
インターネットの FAQ ページを閲覧する.....	146

9. 保守・運用

使用上のお願い.....	149
--------------	-----

保守契約.....	151
本機を清掃する.....	152
エアフィルターを清掃する.....	152
底面吸気口を清掃する.....	153
投影窓を清掃する.....	154
本機を清掃する.....	155
ランプを交換する.....	156
プロジェクター管理ユーティリティで本機を管理する.....	160
プロジェクター管理ユーティリティをインストールする.....	160
本機の設定をする.....	161
プロジェクター管理ユーティリティを起動する.....	161
Web Image Monitor で本機を管理する.....	164
Web Image Monitor を表示する.....	164
閲覧モードと編集モード.....	166
編集モードにログインする.....	166
Crestron RoomView で本機を操作・監視する.....	167
Crestron WebUI を表示する.....	167
Crestron WebUI を使用する.....	168
消耗品一覧.....	171
10. 付録	
仕様.....	173
対応信号一覧.....	175
ビデオ入力.....	175
Y/Pb/Pr 入力.....	175
コンピューター入力.....	176
HDMI 入力.....	177
3D フォーマット.....	178
接続端子の仕様.....	180
Computer In 端子.....	180
コントロール端子.....	181
搭載されているソフトウェアの著作権等に関する情報.....	183
ファームウェアを更新する.....	184
お問い合わせ先.....	185



商標.....186

索引.....189

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

株式会社 リコー

東京都中央区銀座 8-13-1 〒 104-8222

<http://www.ricoh.co.jp/>

映像の著作権について

次の行為は権利者に無断で行うと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがあります。本機を使用するときは、著作者の権利を侵害しないよう注意してください。

- 営利目的で映像などを投影する行為
- 営利目的または公衆に視聴させる目的で、フリーズ、部分拡大、ズーム機能などを使用して、映像などを改変する行為
- 営利目的または公衆に視聴させる目的で、画面サイズ切り換え機能を使用して、映像などの縦横比を改変する行為

おことわり

本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスしたり本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。

本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本機の使用により生じた損害について、当社はいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。

3D 映像の視聴について

3D メガネを使用して本機で映像を視聴するときは、次の事項に注意してください。

- 3D 映像を視聴するには 3D メガネが必要です。本機は 3D メガネとの同期方式として DLP Link 方式を採用しています。DLP Link 対応 3D メガネを使用してください。
- 3D 映像の見えかたには個人差があります。
- 3D 映像を視聴する以外の目的で 3D メガネを使用しないでください。
- 3D メガネに添付されている説明書をよく読んでから使用してください。また、視聴する 3D 映像ソフトの説明書も確認してください。

-
- 3D 映像を長時間連続して視聴しないでください。1 時間視聴したら、15 分以上休憩を取ることをお勧めします。
 - 3D 映像の視聴中に体調に変化を感じたときは、すぐに視聴を中止してください。しばらくしても異常が直らないときは医師に相談してください。
 - 蛍光灯や LED 照明などを使用している部屋で視聴すると、部屋全体の明かりがちらついて見えることがあります。そのときは、ちらつきが消えるまで明かりを暗くするか、明かりを消して視聴してください。
 - 光感受性発作を起こしたことがある、または家族に該当する人がいるときは、3D 映像を視聴する前に医師に相談してください。
 - 3D 映像を視聴するときは、画面の正面に座り、左右の目の高さが同じになるような姿勢で視聴してください。
 - スクリーンに近い距離で 3D 映像を視聴すると目に負担がかかります。画面の高さの 3 倍程度スクリーンから離れて視聴してください。
 - 子供が 3D メガネを使用するときは、必ず大人の監督のもとに使用してください。
 - 3D 映像の視聴年齢は 6 歳以上を目安にしてください。健全な視覚発達に影響を及ぼす可能性があります。使用する前に医師に相談することをお勧めします。

本機に同梱される説明書

本機には紙の説明書  と画面で見る説明書 (PDF)  が用意されています。

以下は本機で用意されている説明書の一覧です。

はじめにお読みください

本機を安全にお使いいただくための注意事項を説明します。故障やけがを防ぐため、本機を使用する前に必ずお読みください。

Ultra Short Throw Projector Setting Guide

本機の設置方法を説明します。

スタートガイド

本機を使うための準備と基本的な機能について、『使用説明書』から抜粋して説明します。

スタートガイド<インタラクティブ機能> (RICOH PJ WX4152NI のみ)

インタラクティブ機能の概要と、使用するための準備について『使用説明書』から抜粋して説明します。

ネットワーク接続ガイド

本機をネットワークに接続する方法とネットワーク経由でパソコン画面を投影する方法について、『使用説明書』から抜粋して説明します。

使用説明書

操作全般についての情報、および次の内容を説明します。

- 本機を使うための準備
- 本機の設定方法
- 本機の機能が思い通りに使えないときの対処方法
- 本機の保守、運用に関する情報

使用説明書<インタラクティブ機能> (RICOH PJ WX4152NI のみ)

RICOH PJ Interactive Software の使いかたを説明します。

補足

- PDF 形式の説明書をご覧になるには、Adobe® Acrobat® Reader™/Adobe Reader が必要です。
- 説明書の分冊により、提供形態が異なります。
- 次のソフトウェアについては、略称を使用しています。

製品名	総称
RICOH JPEG 変換ツール Type A	JPEG 変換ツール

この本の読みかた

この説明書の読みかたや、使われているマークについて説明します。

正しくお使いいただくために

この説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用前に、この説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『はじめにお読みください』『安全上のご注意』をお読みください。

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

 **重要**

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。

 **補足**

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

[]

リモコンや操作部のボタンの名称を示します。

本書についてのご注意

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。

本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

お客様登録

製品保証、保守サービス、サポートなどをスムーズに受けられるよう、お客様登録を必ず行ってください。

★重要

- 保証書の再発行はできませんので、大切に保管してください。
- お客様登録をしていないと、保守サービスなどの手続きに時間がかかることがあります。

はがきで登録する

はがきでお客様登録をします。はがきに必要事項を記入して返送してください。

はがきで登録したときは、インターネットでの登録は不要です。

インターネットで登録する

インターネットでお客様登録をします。リコーホームページから登録してください。

お客様登録ページ：<http://www.ricoh.co.jp/projector/support/regist/>

「製品名」と「製造機番（製品番号）」の入力が必要です。本機に付属の「保証書」をあらかじめ用意してください。

インターネットで登録したときは、お客様登録はがきの送付は不要です。



1. 本機を使用するための準備

本体各部の名称やはたらき、リモコンの使いかたを説明します。また、本機の設置や機器との接続も説明します。

1

本機を使用するときの注意事項

⚠ 警告



- 万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入ったときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。



- 電源プラグは交流 100V のコンセントに接続してください。交流 100V 以外を使用すると、火災・感電の原因となります。



- 表示された周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。



- 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外には使用しないでください。火災や感電の原因になります。



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。



- 電源コードや接続コードをレンズや排気口の前に配線しないでください。火災の原因となります。



- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。



- ランプ点灯中は投影窓および吸気口、排気口をのぞき込まないでください。のぞき込むと強い光により視力障害など目を痛める原因となります。特にお子様のいる環境では注意してください。

⚠ 警告



- 機械の近くや内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。また、機械の近くや内部に置かないでください。火災や感電の原因になります。

⚠ 注意



- 使用中は排気口の近くに熱に弱いものを置かないでください。排気口から熱風が出るため、変形や事故の原因になります。



- 電源コードや接続ケーブルは足を引っ掛けて転倒したりしないように配線してください。本機が落下してけがの原因となることがあります。



- 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。また、接触不良になりやすい、ゆるくグラグラするコンセントで使わないでください。発熱の原因になります。電源コードは根元まで正しい向きでしっかり差し込んでください。発煙、発火、火災、感電の原因になります。



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



- ランプ点灯中に投写光をさえぎらないでください。投写光を長時間さえぎると投写光の当たった部分が高温になり、さえぎっている物が変質・変形したり、やけどや火災の原因となることがあります。また、反射した光で投影窓が高温になり、本機の故障の原因になることがあります。投写を一時的に中断するときは AV ミュート機能をお使いください。また、長時間にわたって中断したいときは本機の電源を切ってください。



- 音声が出力される前に音量を上げすぎないでください。また、電源を切る前には音量を下げてください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。

• 使用電源

電源コードは、100V、3.7A 以上、50/60Hz のコンセントに接続してください。

こんなことができます

本機で利用できる特長的な機能を紹介します。

机上投影

本機は、机上に投影できます。

イメージエコ機能

映像信号の明るさを検知して、自動的にランプの明るさを切り替えます。消費電力の節約に役立ちます。

入力検知起動

本機がスタンバイ状態のときでも、映像信号が入力されるとランプが自動的に点灯して投影を開始します。

オートキーストン機能

本機の設置角度に合わせて自動的に投影画面の台形ゆがみを補正します。

AV ミュート/フリーズ

[AV ミュート] ボタンを押すと、映像や音声を一時的に消去できます。[フリーズ] ボタンを押すと、映像を静止できます。

部分拡大/ズーム

[部分拡大] ボタン、または [ズーム] ボタンを押すと、映像を拡大したり縮小したりできます。

プレゼンテーションタイマー機能

[タイマー] ボタンを押すと、投影画面にカウントダウン方式のタイマーを表示します。経過時間を投影画面で確認できます。

壁色モード

投影する壁の色に応じて、映像の色味を補正できます。

パスワード設定/キーロック

本機にパスワードを設定し、利用者を制限できます。また、キーロックを設定すると操作部のボタンが無効になるため、誤操作防止に役立ちます。

管理者認証

管理者認証を有効にすると、管理者だけがセキュリティー関連の設定を変更できます。一般ユーザーは設定の変更ができないため、本機のセキュリティーが向上します。

ユーザーロゴ機能

本機を起動したときや入力信号がないときに、あらかじめ登録したロゴや映像を投影画面に表示できます。

PC レス機能

USB メモリーやデジタルカメラを本機に接続すると、保存されている JPEG ファイルや MPEG ファイルが投影できます。また、JPEG 変換ツールを使用すると、PowerPoint で作成した資料が投影できます。

QuickProjection

本機に付属の QuickProjection を使用すると、ネットワーク経由で映像を投影できます。

投影モードには 1 台のパソコン画面を投影する「プレゼンテーションモード」と、4 台のパソコン画面を同時に投影する「ディスカッションモード」があります。詳しくは QuickProjection のヘルプを参照してください。

Miracast

スマートデバイスの画面を投影できます。

付属品を確認する

本機には次の付属品が同梱されています。不足がないか確認してください。

付属品が不足または破損しているときは、販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。

- 『はじめにお読みください』
- 『Ultra Short Throw Projector Setting Guide』
- 『スタートガイド』
- 『スタートガイド<インタラクティブ機能>』 (RICOH PJ WX4152NI のみ)
- 『ネットワーク接続ガイド』
- リモコン
- 単四形乾電池 LR03 (2 本)
- CD-ROM
- RGB ケーブル
- 電源コードセット (日本国内専用)
- 保証書
- キャリングバッグ
- パソコン用 USB アダプター (RICOH PJ WX4152NI のみ)
- 電子ペン (RICOH PJ WX4152NI のみ)
- 電子ペン充電用ケーブル (RICOH PJ WX4152NI のみ)
- 単四形ニッケル水素充電電池 (1 本) (RICOH PJ WX4152NI のみ)

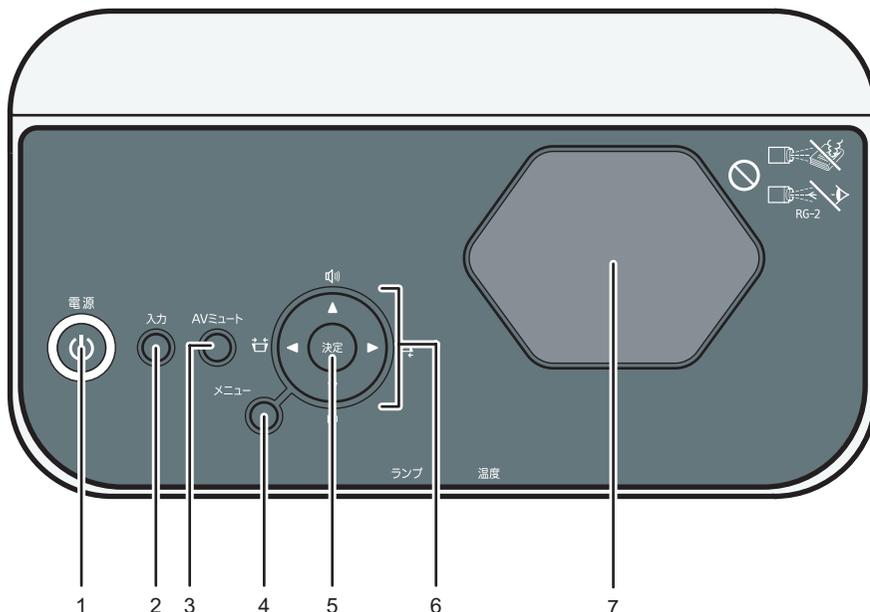
↓ 補足

- RGB ケーブル、電源コードセット、電子ペン充電用ケーブル、単四形ニッケル水素充電電池は、必ず付属のものを使用してください。
- 付属の CD-ROM には、各種アプリケーションが収録されています。各アプリケーションの使用方法は、P.57 「JPEG 変換ツールを使用するには」、P.78 「QuickProjection を使用するには」、P.96 「RICOH PJ Interactive Software をインストールする」、P.160 「プロジェクター管理ユーティリティで本機を管理する」を参照してください。

本体各部の名称とはたらき

1

本体上面・操作部



DPE136

1. [電源] ボタン

本機の電源を入れます。本機の電源が入っているときに押すと、電源が切れます。本機の状態をインジケーターで確認できます。

- 点灯：電源が入っています。
- 消灯：電源が切れています。
- ゆっくり点滅：スタンバイ状態です。
- 速く点滅：起動中または冷却中です。

2. [入力] ボタン

入力信号を切り替えます。入力信号の切り替えかたは、P.39「映像を投影する」を参照してください。

3. [AV ミュート] ボタン

映像と音声を一時的に消去します。

4. [メニュー] ボタン

メニュー画面を表示します。もう一度押すと、メニュー画面が閉じます。

5. [決定] ボタン

選択した項目やモードを決定します。

6. 選択ボタン

[◀]、[▶] ボタンで台形ゆがみを補正できます。[▼]、[▲] ボタンで音量を調整できます。
また、メニュー画面や設定バーの操作にも使用します。

7. 投影窓

映像を拡大投影します。

↓ 補足

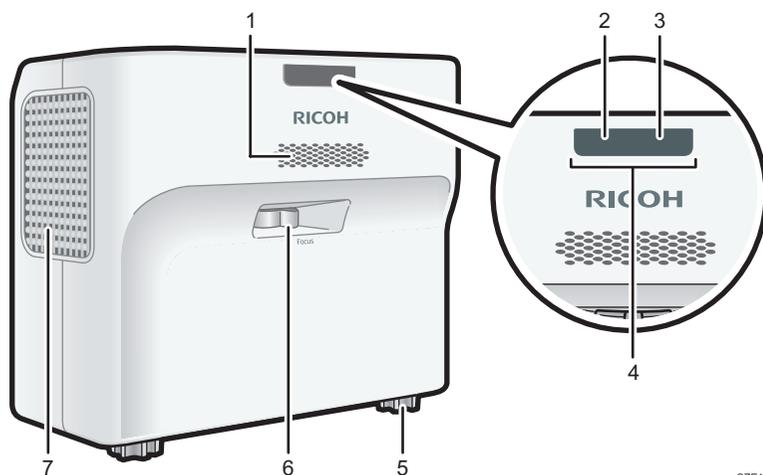
- 工場出荷時には、本体上面に保護フィルムが貼られています。保護フィルムをはがしてから、本機を使用してください。

本体正面・本体左側面

⚠ 注意



- 本機の吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口や排気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。



CZE102

1. スピーカー

外部機器から入力された音声を出力します。

2. ランプインジケータ

ランプの状態を示します。インジケータの点灯状態については、P.139「インジケータ表示一覧」を参照してください。

3. 温度インジケータ

本機内部の温度の状態を示します。インジケータの点灯状態については、P.139「インジケータ表示一覧」を参照してください。

4. リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。

5. フットアジャスター

投影角度を調整します。

6. フォーカスレバー

映像のピントを調整します。

7. 排気口

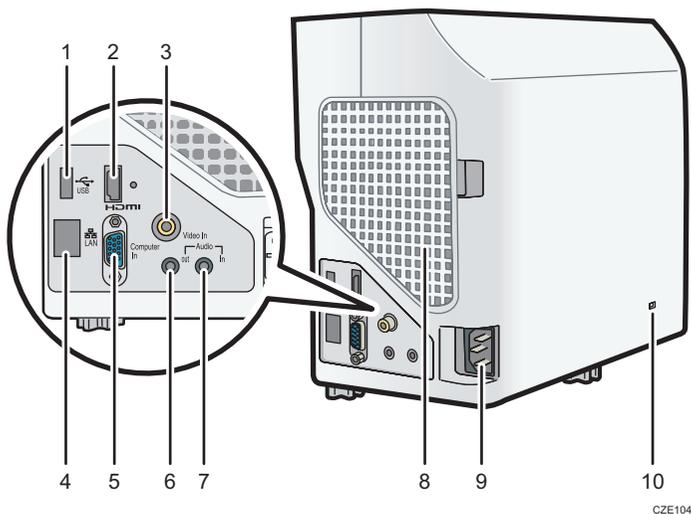
内部で高温になった空気を排出します。

本体右側面・本体背面

⚠ 注意



• 本機の吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口や排気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。



CZE104

1. USB 端子

USB 機器のコネクターや USB メモリーを接続します。

2. HDMI 端子

HDMI (High-Definition Multimedia Interface) デジタル信号を入力します。

3. Video In 端子

ビデオ機器などの映像信号を入力します。

4. LAN 端子

LAN ケーブルを接続します。

5. Computer In 端子 (Y/Pb/Pr)

パソコンなどの RGB 信号、またはビデオ機器などのコンポーネント映像信号 (Y/Pb/Pr) を入力します。

6. Audio Out 端子

外部スピーカーに音声信号を出力します。

7. Audio In 端子

パソコンやビデオ機器などの音声信号を入力します。

8. 吸気口

外部から冷却用に空気を取り入れます。

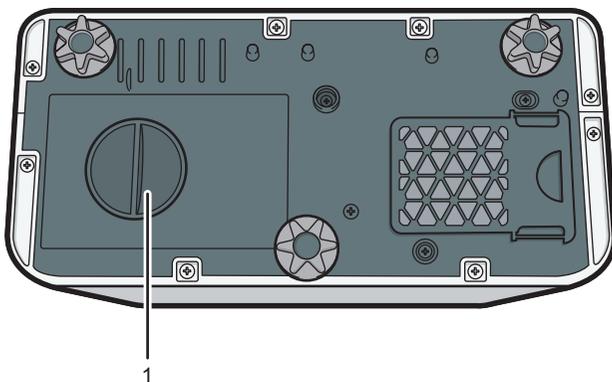
9. AC In ソケット

付属の電源コードセットを接続します。

10. セキュリティスロット (ケンジントンスロット)

盗難防止用のワイヤーを接続できます。

本体底面

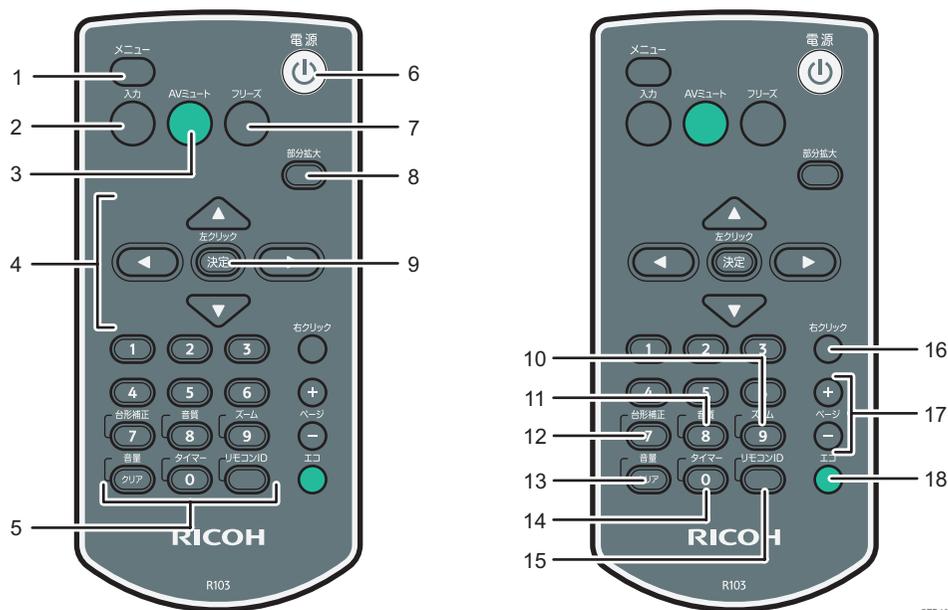


CZE105

1. ランプカバー

ランプを交換するときに取り外します。

リモコン各部の名称とはたらき



1. [メニュー] ボタン

メニュー画面を表示します。もう一度押すと、メニュー画面が閉じます。

2. [入力] ボタン

入力信号を切り替えます。入力信号の切り替えかたは、P.39「映像を投影する」を参照してください。

3. [AV ミュート] ボタン

映像と音声を一時的に消去します。詳しくは、P.48「映像と音声を一時的に消去する」を参照してください。

4. 選択ボタン

メニュー画面や設定バーを操作するときに使用します。

5. 数字ボタン

数字を入力するときに使用します。

6. [電源] ボタン

本機の電源を入れます。本機の電源が入っているときに押すと、電源が切れます。

7. [フリーズ] ボタン

映像を一時停止します。詳しくは、P.48「映像を静止させる」を参照してください。

8. [部分拡大] ボタン

部分拡大の設定バーを表示します。[部分拡大] ボタンを押し、[◀]、[▶] ボタンで倍率を調整します。詳しくは、P.47「映像を拡大する」を参照してください。

9. [決定] ボタン

選択した項目やモードを決定します。

10. [ズーム] ボタン

デジタルズームの設定バーを表示します。[ズーム] ボタンを押し、[◀]、[▶] ボタンで映像の表示サイズを調整します。詳しくは、P.44「投影画面のサイズを小さくする」を参照してください。

11. [音質] ボタン

音質の選択画面を表示します。[音質] ボタンを押し、[◀]、[▶] ボタンで音質モードを選択します。詳しくは、P.46「音質を切り替える」を参照してください。

12. [台形補正] ボタン

台形補正の設定バーを表示します。[台形補正] ボタンを押し、[◀]、[▶] ボタンで台形ゆがみを補正します。詳しくは、P.43「台形ゆがみを補正する」を参照してください。

13. [音量] ボタン

音量の設定バーを表示します。[音量] ボタンを押し、[▲]、[▼] ボタンでスピーカーの音量を調節します。詳しくは、P.46「スピーカーの音量を調整する」を参照してください。

14. [タイマー] ボタン

プレゼンテーションタイマーを表示します。詳しくは、P.49「プレゼンテーションタイマーを使用する」を参照してください。

15. [リモコン ID] ボタン

リモコン ID を設定します。詳しくは、P.26「リモコンで複数のプロジェクターを操作する」を参照してください。

16. [右クリック] ボタン

使用しません。

17. [ページ] ボタン

USB 機器やサーバーのファイルを投影しているときに、ファイルを切り替えます。[+] ボタンで次のファイルに切り替えます。[-] ボタンで前のファイルに戻ります。

18. [エコ] ボタン

ランプパワーを切り替えます。詳しくは、P.48「ランプの設定をする」を参照してください。

リモコンの使いかた

リモコンを使用して、本機の電源の入/切や、入力信号を切り替えられます。また、映像を拡大、縮小したり、一時的に消去したりできます。

★重要

- リモコンを使用するときは、次の点に注意してください。
 - リモコンを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
 - 高温になる場所や湿度の高い場所にリモコンを置かないでください。
 - リモコンに水をかけないでください。また、濡れたものの上に置かないでください。

リモコンの有効範囲

リモコン送信部をリモコン受光部に向けて操作してください。

リモコンの有効範囲は、受光部から 4.5m 以内、左右に 15 度以内です。

↓補足

- 使用場所や周囲の状況によっては、リモコン操作を受け付けにくいことがあります。このようなときは、リモコンを本機に向け直し再度操作してください。
- リモコン受光部に太陽光や蛍光灯などの強い光が当たると、リモコンが動作しないことがあります。

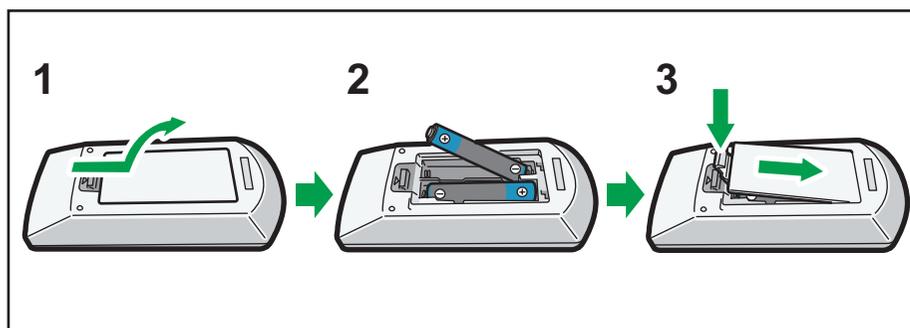
リモコンに電池を入れる

⚠ 警告



- 電池は次の注意事項を守って安全に使用してください。電池の使いかたを誤ると電池の液もれや破裂により、火災やけがの原因になることがあります。
 - 指定された電池以外は使用しないでください。
 - 種類の異なる電池・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
 - 極性(+、-)を正しく入れてください。
 - 充電式以外の電池は充電しないでください。
 - 電池は加熱したり火や水の中に投げ込んだりしないでください。
 - +極と-極を針金などで接続しないでください。
 - 表示されている「使用推奨期間」を過ぎた電池、使い切った電池はすぐに取り出してください。
 - 長期間使用しないときは、電池を取り出してください。
 - 電池は乳幼児や幼児の手の届くところに置かないでください。飲み込んだり喉に詰まらせたりすることがあります。飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

電池を入れる



CUD092

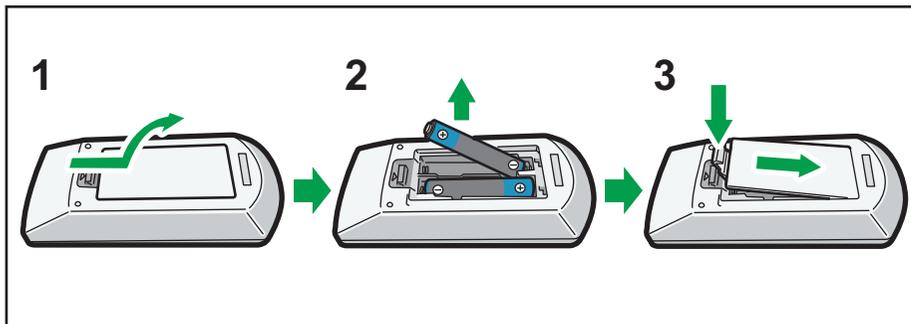
1. リモコンの電池カバーをはずします。
2. 電池を入れます。
電池のプラスとマイナスを確かめて入れてください。
3. 電池カバーを閉めます。

↓ 補足

- リモコンが動作しなかったり到達距離が短くなったりしたときは、新しい電池と交換してください。

1

電池を取り出す



DHY115

1. リモコンの電池カバーをはずします。
2. 電池を取り出します。
3. 電池カバーを閉めます。

文字を入力する

メニュー画面で文字を入力するときは、投影画面に表示されたキーボードを使用します。

1. [▲]、[▼]、[◀]、または [▶] ボタンを押して文字を選択します。
選択された文字はオレンジに反転します。
2. [決定] ボタンを押します。
選択した文字がテキストエリアに表示されます。
3. すべての文字を入力したあと、[OK] を選択します。
4. [決定] ボタンを押します。

↓ 補足

- 数字はリモコンの数字ボタンからも入力できます。

リモコンで複数のプロジェクターを操作する

1つのリモコンで複数台のプロジェクターを操作できます。操作できるプロジェクターは最大4台です。リモコンのID番号と同じID番号が割り当てられたプロジェクターを操

作できます。本機に付属のリモコンで操作できるプロジェクターは、RICOH PJ WX4152NI/WX4152N/WX4152 です。

次の手順でリモコンとプロジェクターの ID 番号を設定してください。

1

プロジェクターに ID 番号を設定する

リモコンで複数のプロジェクターを操作するには、プロジェクターごとに異なるリモコン ID を設定します。次の手順は、操作部のボタンで操作してください。

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. [初期設定 2] を選択し、[▶] ボタンを押します。
3. [リモコン ID] を選択し、[決定] ボタンを押します。
4. プロジェクターに割り当てる ID 番号を選択し、[決定] ボタンを押します。

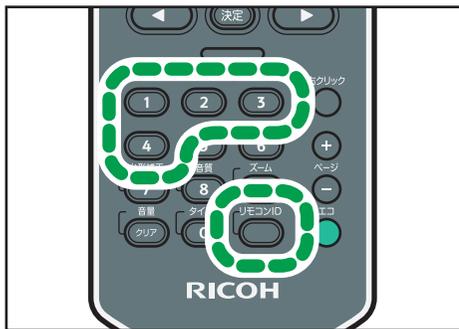


5. 確認画面で [OK] を選択し、[決定] ボタンを押します。
6. [メニュー] ボタンを押し、メニュー画面を閉じます。

リモコンの ID 番号を切り替える

リモコンの ID 番号を、操作するプロジェクターの ID 番号に切り替えます。プロジェクターの ID 番号は、初期設定 2 メニューの「リモコン ID」で確認できます。

1. [リモコン ID] ボタンを押したまま、操作するプロジェクターに割り当てた ID 番号の数字ボタンを 3 秒以上押します。



CZD105

リモコンの ID 番号が切り替わると、選択した ID 番号のプロジェクターをリモコンで操作できます。

本機を設置する

本機の背面をスクリーンに向け、スクリーンと平行になるように設置します。

スクリーンのサイズに合わせて、スクリーンと本機の距離を調整してください。投影距離については、P.31「投影距離と投影画面サイズの関係」を参照してください。

1

設置方法

⚠ 警告

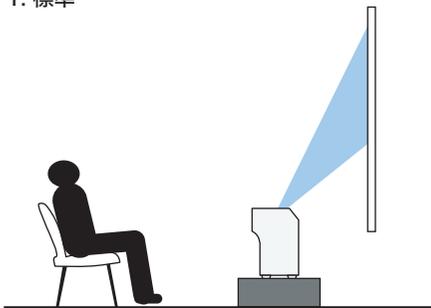


- 本機为天吊り・壁掛け設置は、正しく設置されていないと落下などによる事故の原因となります。天吊り・壁掛け設置は、販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。

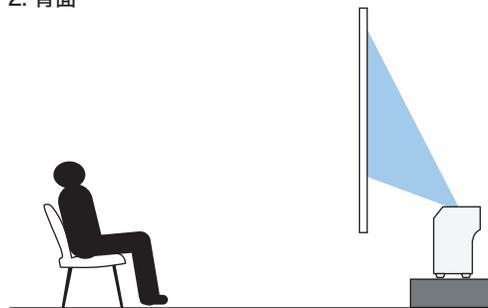
本機は5通りの方法で設置できます。

初期設定2メニューの「設置状態」で、設置方法に合った設定を選択してください。詳しくは、P.120「初期設定2メニュー」を参照してください。

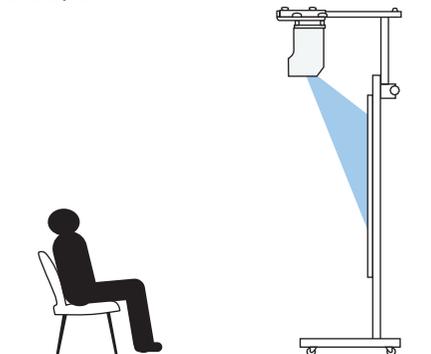
1. 標準



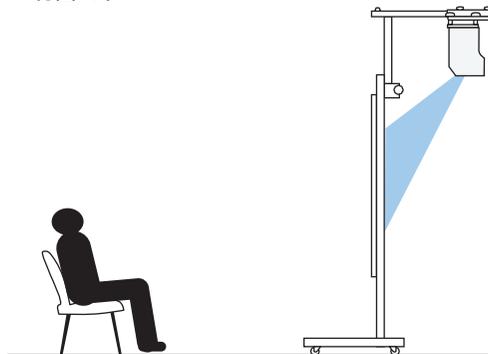
2. 背面



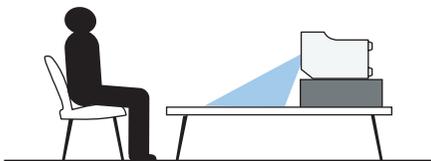
3. 天吊り



4. 背面天吊り



5. 机上



CZD106

1. 標準

スクリーンの正面に本機を設置し、投影します。

2. 背面

スクリーンの背後に本機を設置し、投影します。

3. 天吊り

スクリーンの正面に天吊りで本機を設置し、投影します。

4. 背面天吊り

スクリーンの背後に天吊りで本機を設置し、投影します。

5. 机上

机上をスクリーンとして本機を設置し、投影します。

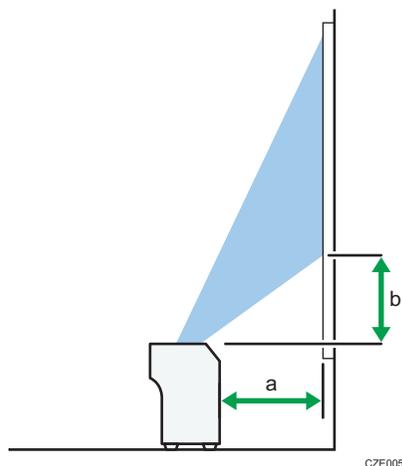
↓ 補足

- 天井への投影には対応していません。

投影距離と投影画面サイズの関係

本機とスクリーンの距離によって、投影画面サイズは異なります。

次の表を参考にして、適切な位置に本機を設置してください。表の「投影画面サイズ」はフルサイズの映像を台形補正なしで投影したときの目安です。



投影画面サイズ	投影距離 (a)	投影高さ (b)
48 型	12cm	9cm
60 型	17cm	12cm
80 型	25cm	16cm

本機と機器を接続する

⚠ 注意



- 電源コードや接続ケーブルは足を引っ掛けて転倒したりしないように配線してください。本機が落下してけがの原因となることがあります。

本機にはさまざまな機器を接続できます。

本機に機器を接続するときは、機器の電源を切ってください。また、接続する機器の説明書をあらかじめ確認してください。

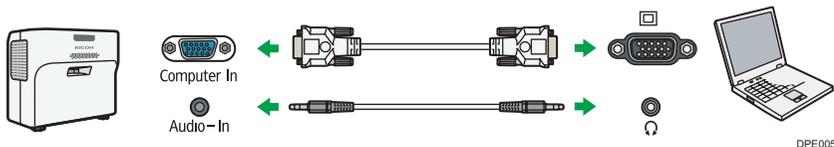
パソコンと接続する

↓ 補足

- パソコンの機種によっては、本機に接続できないものがあります。出力端子や対応信号などをあらかじめ確認してください。

RGB 出力端子に接続する

本機の Computer In 端子とパソコンの RGB 出力端子に RGB ケーブルを接続します。本機のスピーカーから音声を出力するときは、本機の Audio In 端子とパソコンの音声出力端子に音声ケーブルを接続します。



↓ 補足

- 付属の RGB ケーブルを使用してください。

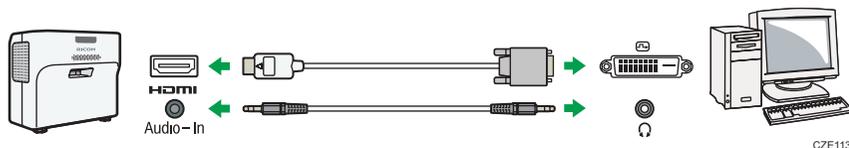
HDMI 端子に接続する

本機とパソコンの HDMI 端子に HDMI ケーブルを接続します。



DVI 出力端子に接続する

DVI 信号を本機に入力するときは、DVI-HDMI 変換ケーブルを本機の HDMI 端子とパソコンの DVI 出力端子に接続します。本機のスピーカーから音声を出力するときは、本機の Audio In 端子とパソコンの音声出力端子に音声ケーブルを接続します。



↓ 補足

- DVI-HDMI 変換ケーブルの代わりに DVI-HDMI 変換アダプターでも接続できます。

有線 LAN で接続する

本機の LAN 端子とハブなどのネットワーク機器に LAN ケーブルを接続します。LAN ケーブルの接続方法は、P.69 「LAN ケーブルを接続する」を参照してください。ネットワーク経由で本機を使用するには、IP アドレスなどのネットワークの設定が必要です。ネットワークの設定は、P.71 「本機をネットワークと接続する」を参照してください。

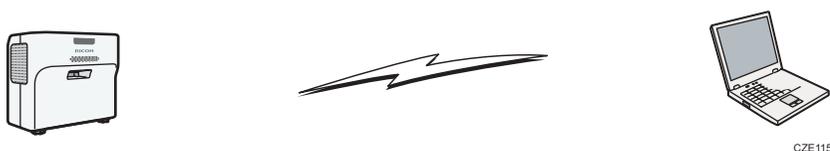


↓ 補足

- シールド加工された LAN ケーブルを使用してください。

無線 LAN で接続する

本機は無線 LAN でパソコンと接続できます。ネットワーク経由で本機を使用するには、IP アドレスなどのネットワークの設定が必要です。無線 LAN を使用するときの注意事項は、P.70 「無線 LAN を使用するときの注意」を参照してください。ネットワークの設定は、P.71 「本機をネットワークと接続する」を参照してください。



AV 機器と接続する

本機に AV 機器を接続するときは、入力する信号に対応したケーブルを使用してください。

HDMI 端子に接続する

本機と AV 機器の HDMI 端子に HDMI ケーブルを接続します。

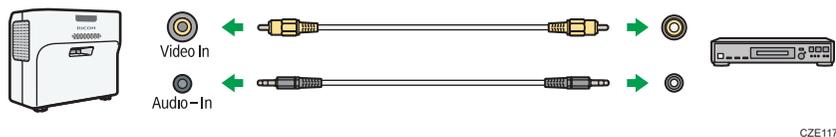


↓ 補足

- HDMI ケーブルで接続したとき、機器によっては正常に動作しないことがあります。
- HDMI ロゴの表示がある HDMI ケーブルを使用してください。1080p の映像信号を入力するときは、High Speed HDMI ケーブルを使用してください。一般の HDMI ケーブルでは正常に動作しないことがあります。

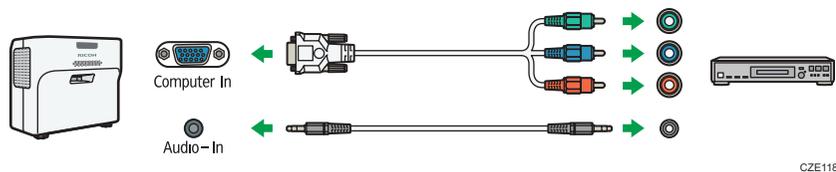
映像出力端子に接続する

本機の Video In 端子と AV 機器の映像出力端子にビデオケーブルを接続します。本機のスピーカーから音声を出力するときは、本機の Audio In 端子と AV 機器の音声出力端子に音声ケーブルを接続します。



Y/Pb/Pr 出力端子に接続する

本機の Computer In 端子と AV 機器の Y/Pb/Pr 出力端子に D-Sub-コンポーネント変換ケーブルを接続します。本機のスピーカーから音声を出力するときは、本機の Audio In 端子と AV 機器の音声出力端子に音声ケーブルを接続します。



外部スピーカーを接続する

音声を外部スピーカーに出力できます。外部スピーカーを接続するには、音声ケーブルを本機の Audio Out 端子と外部スピーカーの音声入力端子に接続します。



↓ 補足

- 外部スピーカーを接続したときは、本機のスピーカーから音声は出力されません。
- [音量] ボタンで外部スピーカーの音量を調整できます。

2. 映像を投影する

映像を投影する手順を説明します。

基本的な映像投影のしかた

↓ 補足

- 初期設定2メニューの「キーロック」を「入」に設定すると、操作部から操作できません。リモコンを使用してください。
- 実行できないボタンを押すと、「ピー」という音が鳴り、投影画面に「無効な操作です」または「本製品では使えない機能です」と表示されます。
- 初期設定1メニューの「ピープ音」を「切」に設定すると、操作音は鳴りません。

電源を入れる

⚠ 警告

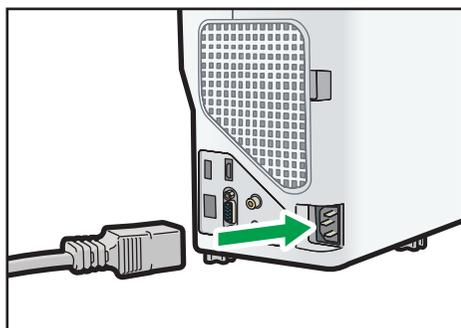


- 接地接続してください。接地接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。接地接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。
- 接地接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

本機のアース線は必ずアース対象物に接続してください。アース対象物は次のとおりです。

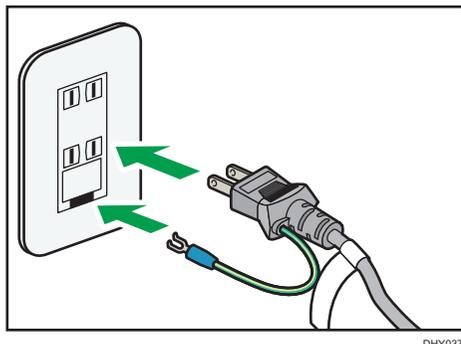
- コンセントのアース端子
- 接地工事(D種)を行っているアース線

1. AC In ソケットに電源コードセットのコネクターを差し込みます。



CZE015

2. アース線を接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。



初期設定 2 メニューの「ダイレクトパワーオン」が「入」に設定されていると、この手順で電源が入ります。

3. [電源] ボタンを押します。

電源



「ピッ、ピッ」という音が鳴り、インジケータが青色に点滅します。

スタート画面が表示されます。

本機に接続した機器の映像を投影するときは、P.39「映像を投影する」を参照してください。

購入後に初めて本機の電源を入れたときは、スタートメニューが表示されます。ランプパワーとネットワークの設定をしてください。詳しくは、P.38「スタートメニューが表示されたとき」を参照してください。

↓ 補足

- 初期設定 2 メニューの「起動パスワード」で本体にパスワードが設定されているときは、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力してください。
- スタート画面はしばらくすると自動的に消えます。初期設定 1 メニューの「スタート画面」で、スタート画面を表示しないように設定できます。

スタートメニューが表示されたとき

購入後に初めて本機の電源を入れたときは、ランプパワーとネットワークの設定をします。

1. ランプパワーを選択し、[決定] ボタンを押します。

2. ネットワーク設定ウィザードで、ネットワークの設定をします。

ネットワークの設定方法は、P.71「本機をネットワークと接続する」を参照してください。ネットワークの設定をあとからするときには、[キャンセル]を選択してください。

↓ 補足

- 2回目からはスタートメニューは表示されません。ただし、初期設定2メニューで「すべてを初期化」を実行すると、スタートメニューが表示されます。
- ランプパワーを変更するときには、P.48「ランプの設定をする」を参照してください。
- ネットワーク設定ウィザードは、メニュー画面から開くこともできます。詳しくは、P.72「ネットワーク設定ウィザードを開く」を参照してください。

映像を投影する

1. 本機に接続した機器の電源を入れます。

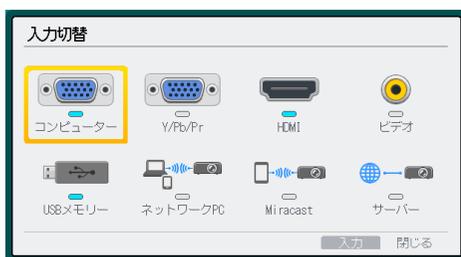
AV 機器を接続して投影するときは、AV 機器の再生ボタンを押します。

ノート型パソコンを接続して投影するときは、パソコンの映像出力を切り替えます。詳しくは、P.40「ノート型パソコンの画面を投影するとき」を参照してください。

自動的に入力信号を検出して投影します。

2. 接続した機器の映像が投影されないときは、[入力] ボタンを押します。

3. 入力信号を選択し、[決定] ボタンを押します。



↓ 補足

- 初期設定1メニューの「自動入力検索」が「入」のときは、[入力] ボタンを押すと映像信号が入力されている別の入力に切り替わります。
- 接続機器から信号が入力されていないときや、表示中に信号がなくなったときは、ネットワーク待機画面が表示されます。機器の電源が入っているか、正しく本機と接続されているかを確認してください。
- 本機が対応していない信号が入力されると、「非対応信号」と表示されます。
- ランプの状態を維持するため、投影中に映像の明るさが一時的に切り替わることがあります。

ノート型パソコンの画面を投影するとき

ノート型のパソコンを本機と接続したときは、パソコンの映像出力を切り替えます。

Windows では、ファンクションキーで切り替えられます。[Fn] キーを押したまま、 または  と表示されているキー、または LCD/VGA と表示されているファンクションキーを押します。

代表的な機種の実操作例

パソコンメーカー	キー操作
MSI	[Fn] + [F2]
Everex、MITSUBISHI、NEC、Panasonic、SOTEC	[Fn] + [F3]
Gateway、HP	[Fn] + [F4]
acer、SHARP、SOTEC、TOSHIBA	[Fn] + [F5]
HITACHI、IBM、lenovo、SONY	[Fn] + [F7]
ASUS、DELL、EPSON、HITACHI	[Fn] + [F8]
FUJITSU	[Fn] + [F10]

↓ 補足

- パソコンの画面を液晶ディスプレイに表示した状態で本機から映像を出力すると、パソコンの機種によってはパソコン画面が正しく投影されないことがあります。そのときは、パソコンの液晶表示を切ってください。表示の切り替え方法は、パソコンの説明書を参照してください。

電源を切る

★ 重要

- 長時間使用しないときは電源コードを抜いてください。
- 電源コードを抜いたあと、再度電源コードを接続するまで1秒以上待ってください。故障の原因となることがあります。

1. [電源] ボタンを押します。



確認画面が表示されます。

2. [電源] ボタンを再度押します。

「ピッ」という音が鳴り、本機がスタンバイ状態になります。

3. 電源コードを抜きます。

 補足

- ランプが消灯したあとに再点灯させるときは、ランプが冷えるまで5分程度待ってください。ランプの温度が高いと点灯しないことがあります。
- 電源コードを抜くだけでも電源が切れます（ダイレクトパワーオフ）。
- 省エネ設定メニューでスタンバイ中の消費電力などの設定ができます。詳しくは、P.117「省エネ設定メニュー」を参照してください。

投影画面を調整する

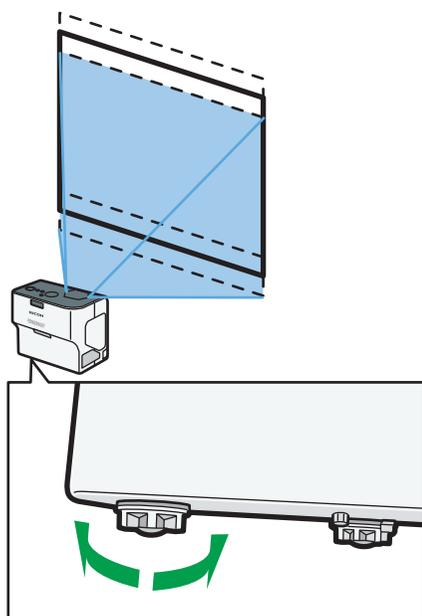
投影角度を調整する

2

フットアジャスターの高さを調整して本機の設置角度を変更します。投影画面の高さがスクリーンと合わないときに、投影画面の高さを調整できます。

1. 本機を持ち上げます。
2. フットアジャスターの長さを調整します。

本機が水平になるように左右のアジャスターの高さを調整します。本機が大きく傾くとエラーとなり操作ができません。



CZE016

↓ 補足

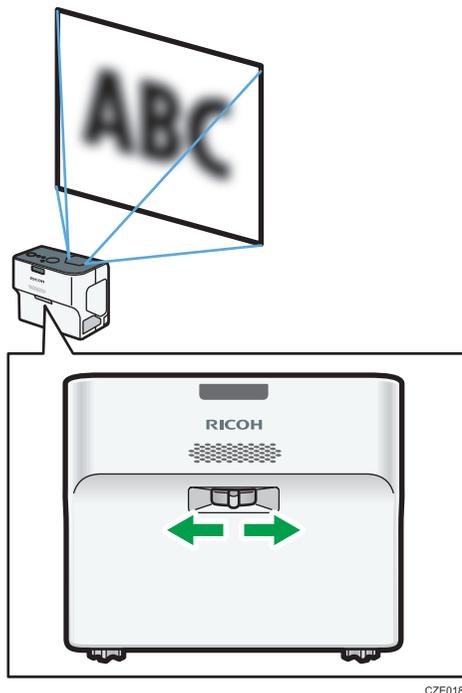
- 本機を天吊り・壁掛け設置しているときは、フットアジャスターを使用した投影角度の調整は必要ありません。
- 本機の設置角度に合わせて、投影画面の台形ゆがみが自動的に補正されます。表示・音設定メニューの「自動台形補正」が「切」に設定されているときは手動で補正してください。詳しくは、P.43「台形ゆがみを補正する」を参照してください。

ピントを調整する

映像のピントを調整します。

1. フォーカスレバーを動かし、ピントを合わせます。

投影画面の形状もわずかに変化します。



CZE018

台形ゆがみを補正する

本機を傾けて設置すると、投影画面がゆがんで表示されます。この状態を台形ゆがみと呼びます。

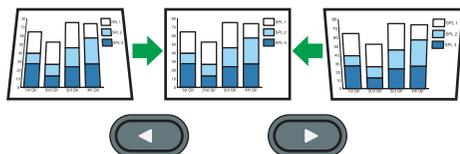
表示・音設定メニューの「自動台形補正」が「入」に設定されているときは、投影画面の台形ゆがみが自動的に補正されます。「切」に設定されているときは、次の手順で台形ゆがみを補正します。

1. [台形補正] ボタンを押します。



投影画面下部に数値バーが表示されます。

2. [◀]、[▶] ボタンで台形ゆがみを補正します。



CUD004

[◀] ボタンを押すと投影画面下側の幅が狭くなります。[▶] ボタンを押すと投影画面上側の幅が狭くなります。

↓ 補足

- 台形補正の度合いや映像の内容によっては、一部情報が欠けたり画質が劣化したりすることがあります。
- 「自動台形補正」が「入」に設定されていても、手動で台形ゆがみを調整できます。ただし、本機の設置角度を変更すると自動で再調整されます。
- 台形補正の状態は本機の電源を切っても記憶されています。本機とスクリーンが固定で設置されているときは、「自動台形補正」を「切」にしておくことをお勧めします。
- 操作部の [◀]、[▶] ボタンでも台形ゆがみを補正できます。

投影画面のサイズを小さくする

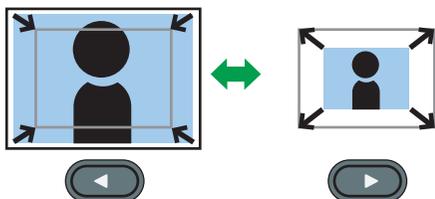
投影画面のサイズがスクリーンより大きいときに、デジタルズーム機能で投影画面のサイズを縮小します。表示倍率は 80～100% の範囲で調整できます。

1. [ズーム] ボタンを押します。



投影画面下部に数値バーが表示されます。

2. [◀]、[▶] ボタンで投影画面のサイズを調整します。



CUD046

[◀] ボタンを押すごとに倍率が小さくなります。[▶] ボタンを押すごとに倍率が大きくなります。元のサイズに戻るまで拡大できます。

↓ 補足

- 投影画面を縮小しているとき、まれに映像が乱れることがあります。

投影中に本機を操作する

スピーカーの音量を調整する

1. [音量] ボタンを押します。



投影画面下部に数値バーが表示されます。

2. [▲]、[▼] ボタンで音量を調整します。



CZE021

[▲] を押すと音量が大きくなります。[▼] を押すと音量が小さくなります。

↓ 補足

- 操作部の [▲]、[▼] ボタンでも音量を調整できます。

音質を切り替える

再生する音に適した音質を選択します。

1. [音質] ボタンを押します。



投影画面下部に音質選択画面が表示されます。

2. [◀]、[▶] ボタンで音質を選択します。

- 標準 (🔊)：人の声と音楽のバランスが良い音質に設定します。
- ナレーション (🗣️)：人の声を聞くときに適しています。
- ミュージック (🎵)：音楽を聞くときに適しています。

↓ 補足

- この機能は、内蔵スピーカーだけに適用されます。外部スピーカーを使用しているときは、この機能で音質を変更できません。
- 操作部の [▲]、[▼] ボタン、またはリモコンの [音量] ボタンを押しても音質選択画面が表示されます。

映像を拡大する

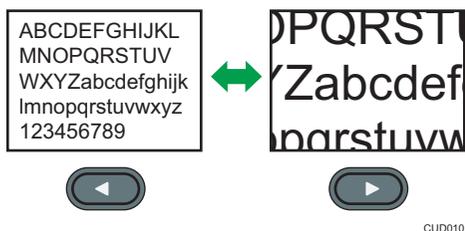
映像の一部を拡大して表示します。表示倍率は 100～200%の範囲で調整できます。デジタル処理のため、拡大するにつれて映像が粗くなります。

1. [部分拡大] ボタンを押します。



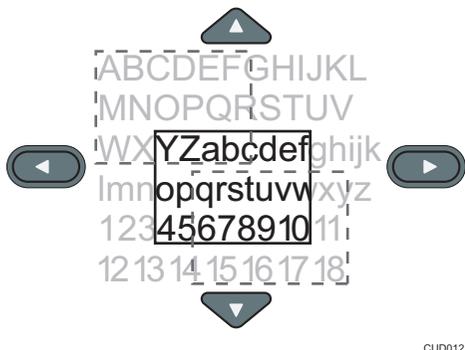
投影画面下部に数値バーが表示されます。

2. [◀]、[▶] ボタンで倍率を調整します。



[◀] を押すごとに倍率が小さくなります。[▶] を押すごとに倍率が大きくなります。

3. [決定] ボタンを押します。
4. [▼]、[▲]、[▶]、[◀] ボタンで拡大表示する位置を移動します。



倍率を変更するときは、[決定] ボタンを押して手順 2 を繰り返します。

5. 部分拡大を解除するときは、[部分拡大] ボタンを再度押します。

↓ 補足

- ほかの操作をすると、部分拡大は自動的に解除されます。

映像と音声を一時的に消去する

映像と音声を一時的に消去します。ほかのプロジェクターや OHP の映像をスクリーンに投影するときなどに便利です。

1. [AV ミュート] ボタンを押します。



映像と音声が消去されます。

2. AV ミュートを解除するときは、[AV ミュート] ボタンを再度押します。

↓ 補足

- AV ミュート中は、投影画面にアイコン (🔇) が表示されます。
- 操作部のボタンを押したときは、AV ミュートは解除されます。
- 操作部の [AV ミュート] ボタンでも操作できます。

映像を静止させる

投影中のビデオや動画を静止させます。

1. [フリーズ] ボタンを押します。



映像が静止します。

2. フリーズを解除するときは、[フリーズ] ボタンを再度押します。

↓ 補足

- フリーズ中は、投影画面にアイコン (🛑) が表示されます。
- ほかの操作をすると、フリーズは自動的に解除されます。
- フリーズ機能は、投影画面の映像を静止する機能です。接続した機器のビデオや動画を静止するときは、接続した機器の一時停止機能を使用してください。

ランプの設定をする

ランプのパワーを切り替えます。

ランプの消費電力を節約するときは、エコモードに設定します。映像を明るくするとき、標準モードに設定します。

1. [エコ] ボタンを押します。



ボタンを押すごとにモードが切り替わります。

↓ 補足

- ランプの設定は、省エネ設定メニューでも変更できます。詳しくは、P.117「省エネ設定メニュー」を参照してください。
- ランプパワーをエコモードに設定したとき、ランプの特性によって、まれに画面がちらつくことがあります。このようなときは標準モードに設定してください。

プレゼンテーションタイマーを使用する

投影画面にタイマーを表示します。プレゼンテーションの時間管理に便利です。

1. [タイマー] ボタンを押します。



2. 数字ボタンを押し、1～99分の間でタイマーをセットします。

[▲]、[▼] ボタンでもタイマーをセットできます。

3. [◀]、[▶] ボタンで「表示サイズ」を選択し、[▲]、[▼] ボタンで「小」または「大」を選択します。

4. [◀]、[▶] ボタンで「表示位置」を選択し、[▲]、[▼] ボタンで表示位置を選択します。

5. [◀]、[▶] ボタンで「開始」を選択し、[決定] ボタンを押します。

タイマーを止めるときは、[タイマー] ボタンを押し、確認画面で [OK] を選択します。

設定した時間が経過すると、メッセージとピープ音で知らせます。

↓ 補足

- 初期設定1メニューの「ピープ音」を「切」にすると、ピープ音は鳴りません。

3. USB メモリーやデジタルカメラのファイルを投影する

USB メモリーやデジタルカメラのファイルを投影する方法を説明します。

USB ファイル投影の動作条件

★重要

- ご使用前に USB 機器に保存されているデータをバックアップすることをお勧めします。お客様のデータの消失による損害につきましては、当社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- USB 機器へアクセス中に電源プラグを抜かないでください。故障やデータ破損の原因となります。
- USB2.0 に対応した USB 機器を使用してください。
- FAT16 または FAT32 ファイルシステムでフォーマットされた USB 機器を使用してください。

USB メモリーやデジタルカメラに保存されている静止画、動画を本機で投影できます。次の静止画、動画に対応しています。

静止画

項目	動作条件
拡張子	jpg、jpeg、JPG、JPEG
ファイルサイズ	10MB 以下
画素数	2×2～5120×5120 pixel
JPEG 形式	ベースライン形式

動画

項目	動作条件
拡張子	mpg、mpeg、MPG、MPEG、m2ts、m2t、M2TS、M2T、m2p、M2P、mp4、MP4、mov、MOV
ファイルサイズ	2GB 以下 (FAT16) または 4GB 以下 (FAT32)
画素数	320×240～1920×1080 pixel
映像圧縮方式	<ul style="list-style-type: none">• MPEG2 (コンテナフォーマットが MPEG2-PS または MPEG2-TS のとき)• H.264 (コンテナフォーマットが MP4 または QuickTime のとき)

項目	動作条件
音声圧縮方式	<ul style="list-style-type: none"> • MPEG1/2-Audio Layer2 (コンテナフォーマットが MPEG2-PS または MPEG2-TS のとき) • リニア PCM (コンテナフォーマットが MPEG2-PS または QuickTime のとき) • AAC-LC (コンテナフォーマットが MP4 または QuickTime のとき)
コンテナフォーマット	MPEG2-PS、MPEG2-TS、MP4、QuickTime
フレームレート	30fps 以下
ビットレート	20Mbps 以下 (推奨)

↓ 補足

- 一覧表示できるファイル数は、フォルダー 1 つにつき最大 512 です。
- フォルダー名またはファイル名に使用できる文字は半角英数字と初期設定 2 メニューの「Language / 言語」で設定した言語の文字です。設定していない言語の文字を使用したファイル名は正しく表示されません。
- フォルダーパスとファイル名の合計が 255 文字を超えると、一覧に表示されません。
- 5 階層を超えるフォルダーは選択できません。
- 圧縮率が低いファイルは投影できないことがあります。
- 使用できるデジタルカメラは、販売担当者またはサービス実施店に問い合わせてください。

USB 機器のファイルを投影する

電源の入れかたやピントの調整のしかたなど、本機の基本的な操作方法は P.37 「映像を投影する」を参照してください。

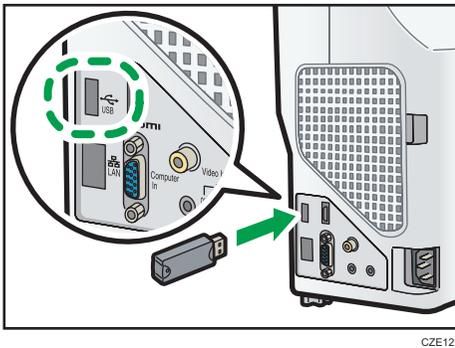
USB 機器を接続する

本機に USB メモリーまたはデジタルカメラを接続します。

電源が入っている状態でも接続できます。

1. USB 機器を、本機の USB 端子に接続します。

端子の向きを確認してから挿入してください。



↓ 補足

- USB 機器を接続しても本機が認識しないときは、USB 機器を取り外し再度接続してください。
- USB ハブは接続できません。
- USB 設定メニューの「スライドショーの自動スタート」を「入」に設定すると、USB 機器を接続したときにルートディレクトリー内のファイルのスライドショーを開始します。

ファイルを投影する

1. 入力信号で [USB メモリー] が選択されていないときは、[入力] ボタンを押します。



2. 入力信号を [USB メモリー] に切り替えます。

入力信号の切り替えかたは、P.39 「映像を投影する」を参照してください。

ルートディレクトリー内のファイルが一覧表示されます。

3. 投影するファイル、[スライドショー]、またはフォルダーを選択し、[決定] ボタンを押します。



- 投影するファイルを選択したとき
JPEG ファイルを選択したときは静止画、MPEG ファイル、および Quicktime ファイルを選択したときは動画が投影されます。
- [スライドショー] を選択したとき
フォルダー内のファイルのスライドショーを開始します。
- フォルダーを選択したとき
フォルダー内のファイル一覧が表示されます。投影するファイルが表示されるまで手順3を繰り返してください。

↓ 補足

- 操作部からも操作できます。
- ファイル名の先頭が数字、アルファベットの順に画像を表示します。
- USB 設定メニューの「表示間隔(秒)(スライドショー On 時)」で、スライドショー中に静止画が次のファイルに切り替わるまでの時間を設定できます。
- スライドショー中に動画が再生されたときは、動画が最後まで再生されてから次のファイルに切り替わります。
- ファイル一覧の表示方法の切り替えができます。サムネイル表示に切り替えるには、「サムネイル表示へ」を選択します。ファイル名の一覧表示に切り替えるには、「リスト表示へ」を選択します。

投影した映像を操作する

投影した静止画や動画をリモコンで操作できます。

静止画を投影しているとき

- [決定] ボタン：投影中の静止画からスライドショーを開始します。スライドショー中に押すと、スライドショーを終了します。
- [▶] ボタン：次のファイルを投影します。
- [◀] ボタン：前のファイルを投影します。
- [▲] ボタン：映像を右に 90 度回転します。
- [▼] ボタン：映像を左に 90 度回転します。
- [メニュー] ボタン：「USB ファイル投影」画面に戻ります。

動画を投影しているとき

- [決定] ボタン：動画を一時停止／再生します。
- [▶] ボタン：動画を早送りします。一時停止中に押すと次のファイルを投影します。
- [◀] ボタン：動画を巻き戻しします。一時停止中に押すと前のファイルを投影します。
- [▲] ボタン：音量を大きくします。
- [▼] ボタン：音量を小さくします。
- [メニュー] ボタン：「USB ファイル投影」画面に戻ります。

↓ 補足

- 操作部からも操作できます。
- 動画の早送り・巻き戻し速度は、ボタンを押すごとに 3 段階まで速くなります。速度を元に戻すときは、[決定] ボタンを押します。
- スライドショー中に動画の音量調整以外の操作をすると、スライドショーは終了します。

USB 機器を取り外す

1. ファイルを投影しているときは、[メニュー] ボタンを押します。
「USB ファイル投影」画面に戻ります。
2. 「USB ファイル投影」画面で「USB メモリー取外し」を選択し、[決定] ボタンを押します。
確認画面が表示されます。
3. 「OK」を選択し、[決定] ボタンを押します。
4. USB 機器を取り外します。

↓ 補足

- USB 設定メニューの「USB メモリー取外し」から USB 機器を取り外すこともできます。

JPEG 変換ツールでプレゼンテーションファイルを JPEG に変換する

Microsoft PowerPoint のプレゼンテーションファイルを、本機が対応している JPEG ファイルに変換できます。

変換した JPEG ファイルを USB メモリーに保存し本機でスライドを表示すると、パソコンがなくてもプレゼンテーションできます。

また、変換したファイルをサーバーへ転送することもできます。

3

JPEG 変換ツールを使用するには

JPEG 変換ツールは付属の CD-ROM に収録されています。

JPEG 変換ツールの動作環境は次のとおりです。

- 対応 OS
 - Windows Vista Ultimate / Business / Home Premium / Home Basic SP2 以降 (32bit / 64bit 版)
 - Windows 7 Home Premium / Professional / Ultimate / Enterprise SP1 (32bit / 64bit 版)
 - Windows 8 / Pro / Enterprise (32bit / 64bit 版)
 - Windows 8.1 / Pro / Enterprise (32bit / 64bit 版)
 - Windows 10 Home / Pro / Enterprise / Education (32bit / 64bit 版)

1. CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

選択画面が表示されます。

2. 言語と機種名を選択し、[Select] をクリックします。

3. [JPEG 変換ツール TypeA] をクリックします。

4. 保存先を選択し、[OK] をクリックします。

「RICOH JPEG Conversion Tool Type A」フォルダーがコピーされます。

5. デスクトップにショートカットを作成するときには、[はい] をクリックします。

6. 画面を閉じます。

JPEG 変換ツールを起動するときには、デスクトップのショートカットまたは「RICOH JPEG Conversion Tool TypeA.exe」をダブルクリックします。

↓ 補足

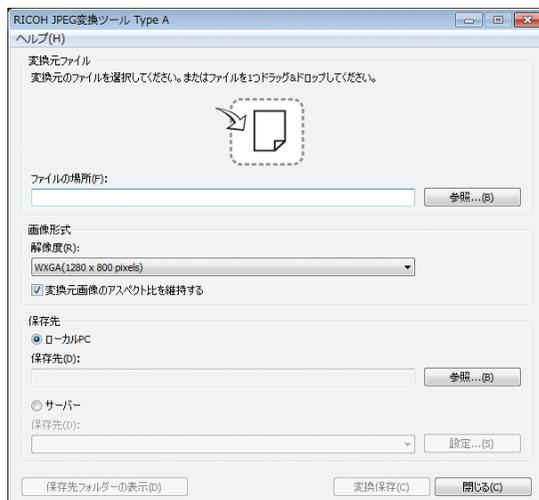
- CD-ROM の「RICOH JPEG Conversion Tool Type A」フォルダーを、パソコンにドラッグアンドドロップしても使用できます。
- JPEG 変換ツールを削除するときは、パソコンにコピーした「RICOH JPEG Conversion Tool Type A」フォルダーを削除してください。

プレゼンテーションファイルを JPEG に変換する

3 1. 「JPEG 変換ツール」アイコンをダブルクリックします。

JPEG 変換ツールが起動します。

2. 変換する PowerPoint ファイルを「JPEG 変換ツール」ダイアログの上にドラッグアンドドロップします。



ファイルを直接指定するときは、「ファイルの場所：」に入力します。

3. [解像度] のドロップダウンリストから変換後のファイルの解像度を選択します。

変換後のファイル解像度を本機の表示解像度に合わせると、良好な画質で投影できます。[解像度] を [WXGA(1280 × 800 pixels)] に設定することをお勧めします。

4. 変換するファイルのアスペクト比を維持するときは、[変換元画像のアスペクト比を維持する] をチェックします。

5. 変換したファイルの保存先を指定します。

パソコンに保存するときは、「ローカル PC」を選択し、保存先を選択します。

サーバーに保存するときは、「サーバー」を選択し、保存するサーバーを選択します。

6. [変換保存] をクリックします。

7. [OK] をクリックします。

↓ 補足

- PowerPoint ファイルを変換するには、Microsoft PowerPoint 2007/2010/2013 がインストールされている必要があります。
- JPEG 変換ツールは拡張子が「.ppt」または「.pptx」の静止画に対応しています。アニメーションや音声には対応していません。
- スライドの枚数分の JPEG ファイルが作成されます。変換後のファイル名は「slideXXX.jpg」（XXX は連番の数字）です。
- 変換したファイルをサーバーに保存するときの設定方法は、JPEG 変換ツールのヘルプを参照してください。

4. 便利な機能

知っておくと便利な機能を紹介します。

スライドショーで映像を投影する

日時を指定してスライドショーを投影する

USB 機器に保存したファイルのスライドショーを、日時を指定して投影できます。

ショーウィンドウのディスプレイの映像を、営業時間に合わせて投影したいときなどに設定しておくとう便利です。

次の2つの機能を使用します。

- 電源タイマー機能
指定した曜日、時刻に自動的に投影を開始/終了します。
- スライドショーの自動スタート機能
接続した USB 機器のスライドショーを自動的に開始します。

ここでは、毎週日曜日の 9:00 から 18:00 まで自動的に投影するときの手順を例に説明します。

★重要

- 電源タイマー機能を使用するには、あらかじめ現在時刻の設定が必要です。詳しくは、P.120「初期設定 2 メニュー」を参照してください。

電源タイマーを設定する

1. [メニュー] ボタンを押します。

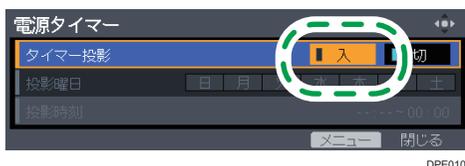
2. [初期設定 2] を選択し、[▶] ボタンを押します。



3. [電源タイマー] を選択し、[決定] ボタンを押します。

4. [タイマー投影] を選択し、[決定] ボタンを押します。

5. [入] を選択し、[決定] ボタンを押します。



6. [投影曜日] を選択し、[決定] ボタンを押します。

7. 投影する曜日 (この例では [日曜日]) を選択し、[決定] ボタンを押します。



8. [OK] を選択し、[決定] ボタンを押します。

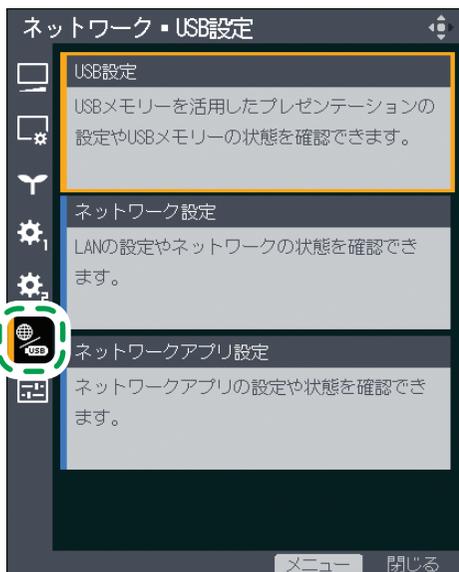
9. [投影時刻] を選択し、[決定] ボタンを押します。
10. 数字ボタンを押して、起動時刻（この例では 9:00）を設定します。
[▲]、[▼] ボタンでも時刻をセットできます。
11. 数字ボタンを押して、終了時刻（この例では 18:00）を設定します。
[▲]、[▼] ボタンでも時刻をセットできます。



12. [決定] ボタンを押します。
13. [メニュー] ボタンを 2 回押し、メニュー画面を閉じます。

スライドショーの自動スタートを設定する

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. [ネットワーク・USB 設定] を選択し、[▶] ボタンを押します。



3. [USB 設定] を選択し、[決定] ボタンを押します。
4. [設定] を選択し、[▶] ボタンを押します。
5. [スライドショーの自動スタート] を選択し、[決定] ボタンを押します。

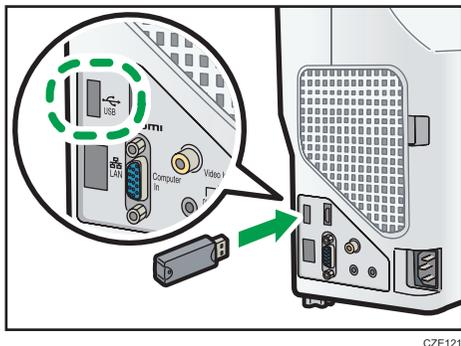
6. [入] を選択し、[決定] ボタンを押します。



- 4 7. [メニュー] ボタンを押します。
- 8. [反映する] を選択し、[決定] ボタンを押します。
- 9. [メニュー] ボタンを押し、メニュー画面を閉じます。

投影するファイルを保存した USB 機器を接続する

1. 投影したいファイルを USB 機器のルートディレクトリーに保存します。
2. USB 機器を、本機の USB 端子に接続します。
端子の向きを確認してから挿入します。



3. [電源] ボタンを押します。



確認画面が表示されます。

4. [電源] ボタンを再度押します。

「ピッ」という音が鳴り、本機がスタンバイ状態になります。

↓ 補足

- 使用する USB 機器や投影するファイルの動作条件については、P.51 「USB ファイル 投影の動作条件」を参照してください。
- 設定を完了したあとは、電源コードを抜かないでください。電源コードを抜いてしまうと、電源タイマー機能で起動しません。

スライドショーをカスタマイズする

USB 機器に保存した画像をスライドショーで投影するときの表示方法をカスタマイズできます。自分好みにカスタマイズすることで、ショーウィンドウのディスプレイなどを効果的に演出できます。

4

表示効果を変更する

スライドショーで次の画像に切り替わるときの表示効果を変更できます。表示効果の種類は次のとおりです。

プッシュ

表示中の画像を次の画像が押し出します。



CZE163

ワイプ

表示中の画像が次の画像で塗り替えられます。



CZE164

フェード

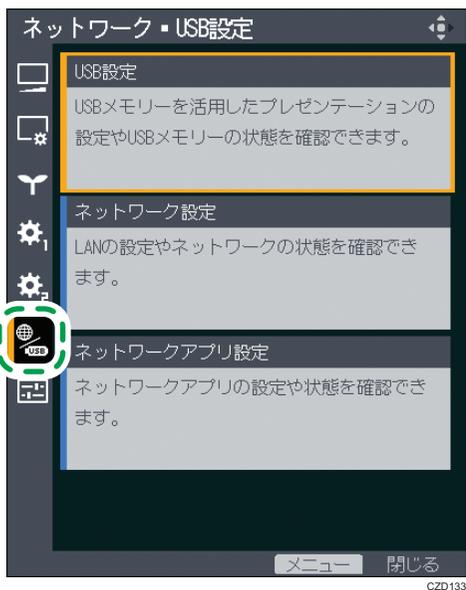
表示中の画像がフェードアウトし、次の画像がフェードインします。



CZE165

1. [メニュー] ボタンを押します。

2. [ネットワーク・USB 設定] を選択し、[▶] ボタンを押します。



CZD133

3. [USB 設定] を選択し、[決定] ボタンを押します。
4. [設定] を選択し、[▶] ボタンを押します。
5. [表示効果] を選択し、[決定] ボタンを押します。
6. 好みの表示効果を選択し、[決定] ボタンを押します。



CZD136

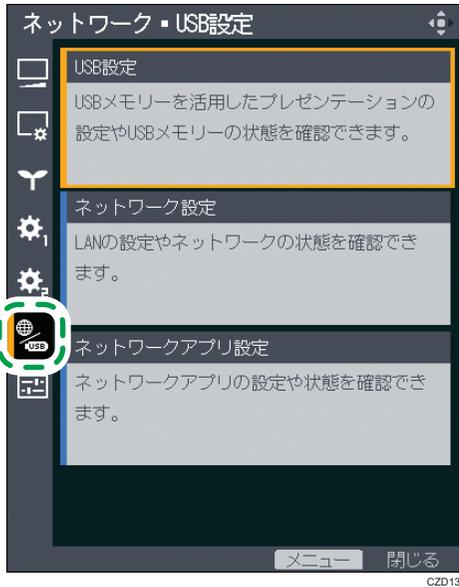
7. [メニュー] ボタンを押します。
8. [反映する] を選択し、[決定] ボタンを押します。
9. [メニュー] ボタンを押し、メニュー画面を閉じます。

表示間隔を調整する

スライドショーで次の画像に切り替わるまでの時間を設定できます。

5～999 秒の間で設定します。

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. [ネットワーク・USB 設定] を選択し、[▶] ボタンを押します。



3. [USB 設定] を選択し、[決定] ボタンを押します。
4. [設定] を選択し、[▶] ボタンを押します。
5. [表示間隔(秒)(スライドショー On 時)] を選択し、[決定] ボタンを押します。
6. 表示間隔を設定します。
7. [メニュー] ボタンを押します。
8. [反映する] を選択し、[決定] ボタンを押します。
9. [メニュー] ボタンを押し、メニュー画面を閉じます。

好みの音質で再生する

本機のスピーカーで音声を再生するとき、再生する音に適した音質を選択できます。より聞き取りやすい音質で楽しめます。

プレゼンテーションするとき

音質を [ナレーション] に設定すると、人の声をより鮮明に再生します。
本機にマイクを接続し、プレゼンテーションするときなどに適しています。

1. [音質] ボタンを押します。



投影画面下部に音質選択画面が表示されます。

2. [◀]、[▶] ボタンで [ナレーション] (🗣️) を選択します。

音楽を再生するとき

音質を [ミュージック] に設定すると、音楽を臨場感あふれる音質で再生します。
映像と一緒に音楽を楽しみたいときに適しています。
ショーウィンドウのディスプレイで音楽を再生するときなどにも効果的です。

1. [音質] ボタンを押します。



投影画面下部に音質選択画面が表示されます。

2. [◀]、[▶] ボタンで [ミュージック] (🎵) を選択します。

5. ネットワーク経由で本機を使用する

ネットワーク経由で本機を使用するための設定を説明します。また、QuickProjection を使用したパソコン画面の投影方法も説明します。

ネットワーク機能を使用する前に

本機は Windows Vista/7 のネットワークプロジェクター機能に対応していません。ネットワーク経由で画像を投影するには、同梱されているアプリケーションソフトの QuickProjection を使用してください。QuickProjection については、P.78 「QuickProjection を使用するには」を参照してください。

LAN ケーブルを接続する

5

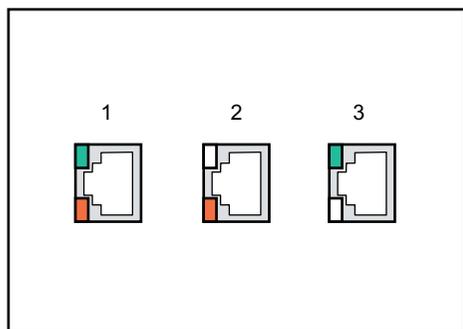
⚠ 注意



- 電源コードや接続ケーブルは足を引っ掛けて転倒したりしないように配線してください。本機が落下してけがの原因となることがあります。

本機の LAN 端子は、10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T に対応しています。

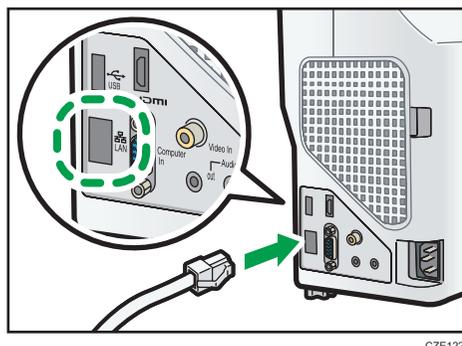
LAN 端子の LED の点灯でネットワークの接続状況が確認できます。ネットワークに接続されていないときは、LED は点灯しません。



CLB072

1. 1000Base-T 動作時（橙色 LED と緑色 LED が点灯）
2. 100Base-TX 動作時（橙色 LED が点灯）
3. 10Base-T 動作時（緑色 LED が点灯）

1. LAN ケーブルを本機の LAN 端子に挿入します。



2. LAN ケーブルのもう一方をハブなどのネットワーク機器に接続します。

↓ 補足

- シールド加工された LAN ケーブルの使用をお勧めします。

5

無線 LAN を使用するときの注意

⚠ 警告



- 無線 LAN を使用中に他の機器に電波障害などが発生したときは、無線 LAN を使用しないでください。電波が影響を及ぼし、誤作動により事故の原因となります。

無線 LAN では、LAN ケーブルの代わりに電波を利用して情報のやりとりを行います。無線 LAN の電波は一定の範囲内であれば壁などの障害物も越えて到達するため、次のような問題が発生する可能性があります。

個人情報の漏えい

- ID、パスワード、クレジットカードの番号やメールの内容などが、第三者に盗み見られる。

ネットワークへの不正侵入

- ウィルスなどによってデータやシステムを破壊・改ざんされる。
- 特定の人物になりすまして不正な情報を流される。
- 機密情報が持ち出される。

このような問題が発生する可能性を少なくするために、本機や無線 LAN アクセスポイントなどの無線 LAN 製品に搭載されている機能を確認し、セキュリティに関する設定を行うことをお勧めします。

本機をネットワークと接続する

本機をネットワークに接続するには、IP アドレスなどのネットワークの設定が必要です。ネットワーク環境や使用方法により必要な設定は異なります。ネットワーク設定ウィザードを使用すると、必要な設定が簡単にできます。ネットワーク設定ウィザードの開きかたは、P.72「ネットワーク設定ウィザードを開く」を参照してください。

有線 LAN で接続する

LAN ケーブルを本機に接続し、ネットワーク設定ウィザードの「有線 LAN」でネットワークの設定をします。設定方法は、P.72「有線 LAN の設定をする」を参照してください。

無線 LAN（インフラストラクチャーモード）で接続する

インフラストラクチャーモードでは、無線 LAN アクセスポイントを経由して、無線 LAN と有線 LAN が混在したネットワークと通信します。ネットワークを経由するため、より高いセキュリティーが必要です。すでに無線 LAN が構築されている環境では、インフラストラクチャーモードで接続します。

インフラストラクチャーモードのネットワーク設定をするには、ネットワーク設定ウィザードで「無線 LAN（インフラストラクチャー）」を選択します。無線 LAN 簡単セットアップを使用した設定方法と、手動でネットワークの設定をする方法があります。

- 無線 LAN 簡単セットアップで設定する

使用するアクセスポイントが無線 LAN 簡単セットアップ機能に対応していると、簡単にネットワークの設定ができます。アクセスポイントに設定されている無線 LAN の各種設定を取得し、自動で機器に設定するため、ネットワークキーや SSID を手動で入力する必要がありません。設定方法は、P.73「無線 LAN 簡単セットアップで設定する」を参照してください。

- 手動で設定する

表示されたネットワークの一覧から接続するネットワークを選択し、ネットワークの設定ができます。電波強度が強い順に 10 までのネットワークが表示されます。一覧に表示されていないネットワークに接続するときや、SSID を通知しないネットワークに接続するには、SSID を直接入力します。設定方法は、P.75「手動で設定する」を参照してください。

無線 LAN（アドホックモード）で接続する

アドホックモードでは、アクセスポイントを経由せずパソコンと直接通信します。ほかの設備が必要ないため、ネットワーク環境のない場所でのプレゼンテーションなどに適しています。電波の到達範囲が限られるため、見通しのよいオフィスや会議室などで使用してください。

アドホックモードのネットワーク設定をするには、ネットワーク設定ウィザードで「無線 LAN（アドホック）」を選択します。設定方法は、P.76「無線 LAN（アドホックモード）の設定をする」を参照してください。

★重要

- 有線 LAN と無線 LAN を同時に利用し、それぞれを異なるネットワークに接続するときは、有線 LAN と無線 LAN で異なるネットワークセグメントの IP アドレスを割り当ててください。同じネットワークセグメント内の IP アドレスが割り振られたときは、正しく動作しないことがあります。
- 使用するアクセスポイントの認証方式が WPA/WPA2-EAP のときは、現在時刻とタイムゾーンの設定が必要です。設定方法は、P.120 「初期設定 2 メニュー」を参照してください。

ネットワーク設定ウィザードを開く

ネットワーク設定ウィザードは、メニュー画面から開きます。

★重要

- 使用する無線 LAN アクセスポイントが認証方式に WPA/WPA2-EAP を使用しており、有線 LAN と無線 LAN の両方をネットワーク設定ウィザードで設定するときは、有線 LAN から設定してください。

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. [ネットワーク・USB 設定] メニューを選択し、[▶] ボタンを押します。
3. [ネットワーク設定] を選択し、[決定] ボタンを押します。
4. [設定ウィザード] を選択し、[▶] ボタンを押します。
5. [ネットワーク設定ウィザード] を選択し、[決定] ボタンを押します。

管理者認証を設定しているときは、パスワードを入力し、[決定] ボタンを押します。ネットワーク設定ウィザードが表示されます。



有線 LAN の設定をする

設定を始める前に、本機に LAN ケーブルを接続してください。

ネットワーク接続に必要な情報は、ネットワーク管理者に確認してください。

1. ネットワーク設定ウィザードで [有線 LAN] を選択し、[決定] ボタンを押します。



2. [DHCP 無効 (手動設定)] または [DHCP 有効 (自動設定)] を選択し、[決定] ボタンを押します。

[DHCP 有効 (自動設定)] を選択したときは、手順 6 に進みます。

3. 本機の IP アドレスを設定します。
4. サブネットマスクを設定します。
5. デフォルトゲートウェイを設定します。
6. 確認画面で [ウィザードを継続] または [ウィザードを終了] を選択し、[決定] ボタンを押します。

続けて無線 LAN を設定するときは、[ウィザードを継続] を選択します。無線 LAN の設定については、P.73 「無線 LAN (インフラストラクチャーモード) の設定をする」、または P.76 「無線 LAN (アドホックモード) の設定をする」を参照してください。

ネットワークの設定を終了するときは、[ウィザードを終了] を選択します。

有線 LAN 接続は完了です。

ネットワーク経由でパソコン画面を投影する方法は、P.79 「QuickProjection で画像を投影する」を参照してください。

無線 LAN (インフラストラクチャーモード) の設定をする

無線 LAN 簡単セットアップで設定する

利用する無線 LAN 簡単セットアップ方式や、ネットワーク接続に必要な情報は、ネットワーク管理者に確認してください。

セットアップ方式

- プッシュボタンによる接続
本機のキーとアクセスポイントのボタンを押して、相互に認証し登録します。
- 本機の PIN コードをアクセスポイントに入力して接続

本機の PIN コードをアクセスポイントに入力して、相互に認証し登録します。
PIN コードは変更できます。アクセスポイントへの PIN コードの入力方法は、ア
クセスポイントの取扱説明書を参照してください。

1. ネットワーク設定ウィザードで [無線 LAN (インフラストラクチャー)] を選
択し、[決定] ボタンを押します。



5

2. [無線 LAN 簡単セットアップを実行する] を選択し、[決定] ボタンを押しま
す。
3. 「PIN で接続」 または 「Push で接続」 を選択し、[決定] ボタンを押します。
4. 「PIN で接続」 を選択したときは、投影画面に表示された PIN コードをアクセ
スポイントに入力し、手順 6 に進みます。
アクセスポイントは無線 LAN 簡単セットアップが可能な状態にしておきます。
5. 「Push で接続」 を選択したときは、アクセスポイント側のプッシュボタンを
押します。
6. 「無線 LAN 機器に接続しました。」 のメッセージが表示されたら、[決定] ボ
タンを押します。
7. [DHCP 無効 (手動設定)] または [DHCP 有効 (自動設定)] を選択し、[決
定] ボタンを押します。
[DHCP 有効 (自動設定)] を選択したときは、手順 11 に進みます。
8. 本機の IP アドレスを設定します。
9. サブネットマスクを設定します。
10. デフォルトゲートウェイを設定します。
11. 「WPA/WPA2-EAP による接続を行うためには引き続きネットワーク設定メ
ニュー：無線 LAN：セキュリティーで設定が必要です。」 のメッセージが表示
されたときは、[決定] ボタンを押し、続けてネットワーク設定メニューで無
線 LAN 接続のセキュリティーを設定します。表示されないときは、手順 12
に進みます。

WPA/WPA2-EAP による無線 LAN 接続について詳しくは、P.124 「ネットワーク設定
メニュー」を参照してください。

12. 確認画面で [ウィザードを継続] または [ウィザードを終了] を選択し、[決定] ボタンを押します。

続けて有線 LAN を設定するときは、[ウィザードを継続] を選択します。有線 LAN の設定については、P.72 「有線 LAN の設定をする」を参照してください。

ネットワークの設定を終了するときは、[ウィザードを終了] を選択します。

無線 LAN 接続は完了です。

ネットワーク経由でパソコン画面を投影する方法は、P.79 「QuickProjection で画像を投影する」を参照してください。

手動で設定する

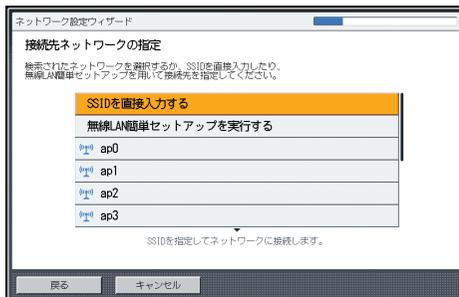
SSID やネットワークキーなど、ネットワーク接続に必要な情報は、ネットワーク管理者に確認してください。

1. ネットワーク設定ウィザードで [無線 LAN (インフラストラクチャー)] を選択し、[決定] ボタンを押します。



接続できるネットワークの一覧が表示されます。

2. 接続する無線 LAN ネットワーク、または [SSID を直接入力する] を選択し、[決定] ボタンを押します。



3. 手順 2 で [SSID を直接入力する] を選択したときは、SSID を入力します。

4. ネットワークキーを入力します。

接続するネットワークにネットワークキーが設定されていないときは、ネットワークキーの入力画面は表示されません。手順 5 に進みます。

5. [DHCP 無効 (手動設定)] または [DHCP 有効 (自動設定)] を選択し、[決定] ボタンを押します。

[DHCP 有効 (自動設定)] を選択したときは、手順 10 に進みます。

6. 本機の IP アドレスを設定します。

7. サブネットマスクを設定します。

8. デフォルトゲートウェイを設定します。

9. 「WPA/WPA2-EAP による接続を行うためには引き続きネットワーク設定メニュー：無線 LAN：セキュリティーで設定が必要です。」のメッセージが表示されたときは、[決定] ボタンを押し、続けてネットワーク設定メニューで無線 LAN 接続のセキュリティーを設定します。表示されないときは、手順 10 に進みます。

WPA/WPA2-EAP による無線 LAN 接続について詳しくは、P.124 「ネットワーク設定メニュー」を参照してください。

10. 確認画面で [ウィザードを継続] または [ウィザードを終了] を選択し、[決定] ボタンを押します。

続けて有線 LAN を設定するときは、[ウィザードを継続] を選択します。有線 LAN の設定については、P.72 「有線 LAN の設定をする」を参照してください。

ネットワークの設定を終了するときは、[ウィザードを終了] を選択します。

無線 LAN 接続は完了です。

ネットワーク経由でパソコン画面を投影する方法は、P.79 「QuickProjection で画像を投影する」を参照してください。

無線 LAN (アドホックモード) の設定をする

1. ネットワーク設定ウィザードで [無線 LAN (アドホック)] を選択し、[決定] ボタンを押します。



ネットワークの設定が自動的に設定されます。

2. 確認画面で [ウィザードを継続] または [ウィザードを終了] を選択し、[決定] ボタンを押します。

続けて有線 LAN を設定するときは、[ウィザードを継続] を選択します。有線 LAN の設定については、P.72 「有線 LAN の設定をする」を参照してください。

ネットワークの設定を終了するときは、[ウィザードを終了] を選択します。

無線 LAN 接続は完了です。

ネットワーク経由でパソコン画面を投影する方法は、P.79 「QuickProjection で画像を投影する」を参照してください。

パソコン画面をネットワーク経由で投影する

パソコン画面をネットワーク経由で投影するには、同梱されているアプリケーションソフトの QuickProjection を使用します。本機は Windows のネットワークプロジェクター機能には対応していません。

QuickProjection の使用方法は、Windows を例に説明します。Mac OS でも基本的な操作の流れは同じです。

QuickProjection を使用するには

QuickProjection は付属の CD-ROM に収録されています。

QuickProjection の動作環境は次のとおりです。

- 対応 OS
 - Windows Vista Ultimate / Business / Home Premium / Home Basic SP2 以降 (32bit / 64bit 版)
 - Windows 7 Home Premium / Professional / Ultimate / Enterprise (32bit / 64bit 版)
 - Windows 8 / Pro / Enterprise (32bit / 64bit 版)
 - Windows 8.1 / Pro / Enterprise (32bit / 64bit 版)
 - Windows 10 Home / Pro / Enterprise / Education (32bit / 64bit 版)
 - Mac OS X 10.8~10.10

1. CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

選択画面が表示されます。

2. 言語と機種名を選択し、[Select] をクリックします。

3. [QuickProjection] をクリックします。

4. インストーラー(setup.exe)の指示に従ってインストールを行います。

5. 画面を閉じます。

QuickProjection を起動するときは、デスクトップのショートカットまたはスタートメニューから「QuickProjection」をダブルクリックします。

↓ 補足

- 使用する OS によって手順が異なることがあります。画面のメッセージに従って操作してください。
- QuickProjection の最新版は、「ネットワーク PC」の待機画面に表示される URL からダウンロードできます。

QuickProjection は、CD-ROM の「QuickProjection.exe」をパソコンにドラッグアンドドロップしても使用できます。

USB メモリーに「QuickProjection.exe」をコピーし、USB メモリーから起動することもできます。

QuickProjection を削除するときは、Windows の [コントロールパネル] から [プログラムのアンインストール] をクリックし、「RICOH QuickProjection」を選択してアンインストールを実行してください。

Mac OS 版 QuickProjection は、音声転送対応版、非対応版の 2 種類があります。

QuickProjection で画像を投影する

QuickProjection で画像を投影する前に、本機をネットワークに接続してください。ネットワークの接続方法は、P.71「本機をネットワークと接続する」を参照してください。

電源の入れかたやピントの調整のしかたなど、本機の基本的な操作方法は、P.37「映像を投影する」を参照してください。

5

1. 本機の電源を入れます。
2. 入力信号で [ネットワーク PC] が選択されていないときは、[入力] ボタンを押します。

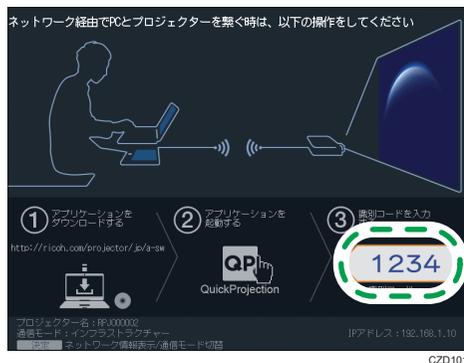


3. 入力信号を [ネットワーク PC] に切り替えます。

入力信号の切り替えかたは、P.37「映像を投影する」を参照してください。

「ネットワーク PC」の待機画面が表示されます。

4. 投影画面に表示される 4 桁の数字（識別コード）を確認します。



5. パソコンの「QuickProjection」アイコンをダブルクリックします。

6. パソコンの入力画面に 4 桁の識別コードを入力します。



識別コードの代わりにプロジェクター名や IP アドレスも入力できます。

7. [投影] をクリックします。

パソコン画面が投影されます。

投影中は、パソコン画面右下に QuickProjection が縮小表示されます。



投影を一時停止するときは、 をクリックします。

投影を終了するときは [×] をクリックし、[OK] をクリックします。

↓ 補足

- 投影モードには 1 台のパソコン画面を投影する「プレゼンテーションモード」と、4 台のパソコン画面を同時に投影する「ディスカッションモード」があります。
- QuickProjection の詳しい操作方法は、QuickProjection のヘルプを参照してください。
- パソコン画面の解像度を本機の表示解像度に合わせると、良好な画質で投影できます。パソコン画面の解像度を次のように設定することをお勧めします。
 - RICOH PJ WX4152NI/WX4152N : 1280×800

DLNA 対応機器を使用して映像を投影する

本機は DLNA に対応しています。DLNA は、ネットワーク経由でコンテンツを共有するためのガイドラインです。そのため、本機はネットワーク経由で DLNA 対応機器から本機に静止画や動画を送信し、映像を投影できます。また、ファイルサーバー、タブレット型コンピューター、スマートデバイスの DLNA 対応機器にネットワーク経由でアクセスし、保存されている JPEG ファイルを投影できます。

対応している静止画、動画は次のとおりです。

静止画

項目	動作条件
拡張子	jpg、jpeg、JPG、JPEG
ファイルサイズ	10MB 以下
画素数	2×2～5120×5120 pixel
対応形式	ベースライン形式

動画

項目	動作条件
拡張子	mpg、mpeg、MPG、MPEG、m2ts、m2t、M2TS、M2T、m2p、M2P、mp4、MP4、mov、MOV
画素数	320×240～1920×1080 pixel
映像圧縮方式	<ul style="list-style-type: none"> • MPEG2（コンテナフォーマットが MPEG2-PS または MPEG2-TS のとき） • H.264（コンテナフォーマットが MP4 または QuickTime のとき）
音声圧縮方式	<ul style="list-style-type: none"> • MPEG1/2-Audio Layer2（コンテナフォーマットが MPEG2-PS または MPEG2-TS のとき） • リニア PCM（コンテナフォーマットが MPEG2-PS または QuickTime のとき） • AAC-LC（コンテナフォーマットが MP4 または QuickTime のとき）
コンテナフォーマット	MPEG2-PS、MPEG2-TS、MP4、QuickTime
フレームレート	30fps 以下
ビットレート	20Mbps 以下（推奨）

↓ 補足

- 本機で投影できる動画の種類は、本機独自の仕様に準拠します。DLNA1.5 のガイドラインには準拠していません。
- 一覧表示できるファイル数は、フォルダー 1 つにつき最大 512 です。

- フォルダー名またはファイル名に使用できる文字は半角英数字と初期設定 2 メニューの「Language / 言語」で設定した言語の文字です。設定していない言語の文字を使用したファイル名は正しく表示されません。
- フォルダーパス、ファイル名の合計が 255 文字を超えていると、フォルダー、ファイルが一覧に表示されません。
- 5 階層を超えるフォルダーは選択できません。

事前準備

DLNA 対応機器から送信されたファイルの本機で投影したり、本機から DLNA 対応機器にアクセスするには、本機と DLNA 対応機器をネットワークに接続する必要があります。本機をネットワークに接続する方法は、P.71「本機をネットワークと接続する」を参照してください。DLNA 対応機器の使用方法は、DLNA 対応機器の説明書を参照してください。

また、次の設定が必要です。

- DLNA 対応機器から送信されたファイルの本機で投影するには、ネットワークアプリ設定メニューの「投影リモート制御」で「有効」を選択します。
- DLNA 対応機器に保存されたファイルを投影するには、DLNA 対応機器側でファイル共有許可を設定します。

↓ 補足

- 本機は DLNA1.5、対応メディアフォーマット静止画で認可を受けています。ネットワークアプリ設定メニューの「DLNA 認証モード」が「有効」のときは、本機が DLNA 認定機器として動作するため、動画の再生が制限されます。「無効」に設定すると、MPEG ファイルも投影できます。
- 使用する機器によっては、機器側に DLNA 対応アプリケーションのインストールが必要です。

DLNA 対応機器から映像を投影する

電源の入れかたやピントの調整のしかたなど、本機の基本的な操作方法は P.37「映像を投影する」を参照してください。

DLNA 対応機器側の手順は、基本的な操作の概要を説明しています。操作方法は使用する機器やアプリケーションによって異なります。詳しくは DLNA 対応機器やアプリケーションの説明書を参照してください。

1. 本機の電源を入れます。

2. 入力信号で [ネットワーク PC] が選択されていないときは、[入力] ボタンを押します。



3. 入力信号を [ネットワーク PC] に切り替えます。

入力信号の切り替えかたは、P.37「映像を投影する」を参照してください。

「ネットワーク PC」の待機画面が表示されます。

4. 投影画面に表示される本機のプロジェクター名を確認します。



DHY163

5. DLNA 対応機器を操作して、接続先に本機のプロジェクター名を選択します。

6. DLNA 対応機器を操作して、投影するファイルを選択します。

選択したファイルが投影されます。

↓ 補足

- 投影を終了する方法や、投影した映像を操作する方法は、DLNA 対応機器やアプリケーションの説明書を参照してください。

サーバーのファイルを投影する

電源の入れかたやピントの調整のしかたなど、本機の基本的な操作方法は P.37「映像を投影する」を参照してください。

ファイルを投影する

1. 本機の電源を入れます。

1. [入力] ボタンを押します。



2. 入力信号を [サーバー] に切り替えます。

入力信号の切り替えかたは、P.37「映像を投影する」を参照してください。

DLNA サーバーが一覧表示されます。

3. 投影するファイルが保存されたサーバーを選択します。

ルートディレクトリー内のファイルが一覧表示されます。

ネットワークアプリ設定メニューの「DLNA 認証モード」で「有効」を選択すると、一部の動画ファイルがファイル一覧に表示されなくなることがあります。詳しくは、P.132「ネットワークアプリ設定メニュー」を参照してください。

4. 投影するファイル、[スライドショー]、またはフォルダーを選択し、[決定] ボタンを押します。

- 投影するファイルを選択したとき
JPEG ファイルを選択したときは静止画、MPEG ファイルを選択したときは動画が投影されます。
- [スライドショー] を選択したとき
フォルダー内のファイルのスライドショーを開始します。
- フォルダーを選択したとき
フォルダー内のファイル一覧が表示されます。投影するファイルが表示されるまでこの手順を繰り返してください。

↓ 補足

- ファイル名の先頭が数字、アルファベットの順にファイルを表示します。
- ネットワークアプリ設定メニューの「サーバー」にある「表示間隔(秒)(スライドショー On 時)」で、スライドショー中に静止画が次のファイルに切り替わるまでの時間を設定できます。
- スライドショー中に動画が再生されたときは、動画が最後まで再生されてから次のファイルに切り替わります。

投影した映像を操作する

静止画を投影しているとき

- [決定] ボタン：投影中の静止画からスライドショーを開始します。スライドショー中に押すと、スライドショーを終了します。
- [▶] ボタン：次のファイルを投影します。
- [◀] ボタン：前のファイルを投影します。

- [▲] ボタン：映像を右に 90 度回転します。
- [▼] ボタン：映像を左に 90 度回転します。
- [メニュー] ボタン：ファイル一覧画面に戻ります。

動画を投影しているとき

- [決定] ボタン：動画を一時停止／再生します。
- [▶] ボタン：動画を早送りします。一時停止中に押すと次のファイルを投影します。
- [◀] ボタン：動画を巻き戻しします。一時停止中に押すと前のファイルを投影します。
- [▲] ボタン：音量を大きくします。
- [▼] ボタン：音量を小さくします。
- [メニュー] ボタン：ファイル一覧画面に戻ります。

↓ 補足

- 動画の早送り・巻き戻し速度は、ボタンを押すごとに 3 段階まで速くなります。速度を元に戻すときは、[決定] ボタンを押します。
- スライドショー中に動画の音量調整以外の操作をすると、スライドショーは終了します。

スマートデバイスを使用して映像を投影する

本機は Miracast に対応しています。Miracast を使用すると、スマートデバイスを本機と接続し、端末の画面を投影できます。

↓ 補足

- 投影できる静止画、動画の条件は、P.81 「DLNA 対応機器を使用して映像を投影する」を参照してください。

電源の入れかたやピントの調整のしかたなど、本機の基本的な操作方法は P.37 「映像を投影する」を参照してください。

1. 本機の電源を入れます。
2. [入力] ボタンを押し、入力信号を [Miracast] に切り替えます。



入力信号の切り替えかたは、P.37 「映像を投影する」を参照してください。

「ネットワーク PC」の待機画面が表示されているときは、画面左上の入力信号から [Miracast] を選択することもできます。

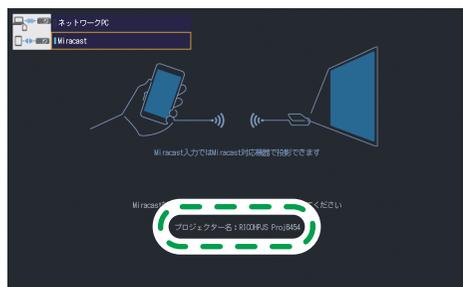
「Miracast」の待機画面が表示されます。

3. はじめて [Miracast] に切り替えたときに端末確認のスキップ選択画面が表示されます。[スキップする] か [スキップしない] を選択してください。

[スキップする] を選択すると、プッシュボタン方式で接続するときに本機側の操作が不要になります。

この設定は、ネットワークアプリ設定メニューの「Miracast」にある [接続する端末の確認] で [スキップしない] に変更できます。

4. 投影画面に表示される本機のプロジェクター名を確認します。



5. スマートデバイスを操作して、ワイヤレス出力 (Miracast) を有効にします。

6. スマートデバイス进行操作して、接続先に本機のプロジェクター名を選択します。
7. スマートデバイスのワイヤレス出力の認証方式がプッシュボタン方式に設定されているときは、投影画面で【接続】を選択し、【決定】ボタンを押します。PIN 方式に設定されているときは、投影画面に表示された PIN コードをスマートデバイスに入力します。

プッシュボタン方式のときに手順 3 で【スキップする】を選択した場合はこの操作は不要です。

8. スマートデバイス进行操作して、投影するファイルを選択します。

選択したファイルが投影されます。

↓ 補足

- 投影を終了する方法や、投影した映像を操作する方法は、スマートデバイスの説明書を参照してください。

6. インタラクティブ機能を使用する (RICOH PJ WX4152NI のみ)

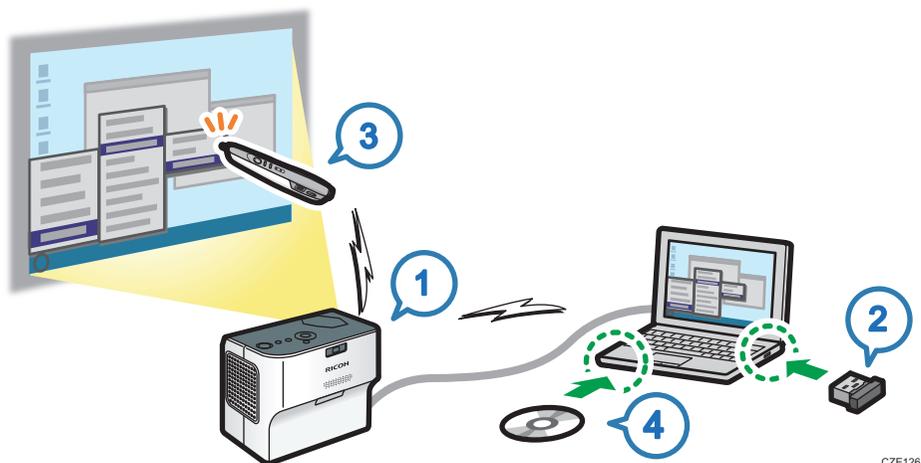
インタラクティブ機能について説明します。

インタラクティブ機能を使用できるようにする

★重要

- インタラクティブ機能を使用するときは、本機とパソコンを RGB ケーブルまたは HDMI ケーブルで接続してください。その他のケーブルで接続すると、インタラクティブ機能を使用できません。
- Windows の拡張デスクトップで投影しているときは、インタラクティブ機能を利用できません。

インタラクティブ機能を使用すると、スクリーンに投影されたパソコン画面を電子ペンで操作できます。また、同梱のソフトウェア「RICOH PJ Interactive Software」を使用すると、スクリーンに投影されたパソコン画面に文字や図形などを書き込めます。インタラクティブ機能を使用するには、次の設定をしてください。



ステップ	設定内容	参照先
1	本機をインタラクティブモードにします。	P.90 「本機をインタラクティブモードにする」
2	本機にパソコン用 USB アダプターを登録します。	P.91 「パソコン用 USB アダプターを登録する」
3	本機に電子ペンを認識させます。	P.94 「本機に電子ペンを認識させる」

ステップ	設定内容	参照先
4	パソコンに RICOH PJ Interactive Software をインストールします。	P.96 「RICOH PJ Interactive Software をインストールする」

↓ 補足

- スクリーンに投影されたパソコン画面を電子ペンで操作するにはステップ 1~3、文字や図形を書き込むにはステップ 1~4 を設定してください。

本機をインタラクティブモードにする

インタラクティブモードを有効にすると、本機が電子ペンやパソコン用 USB アダプターを認識できます。

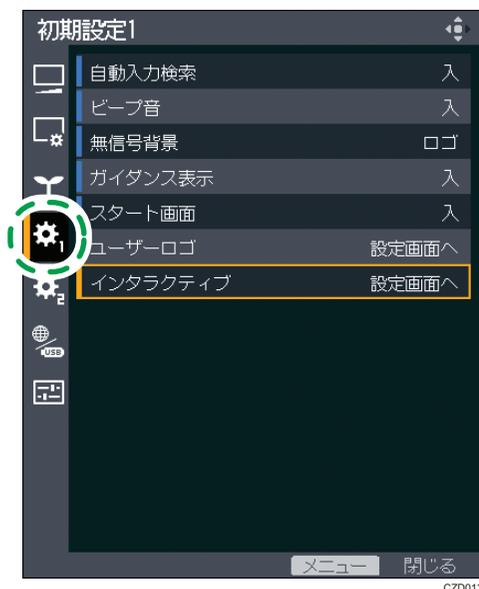
インタラクティブモードを有効にするときは、本機の無線 LAN を無効にすることをお勧めします。ネットワーク設定メニューの「ネットワークインターフェース」で「有線 LAN」または「無効」を選択してください。詳しくは、P.124 「ネットワーク設定メニュー」を参照してください。

1. 本機の電源を入れます。

電源の入れかたは、P.37 「電源を入れる」を参照してください。

2. [メニュー] ボタンを押します。

3. [初期設定 1] を選択し、[▶] ボタンを押します。



4. [インタラクティブ] を選択し、[決定] ボタンを押します。

CZD013

5. [インタラクティブモード] を選択し、[決定] ボタンを押します。

6. [入] を選択し、[決定] ボタンを押します。



7. [メニュー] ボタンを2回押し、メニュー画面を閉じます。

引き続き、パソコン用 USB アダプターの登録をするときは、P.91 「パソコン用 USB アダプターを登録する」を参照してください。

パソコン用 USB アダプターを登録する

⚠ 注意



- パソコン用 USB アダプターは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤ってパソコン用 USB アダプターを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

インタラクティブモードで使用するパソコン用 USB アダプターは、本機への登録が必要です。一度、本機に登録したパソコン用 USB アダプターは、本機に接続するどのパソコンにも再登録不要でセットできます。

パソコン用 USB アダプターの動作環境は次のとおりです。

項目	詳細
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> • Windows 7 • Windows 8 • Windows 8.1 • Windows 10

項目	詳細
USB ポート	<ul style="list-style-type: none"> • USB タイプ A USB ハブは使用できません。

1. パソコン用 USB アダプターを用意します。



CWD002

2. 本機の電源を入れます。

電源の入れかたは、P.37 「電源を入れる」を参照してください。

3. 本機とパソコンを、RGB ケーブルまたは HDMI ケーブルで接続します。

接続方法は、P.32 「RGB 出力端子に接続する」、または P.32 「HDMI 端子に接続する」を参照してください。

4. パソコン画面をスクリーンに投影します。

投影方法は、P.39 「映像を投影する」を参照してください。

5. [メニュー] ボタンを押します。

6. [初期設定 1] を選択し、[▶] ボタンを押します。



CZD013

7. [インタラクティブ] を選択し、[決定] ボタンを押します。

8. [インタラクティブモード] が [入] に設定されているか確認します。

設定されていないと、パソコン用 USB アダプターを登録できません。設定方法は、P.90 「本機をインタラクティブモードにする」を参照してください。

9. [PC 用アダプター登録] を選択し、[決定] ボタンを押します。

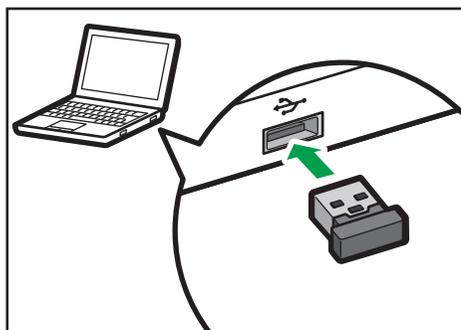


CZD015

6

10. パソコンにパソコン用 USB アダプターをセットします。

セットするとパソコン用 USB アダプターが 0.5 秒に 2 回点滅します。



- 正常に登録されたとき

投影画面に「登録が完了しました。」と表示されます。また、パソコン用 USB アダプターが 2 秒に 1 回点滅します。[決定] ボタンを押してメッセージを閉じます。

- 登録できなかったとき

本機とパソコンの間に遮るものがあると正常に登録されません。

パソコン用 USB アダプターの登録は 2 分以内に完了します。2 分経過しても登録が完了しないときは、パソコンからパソコン用 USB アダプターを取り外し、セットし直してください。

11. [メニュー] ボタンを 2 回押し、メニュー画面を閉じます。

引き続き、本機に電子ペンを認識させるときは、P.94 「本機に電子ペンを認識させる」の手順 5 から操作してください。

↓ 補足

- 複数のプロジェクターで、同時にパソコン用 USB アダプターの登録をしないでください。パソコン用 USB アダプターが正しく登録されないことがあります。

本機に電子ペンを認識させる

本機に電子ペンを認識させると、スクリーンに投影されたパソコン画面を操作できます。

1. 本機の電源を入れます。

電源の入れかたは、P.37 「電源を入れる」を参照してください。

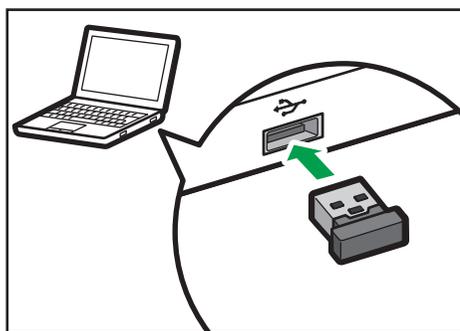
2. 本機とパソコンを、RGB ケーブルまたは HDMI ケーブルで接続します。

接続方法は、P.32 「RGB 出力端子に接続する」、または P.32 「HDMI 端子に接続する」を参照してください。

3. パソコン画面をスクリーンに投影します。

投影方法は、P.39 「映像を投影する」を参照してください。

4. 本機と接続しているパソコンに、パソコン用 USB アダプターをセットします。

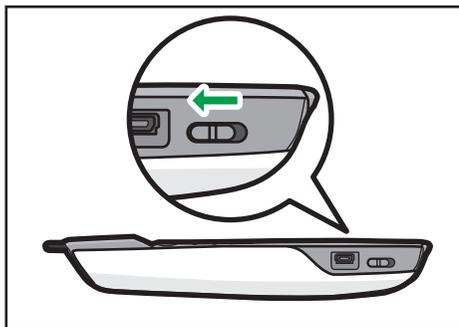


CWD013

本機に登録されているパソコン用 USB アダプターをセットすると、パソコン用 USB アダプターが 0.5 秒に 1 回点滅します。その後、本機にパソコン用 USB アダプターが認識されると、2 秒に 1 回点滅します。

0.5 秒に 2 回点滅するときは本機への登録が必要です。登録方法は、P.91 「パソコン用 USB アダプターを登録する」を参照してください。

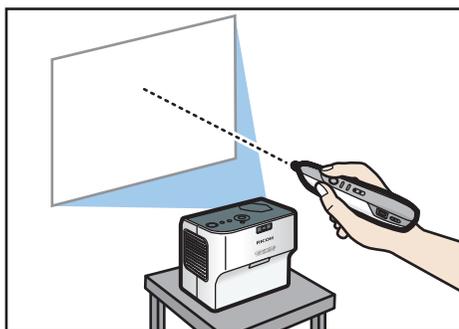
5. 電子ペンの電源スイッチを「On」にします。



CWD011

電子ペンの通信インジケータが赤色で点滅します。点滅しないときは、電子ペンに充電電池がセットされているか確認し、セットされているときは充電してください。電子ペンについて詳しくは、P.98「電子ペンの使いかた」を参照してください。

6. スクリーンに対して、まっすぐペン先を向けます。



CZE028

• 正常に認識されたとき

電子ペンの動きに合わせ、投影されたパソコン画面のポインターが動きます。また、電子ペンの通信インジケータが緑色で点灯または高速で点滅し、パソコン用 USB アダプターが点灯します。

• 認識されないとき

- ペンの持ちかたを確認してください。電子ペンの先端や後部を握ると、電子ペンが本機に正しく認識されないことがあります。電子ペンの持ちかたは、P.99「電子ペンの操作方法」を参照してください。
- ペン先が影を指していないか確認してください。ペン先がスクリーンを指していなかったり、影を指していると本機が電子ペンを正しく認識できないことがあります。電子ペンの操作方法は、P.99「電子ペンの操作方法」を参照してください。
- ペン先の向きや電子ペンの持ちかたを変えても認識されないときは、P.104「インタラクティブ機能を使用できないとき」を参照し、ステップ 1 から順に確認してください。

RICOH PJ Interactive Software をインストールする

スクリーンに投影されたパソコン画面に文字や図形などを書き込むには、RICOH PJ Interactive Software のインストールが必要です。RICOH PJ Interactive Software の使用方法は、『使用説明書<インタラクティブ機能>』を参照してください。

RICOH PJ Interactive Software の動作環境は次のとおりです。

項目	詳細
CPU	<ul style="list-style-type: none"> 推奨: Intel® Core™2 Duo 2GHz 以上 最低: Intel Core Solo U1300
メモリ	<ul style="list-style-type: none"> Windows 7 / 8 (32bit) : 推奨 3GB 以上 (最低 1GB) Windows 7 / 8 (64bit) : 推奨 4GB 以上 (最低 2GB) Windows 8.1 (32bit) : 推奨 3GB 以上 (最低 1GB) Windows 8.1 (64bit) : 推奨 4GB 以上 (最低 2GB) Windows 10 (32bit) : 推奨 3GB 以上 (最低 1GB) Windows 10 (64bit) : 推奨 4GB 以上 (最低 2GB)
ハードディスク	<ul style="list-style-type: none"> 9GB 以上の空き容量があることを推奨 (最低 2GB)
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> Windows 7 Home Premium / Professional / Ultimate / Enterprise SP1 以降 (32bit / 64bit 版) Windows 8 / Pro / Enterprise (32bit / 64bit 版) Windows 8.1 / Pro / Enterprise (32bit / 64bit 版) Windows 10 Home / Pro / Enterprise / Education (32bit / 64bit 版)

★重要

- 管理者権限を持つユーザーでログオンし、インストールしてください。

1. CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
2. 言語と機種名を選択し、[Select] をクリックします。
3. [PJ Interactive Software] をクリックします。
4. インストールで使用する言語を指定し、[OK] をクリックします。
5. パソコンに .NET Framework 4 がインストールされていないときは、[インストール] をクリックします。
パソコンに .NET Framework 4 がすでにインストールされているときは、[インストール] は表示されません。次の手順に進んでください。
6. [次へ] をクリックします。
7. [使用許諾契約の条項に同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。
8. インストール先のフォルダーを指定して、[次へ] をクリックします。
9. [インストール] をクリックします。

10. [完了] をクリックします。

↓ 補足

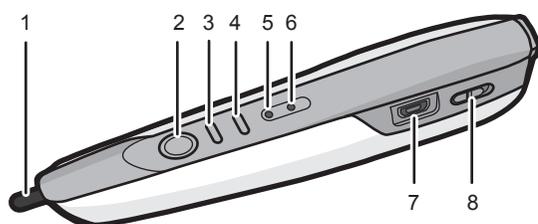
- インストール中に、[ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示されたときは、[続行]、[OK] または [はい] をクリックします。
- RICOH PJ Interactive Software をアンインストールするときは、[コントロールパネル] にあるプログラム削除機能を使用して、「RICOH PJ Interactive Software」を削除してください。

電子ペンの使いかた

インタラクティブ機能を使用する準備をしたあとは、本機と接続したパソコンにパソコン用 USB アダプターをセットし、電子ペンを認識させるだけで電子ペンを使用できます。電子ペンの認識方法は、P.94 「本機に電子ペンを認識させる」を参照してください。

本機、電子ペン、パソコン用 USB アダプターは、ワイヤレスで通信しています。電子ペンを使用するときは、本機、電子ペン、パソコンの間をさえぎらないでください。また、周囲で無線機器を使用しないでください。電子ペンが本機に正しく認識されないことがあります。

電子ペン各部の名称とはたらき



CWD008

1. ペン先スイッチ

スクリーンにタッチして、文字や図を書いたり操作を選択したりします。また、マウスの左ボタンと同じはたらきをします。

2. マウス左ボタン

マウスの左ボタンと同じはたらきをします。

3. マウス右ボタン

マウスの右ボタンと同じはたらきをします。

4. ポイント位置補正ボタン

ペン先のポイント位置を補正します。ペンの持ちかたを変えたときに使用します。標準のポイント位置はペンの中心です。ボタンを押すたびに、上方向、下方向、中心の順でポイント位置を調整します。

5. 電池インジケーター

電子ペンの電池の状態を表示します。

充電を開始すると緑色に点灯し、充電が完了すると消灯します。

6. 通信インジケーター

電子ペンの通信状態を表示します。

本機が電子ペンを認識するまで、赤色で点滅します。

本機が電子ペンを認識すると、緑色で点灯または高速で点滅します。

7. USB コネクタ

電子ペン充電用ケーブルを差し込みます。充電方法は P.103 「電子ペンを充電する」を参照してください。

8. 電源スイッチ

電子ペンの電源オン/オフを切り替えます。

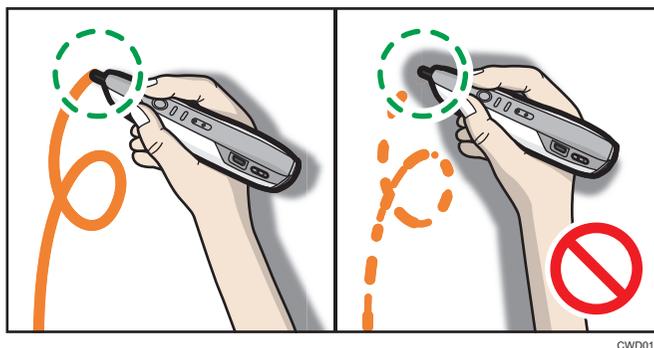
電子ペンの操作方法

スクリーンにペン先を向けると電子ペンが認識され、スクリーンのパソコン画面が操作できます。電子ペンを認識させる方法は、P.94 「本機に電子ペンを認識させる」を参照してください。

電子ペンで、スクリーンに直接タッチして投影されたパソコン画面を操作できます。ペン先で同じ場所に2度タッチしてダブルクリックすることもできます。

★重要

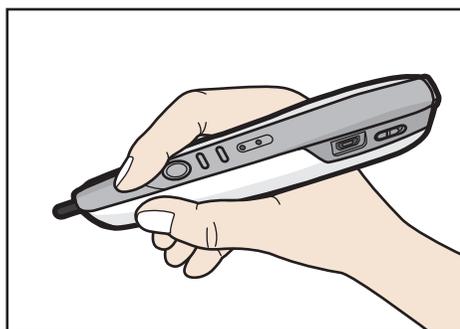
- ペン先の指す位置が影にならないように電子ペンを操作してください。



CWD014

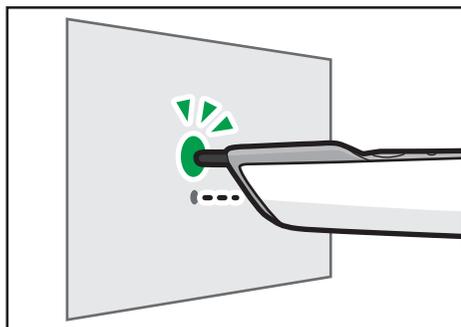
本機を床や台の上に設置しているとき

電子ペンを次の図のように持って操作してください。電子ペンの先端や後部を握ると、電子ペンが本機に正しく認識されないことがあります。



CZD017

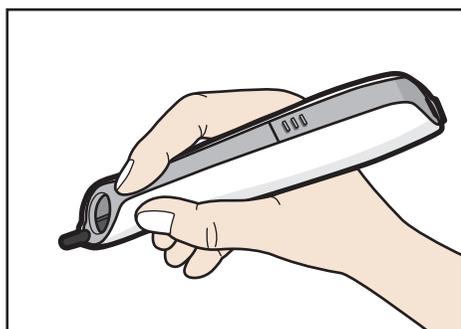
ペンのポイント位置を、ペンの中心ではなくペン先スイッチの位置に合わせるときは、ポイント位置補正ボタンで上方向に調整します。



CWD030

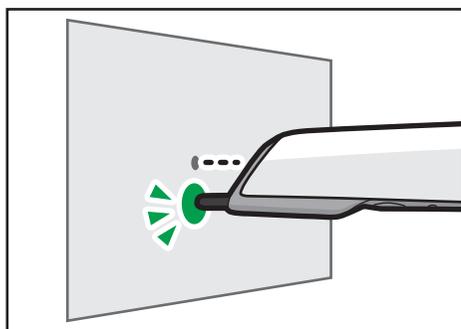
本機を天吊り・壁掛け設置しているとき

本機を天吊り・壁掛け設置しているときは、ペンを逆に持つと影になりにくくなります。



CWD024

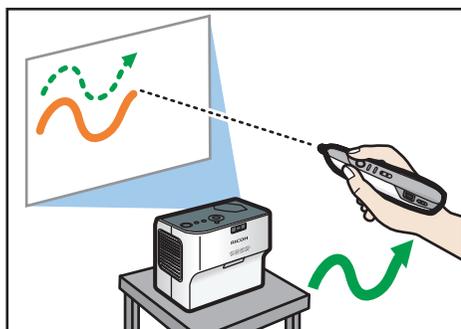
電子ペンを逆に持ったときに、ペンのポイント位置をペン先スイッチの位置に合わせるには、ポイント位置補正ボタンで下方向に調整します。



CWD032

離れた場所から電子ペンを操作する

スクリーンから離れた場所からでも電子ペンを操作できます。スクリーンから離れて操作するときは、電子ペンのマウスボタンを使用します。



CZE127

↓ 補足

- 電子ペンは、本機がインタラクティブモードになっていないと操作できません。インタラクティブモードの設定方法は、P.90「本機をインタラクティブモードにする」を参照してください。

電子ペンに充電池をセットする

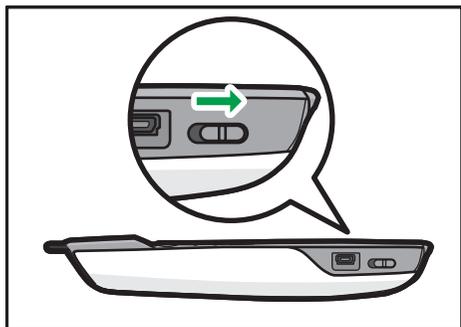
6

⚠ 警告



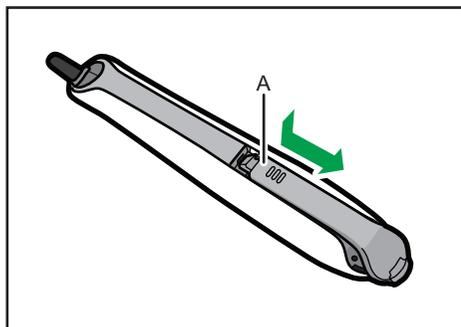
- 電池は、次の注意事項を守って安全に使用してください。電池の使い方を誤ると、電池の液もれや破裂により、火災やけがの原因になることがあります。
 - 指定された電池以外は使用しないでください。
 - 極性(+、-)を正しく入れてください。
 - 電池を分解、改造、直接ハンダづけしたりしないでください。
 - 電池は加熱したり、火や水の中に投げ込まないでください。
 - +極と-極を針金などで接続しないでください。
 - 表示されている「使用推奨期間」を過ぎた電池、使い切った電池はすぐに取り出してください。
 - 長期間使用しないときは、電池を取り出してください。
 - 電池は乳幼児や幼児の手の届くところに置かないでください。飲み込んだり喉に詰まらせることがあります。飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

1. 電子ペンの電源が「Off」になっているか確認します。



CWD029

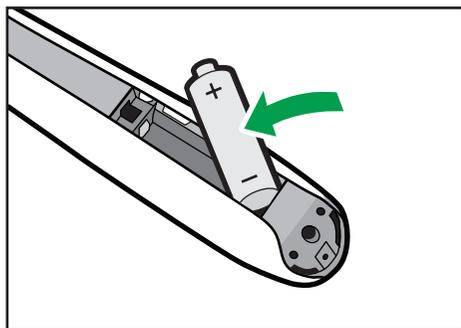
2. 電池カバーの A の部分を押し込み、スライドしてはずします。



CWD025

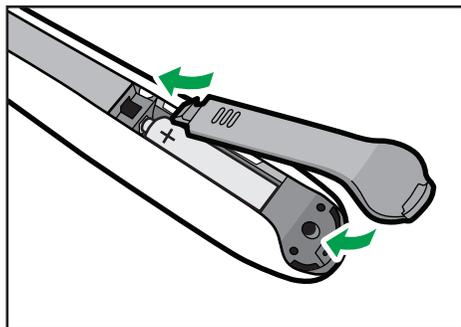
3. 電池を入れます。

電池のプラスとマイナスを確かめて入れてください。



CWD026

4. 電池カバーを閉めます。



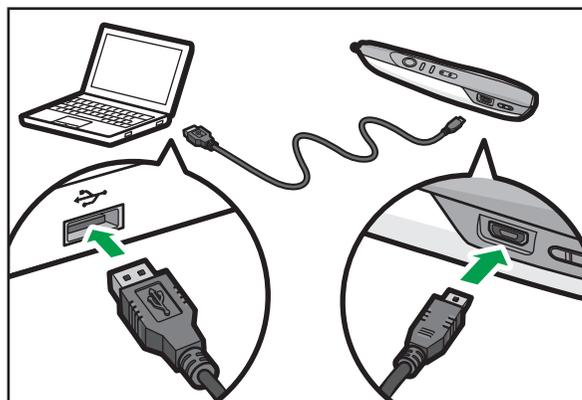
CWD027

↓ 補足

- 電池が液漏れしたときの対処方法は、P.149「使用上のお願い」を参照してください。

電子ペンを充電する

電子ペン充電用ケーブルを、パソコンなどの USB ポートと電子ペンに差し込みます。



CWD009

充電をしているときは、電子ペンの電池インジケータが点灯し、充電が完了すると消灯します。

インタラクティブ機能を使用できないとき

インタラクティブ機能を使用できないときは、次の順に確認してください。

ステップ	確認項目	対処方法
1	本機の電源が入っているか確認します。	本機の電源が入っていないときは、電源コードが接続されているか確認し、電源を入れます。電源の入れかたは、P.37「電源を入れる」を参照してください。
2	本機がインタラクティブモードになっているか確認します。	インタラクティブモードが「切」に設定されているときは、「入」に設定します。インタラクティブモードの確認方法や設定方法は、P.90「本機をインタラクティブモードにする」を参照してください。
3	パソコンに、パソコン用 USB アダプターがセットされているか確認します。	セットされていないときは、パソコン用 USB アダプターをパソコンの USB ポートにセットしてください。
4	本機にパソコン用 USB アダプターが登録されているか確認します。	登録されていると、パソコン用 USB アダプターが 0.5 秒に 1 回点滅します。その後、本機にパソコン用 USB アダプターが認識されると、2 秒に 1 回点滅します。0.5 秒に 2 回点滅するときは本機への登録が必要です。登録方法は、P.91「パソコン用 USB アダプターを登録する」を参照してください。
5	本機とパソコンが、RGB ケーブルまたは HDMI ケーブルで接続されているか確認します。	RGB ケーブルや HDMI ケーブル以外で接続すると、インタラクティブ機能を利用できません。接続方法は、P.32「RGB 出力端子に接続する」、または P.32「HDMI 端子に接続する」を参照してください。
6	スクリーンにパソコン画面が投影されているか確認します。	パソコン画面が投影されていないと電子ペンが認識されません。投影方法は、P.39「映像を投影する」を参照してください。
7	電子ペンの電源スイッチが「Off」になっていないか確認します。	電子ペンの電源スイッチを「On」にしてください。電源スイッチについては、P.98「電子ペン各部の名称とはたらき」を参照してください。
8	電子ペンに充電電池がセットされているか、充電が切れていないか確認します。	電子ペンの電源スイッチを「On」にすると、電子ペンの通信インジケータが点滅します。点滅しないときは、電子ペンに充電電池がセットされているか確認し、充電電池がセットされているときは、充電してください。充電電池のセット方法は、P.101「電子ペンに充電電池をセットする」を、充電方法は、P.103「電子ペンを充電する」を参照してください。
9	電子ペンのペン先をスクリーンに向け、本機が電子ペンを認識するか確認します。	電子ペンが正常に認識されると、投影されたパソコン画面でポインターが電子ペンの動きに合わせて動きます。電子ペンを本機に認識させる方法は、P.94「本機に電子ペンを認識させる」を参照してください。

↓ 補足

- 本機が起動しない、パソコン画面が投影されないなど、本機に関するトラブルを解決するときは、P.139「困ったときには」を参照してください。
- トラブルを解決できないときは、サービス実施店に確認してください。

思いどおりに操作できないとき

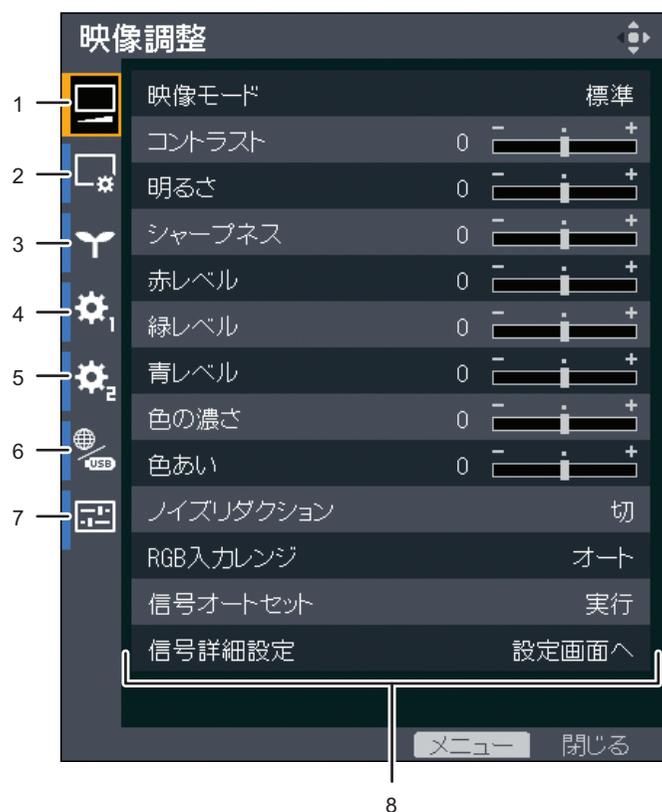
思いどおりに操作できないときの対処方法を説明します。

状態	対処方法
ペン先でポイントした位置とスクリーン上で表示される位置にずれがある。	<ul style="list-style-type: none">• パソコンのグラフィックドライバーで、ディスプレイの表示設定を変更し、投影した画面をパソコン側でスケーリングしないように設定してください。 (例：ディスプレイ > 一般設定 > スケーリング「ディスプレイスケーリングを保持する」に変更)• パソコンの出力先の設定を、プロジェクターの画面だけ表示するよう変更してください。 <p>設定について詳しくは、パソコンの説明書を確認してください。</p>

7. 本機の設定を変更する

メニュー画面の各種設定項目と、設定の変更方法を説明します。

メニュー画面の見かた



8

CZD108

1. 映像調整メニュータブ

コントラストや明るさなど、映像の調整をします。

映像調整メニューの設定項目は、P.112「映像調整メニュー」を参照してください。

2. 表示・音設定メニュータブ

自動台形補正や音質など、映像表示や音に関する設定をします。

表示・音設定メニューの設定項目は、P.115「表示・音設定メニュー」を参照してください。

3. 省エネ設定メニュータブ

省エネの設定をします。

省エネ設定メニューの設定項目は、P.117「省エネ設定メニュー」を参照してください。

4. 初期設定1メニュータブ

ビープ音やユーザーロゴなどを設定します。

初期設定 1 メニューの設定項目は、P.119 「初期設定 1 メニュー」を参照してください。

5. 初期設定 2 メニュータブ

表示言語や起動パスワードなどを設定します。

初期設定 2 メニューの設定項目は、P.120 「初期設定 2 メニュー」を参照してください。

6. ネットワーク・USB 設定メニュータブ

USB 設定メニュー、ネットワーク設定メニュー、ネットワークアプリ設定メニューで構成されています。

- USB 設定メニュー

USB ファイル投影の設定をします。

USB 設定メニューの設定項目は、P.122 「USB 設定メニュー」を参照してください。

- ネットワーク設定メニュー

IP アドレスなどのネットワークの設定をします。

ネットワーク設定メニューの設定項目は、P.124 「ネットワーク設定メニュー」を参照してください。

- ネットワークアプリ設定メニュー

PJLink や Web Image Monitor などの設定をします。

ネットワークアプリ設定メニューの設定項目は、P.132 「ネットワークアプリ設定メニュー」を参照してください。

7. 状態表示タブ

入力信号の情報やランプ使用時間などを確認できます。

表示される項目は、P.137 「状態表示」を参照してください。

8. 設定項目

各メニューの設定項目や各種情報が表示されます。

設定を変更する

1. [メニュー] ボタンを押します。



2. [▲]、[▼] ボタンを押してメニューのタブを選択します。



状態表示タブを選択したときは、この手順で各種情報が確認できます。

3. [▶] ボタンを押します。
4. [▲]、[▼] ボタンを押して設定を変更する設定項目を選択します。
5. [決定] ボタンを押します。

「設定画面へ」と表示されている設定項目を選択していると、サブメニューが表示されます。設定項目を選択して [決定] ボタンを押します。

「実行」と表示されている項目を選択していると、この手順で機能が実行されます。

6. 設定を変更します。

- 数値バーで設定値を調整する

[◀]、[▶] ボタンを押して設定値を調整し、[決定] ボタンを押します。



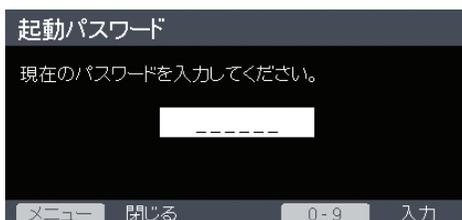
- リストから設定値を選択する

[▲]、[▼]、[◀]、または [▶] ボタンを押して設定値を選択し、[決定] ボタンを押します。



- 数字を入力する

リモコンの数字ボタンを押して数字を入力します。



- 文字を入力する

投影画面に表示されたキーボードで文字を入力します。

数字はリモコンの数字ボタンでも入力できます。

7. 確認画面が表示されたときは、[OK] を選択し、[決定] ボタンを押します。

8. [メニュー] ボタンを押します。

9. 確認画面が表示されたときは、[反映する] を選択し、[決定] ボタンを押します。

↓ 補足

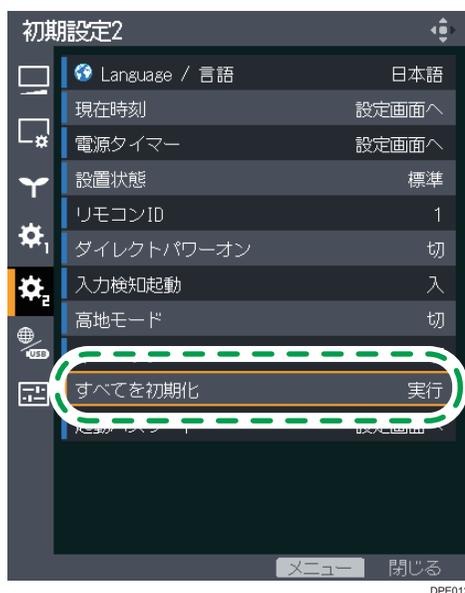
- ネットワーク・USB 設定メニューには、「USB 設定」、「ネットワーク設定」、「ネットワークアプリ設定」の3つのメニューがあります。設定を変更するメニューを選択し、表示されたメニュー画面で手順2から操作してください。
- メニュー画面は最後に操作してから30秒後に閉じます。設定の変更中にメニュー画面が閉じたときは、[決定] ボタンを押していなくても、選択されていた設定値に変更されます。
- ネットワーク・USB 設定メニューの設定項目は、確認画面で「反映する」を選択するまで変更されません。
- USB メモリーまたはサーバーのファイルを投影しているときは、メニュー画面を開けません。投影を停止してからメニュー画面を開いてください。

すべての設定を工場出荷時の設定に戻す

1. [メニュー] ボタンを押します。



2. [初期設定 2] を選択し、[▶] ボタンを押します。
3. 「すべてを初期化」を選択し、[決定] ボタンを押します。



4. 確認画面で「OK」を選択し、[決定] ボタンを押します。

↓ 補足

- 「すべてを初期化」を実行したあと、スタートメニューが表示されます。スタートメニューについては、P.38 「スタートメニューが表示されたとき」を参照してください。
- 次の設定は工場出荷時の設定に戻りません。
 - 初期設定 1 メニューの「ユーザーロゴ」
「ユーザーロゴ」は初期設定 1 メニューの「ロゴ初期化」で初期化できます。
 - 初期設定 2 メニューの「現在時刻」、「起動パスワード」
 - ネットワークアプリ設定メニューの「管理者認証」、「管理者パスワード」
パスワードを初期化するときは、販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。

映像調整メニュー

項目名	初期値
映像モード 映像の画質を選択します。 表示・音設定メニューの「3D 投影」が「入」のとき、初期設定 1 メニューの「インタラクティブモード」が「入」のときは設定できません。 <ul style="list-style-type: none"> • 高輝度 明るいところで見やすい映像モードです。 • 標準 標準的な映像モードです。 • 写真 写真が自然に見える映像モードです。 • 動画 動画をきれいに投影できる映像モードです。 • 簡易 DICOM DICOM 規格に近似した映像に調整します。DICOM は、医療用画像の保存や通信に使用されている世界標準規格です。コンピューター断層撮影 (CT)、磁気共鳴映像法 (MRI) や内視鏡などに使用されています。「簡易 DICOM」を選択すると、映像を DICOM 規格に近似した映像に調整しますが、正確に再現できないことがあります。そのため、教育用途だけに使用し実際の診断には使用しないでください。 	標準
コントラスト 映像のコントラストを調整します。 数値が大きいほどコントラストが強い映像になります。	0
明るさ 映像の明るさを調整します。 数値が大きいほど明るい映像になります。	0
シャープネス 映像の鮮鋭さを調整します。 数値が大きいほど鮮鋭な映像になります。	0
赤レベル 映像の赤色の強弱を調整します。 数値が大きいほど赤の強い映像になります。	0
緑レベル 映像の緑色の強弱を調整します。 数値が大きいほど緑の強い映像になります。	0
青レベル 映像の青色の強弱を調整します。 数値が大きいほど青の強い映像になります。	0

項目名	初期値
色の濃さ 映像の色の濃さを調整します。 数値が大きいほど色の濃い映像になります。 入力信号が「Y/Pb/Pr」または「ビデオ」のときに設定できます。	0
色あい 映像の色あいを調整します。 入力信号が「Y/Pb/Pr」、「HDMI」(Y/Pb/Pr 信号)、または「ビデオ」のときに設定できます。	0
ノイズリダクション Y/Pb/Pr 信号 (480i/576i) またはビデオ信号のノイズを低減する機能を使用するかどうかを選択します。 入力信号が「Y/Pb/Pr」(480i/576i) または「ビデオ」のときに設定できます。	切
RGB 入力レンジ RGB 入力レンジを選択します。 入力信号が「HDMI」(RGB 信号) のときに設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • オート 接続している機器の設定に合わせて自動的に RGB 入力レンジを切り替えます。 • 標準 映像の黒い部分が薄くなったときに設定します。 • フル 映像の暗部が黒くなりすぎたときに設定します。 	オート
信号オートセット 「信号詳細設定」の各項目を自動的に調整します。 入力信号が「コンピューター」のときに実行できます。	-
信号詳細設定 > サンプリング位相 映像のちらつきがなくなるように調整します。 入力信号が「コンピューター」のときに設定できます。	0~31 *1
信号詳細設定 > サンプリング周波数 細かい縦じまを投影したとき、周期的な模様やちらつきがなくなるように調整します。 入力信号が「コンピューター」のときに設定できます。	0
信号詳細設定 > 水平位置 映像の水平位置を調整します。 入力信号が「コンピューター」のときに設定できます。	0
信号詳細設定 > 垂直位置 映像の垂直位置を調整します。 入力信号が「コンピューター」のときに設定できます。	0
信号詳細設定 > クランプパルス 1 クランプパルスの位置を調整します。 入力信号が「コンピューター」のときに設定できます。	0~255 *1

項目名	初期値
信号詳細設定 > クランプパルス 2 クランプパルスの幅を調整します。 入力信号が「コンピューター」のときに設定できます。	0~255 *1

*1 本機は、入力された映像信号によって「サンプリング位相」、「クランプパルス 1」、「クランプパルス 2」の設定を自動で調整します。そのため、入力されている映像信号によって初期値が異なります。

表示・音設定メニュー

項目名	初期値
自動台形補正 本機の設置角度に応じて、自動で台形補正するかどうかを選択します。	入
台形補正 台形ゆがみを補正します。 数値を小さくすると、投影画面下側の幅が狭くなります。数値を大きくすると、投影画面上側の幅が狭くなります。	0
ズーム デジタルズーム機能で投影画面を縮小します。表示倍率は 80~100% の範囲で調整できます。	100%
アスペクト 映像の縦横比を選択します。 入力信号が「USB メモリー」または「サーバー」のときは設定できません。入力信号が「ネットワーク PC」のときは、QuickProjection でパソコン画面を投影しているときだけ設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • ノーマル 入力信号の縦横比を変更しないで、全画面に表示します。 • 16:9 16:9 の縦横比 (1280×720 ドット) で表示します。 • フル フルサイズの解像度 (1280×800 ドット) で表示します。 • リアル 入力信号の解像度そのまま表示します。 入力信号が「コンピューター」、「HDMI」(RGB 信号)、または「ネットワーク PC」のときに設定できます。 • ズーム 入力信号の縦横比を維持したまま、映像の幅が投影画面の幅になるように表示します。 	ノーマル
表示位置 映像が投影画面サイズより小さいときや大きいときに映像を移動します。映像は [▲]、[▼]、[◀] または [▶] ボタンで移動できます。入力信号が「ネットワーク PC」、「USB メモリー」、または「サーバー」のときは設定できません。	-
壁色モード スクリーン以外に投影するときに、投影面に合わせた映像の色合いを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 切 • ホワイトボード • ベージュ • グレー • 黒板 (緑) 	切

項目名	初期値
3D 投影 > 3D 投影 3D 投影をするかどうかを選択します。 「入」に設定しているときは、映像が少し暗くなります。 3D 投影は、インタラクティブモードと同時に使用できません。「3D 投影」を「入」に設定すると、初期設定 1 メニューの「インタラクティブモード」が「切」になります。	切
3D 投影 > L/R 反転 3D 映像の左右を入れ替えるかどうかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 標準 • 反転 	標準
3D 投影 > 3D フォーマット 3D フォーマットを選択します。 HDMI で 3D 信号を入力しているときは「オート」を選択します。 「オート」を選択しても 3D 映像が投影されないときは、入力信号に合わせて 3D フォーマットを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> • オート • フレームシーケンシャル • サイドバイサイド • トップアンドボトム • フレームパッキング 	オート
クローズドキャプション クローズドキャプションの表示方法を選択します。 クローズドキャプションは、北米の FCC (Federal Communications Commission) の規定に準拠した字幕機能です。 「CC-1」～「CC-4」を選択したときは、クローズドキャプションに対応している番組などの会話やナレーションの字幕が表示されます。 入力信号が「ビデオ」のときに設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 切 • CC-1 • CC-2 • CC-3 • CC-4 	切
音質 再生する音に適した音質を設定します。この機能は、内蔵スピーカーに適用されます。外部スピーカーを使用しているときは、この機能では音質を変更できません。 <ul style="list-style-type: none"> • 標準 人の声と音楽のバランスが良い音質に設定します。 • ナレーション 人の声を聞くときに適しています。 • ミュージック 音楽を聞くときに適しています。 	標準

省エネ設定メニュー

項目名	初期値
<p>ランプパワー ランプパワーを選択します。 ランプの消費電力を節約するときは、エコモードに設定します。映像を明るくするときは、標準モードに設定します。 「簡易 DICOM」、「3D 投影」、または「インタラクティブモード」が有効のときは、現在の設定にかかわらずランプパワーが「標準」になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • エコ • 標準 	標準
<p>無信号時ランプパワー 入力信号がないときに、ランプの明るさを抑えるかどうかを選択します。「エコ」を選択すると、入力信号がなくなってから 30 秒後にランプの明るさを抑えます。消費電力の節約に役立ちます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • エコ • 標準 	エコ
<p>イメージエコ 映像信号の明るさによってランプパワーを自動的に切り替えるかどうかを選択します。 「簡易 DICOM」、「3D 投影」、または「インタラクティブモード」が有効のときは動作しません。</p>	入
<p>無信号電源オフ 入力信号がないときに、最後に操作してからスタンバイ状態に入るまでの時間を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 切 • 5 分後 • 10 分後 • 20 分後 • 30 分後 	20 分後
<p>待機時電源 スタンバイ中の消費電力を節約するかどうかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • エコ スタンバイ中の消費電力を節約しますが、起動時間が長くなります。 • クイック ON スタンバイ中の消費電力が高くなりますが、起動時間が短くなります。 	エコ

項目名	初期値
<p>待機時 NW 設定</p> <p>スタンバイ中に有効にするネットワーク機能を選択します。ネットワーク機能を無効にすると消費電力を節約できます。「待機時電源」が「エコ」のときに設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 使用しない スタンバイ中に有線 LAN/無線 LAN 機能を無効にし、消費電力を節約します。有線 LAN/無線 LAN 機能を使用するときは、[電源] ボタンで電源を入れてください。 • 有線 LAN スタンバイ状態から有線 LAN 経由で電源を入れることができます。 • 有線/無線 LAN スタンバイ状態から有線 LAN/無線 LAN 経由で電源を入れることができます。 	有線 LAN

↓ 補足

- ランプの設定によってランプパワーが下がったとき、ランプの特性によって、まれに画面がちらつくことがあります。このようなときは、次のように設定してください。
 - ランプパワー：標準
 - 無信号時ランプパワー：標準
 - イメージエコ：切

初期設定 1 メニュー

項目名	初期値
自動入力検索 [入力] ボタンを押すだけで、映像信号が入力されている別の入力に切り替えるかどうかを設定します。	入
ビープ音 操作時に操作音を出すかどうかを選択します。	入
無信号背景 入力信号がないときに投影する映像を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • ロゴ • 青 • なし 	ロゴ
ガイダンス表示 操作時に機能のガイダンスを表示するかどうかを選択します。	入
スタート画面 電源を入れたときにスタート画面を表示するかどうかを選択します。	入
ユーザーロゴ > ロゴ登録 ユーザーロゴに登録する画像の投影中に実行すると、ユーザーロゴを登録できます。ユーザーロゴはスタート画面や入力信号がないときの背景に表示できます。 1280 × 800 ドットまでの画像をユーザーロゴに登録できます。 入力信号が「コンピューター」または「HDMI」(RGB 信号) のときに登録できます。入力信号が「ネットワーク PC」または「Miracast」のときは、パソコンやスマートデバイスの映像の投影中だけ登録できません。	-
ユーザーロゴ > ロゴ確認 登録されているユーザーロゴを表示します。	-
ユーザーロゴ > ロゴ初期化 登録されているユーザーロゴを削除します。	-
インタラクティブ > インタラクティブモード (RICOH PJ WX4152NI のみ) インタラクティブ機能の有効/無効を選択します。インタラクティブ機能については、P.89 「インタラクティブ機能を使用する (RICOH PJ WX4152NI のみ)」を参照してください。 インタラクティブモードは、3D 投影と同時に使用できません。「インタラクティブモード」を「入」に設定すると、表示・音設定メニューの「3D 投影」が「切」になります。	切
インタラクティブ > PC 用アダプター登録 (RICOH PJ WX4152NI のみ) インタラクティブ機能で使用するパソコン用 USB アダプターを本機に登録します。登録方法は、P.91 「パソコン用 USB アダプターを登録する」を参照してください。 入力信号が「ビデオ」のときは登録できません。	-

初期設定 2 メニュー

項目名	初期値
Language / 言語 表示言語を選択します。次の言語から選択できます。 英語、日本語、スペイン語、ロシア語、フランス語、ポルトガル語、ドイツ語、イタリア語、オランダ語、ポーランド語、スウェーデン語、ノルウェー語、デンマーク語、ルーマニア語、トルコ語、アラビア語、タイ語、インドネシア語、中国語（繁体字）	日本語
現在時刻 > 日付と時刻 現在の日付と時刻を設定します。	(未設定)
現在時刻 > タイムゾーン 本機を使用する場所のタイムゾーンを、協定世界時（UTC）との時差で設定します。日本では+9：00 に設定します。	+9：00
電源タイマー > タイマー投影 指定した曜日、時刻に自動的に投影開始／終了する機能を使用するかどうかを設定します。「入」に設定したときは、「投影曜日」、「投影時刻」を設定してください。	切
電源タイマー > 投影曜日 電源タイマー機能で投影する曜日を選択します。	(未設定)
電源タイマー > 投影時刻 電源タイマー機能で投影開始する時刻、投影終了する時刻を設定します。起動時刻と終了時刻の間隔は、少なくとも 10 分空ける必要があります。	(未設定)
設置状態 本機の設置状態に合わせて投影方法を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 標準 本機をスクリーンの正面に設置しているときに選択します。 • 背面 本機をスクリーンの背面に設置しているときに選択します。 • 天吊り 本機をスクリーンの正面に天吊り設置しているときに選択します。 • 背面天吊り 本機をスクリーンの背面に天吊り設置しているときに選択します。 	標準

項目名	初期値
リモコン ID 本機のリモコン ID を選択します。 複数のプロジェクターを 1 つのリモコンで操作するときは、プロジェクターごとに ID を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 1 • 2 • 3 • 4 	1
ダイレクトパワーオン 電源の入れかたを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 切 [電源] ボタンを押して電源を入れます。 • 入 電源コードを接続すると、自動的に電源が入ります。 	切
入力検知起動 スタンバイ中に信号が入力されたとき、自動的に投影を開始するかしないかを設定します。	入
高地モード 「入」に設定するとファンの回転数が高くなります。高地では空気が希薄なため、本機の冷却効率が低下します。標高およそ 1,500m 以上の高地で本機を使用するときは、「入」に設定してください。高地以外で使用するときは、「入」に設定しないでください。	切
キーロック 操作部のボタン操作を無効にするかどうかを選択します。 キーロック機能は、操作部の [AV ミュート] ボタンを 10 秒間押し続けても解除できません。	切
すべてを初期化 メニューの設定を工場出荷時の設定に戻します。 初期設定 1 メニューの「ユーザーロゴ」、初期設定 2 メニューの「現在時刻」、「起動パスワード」、ネットワークアプリ設定メニューの「管理者認証」、「管理者パスワード」の設定は初期化されません。	-
起動パスワード > パスワード登録 数字 6 桁のパスワードを設定します。 パスワードを変更するときは、現在のパスワードの入力が必要です。	000000
起動パスワード > パスワードプロテクト 電源を入れたときに、パスワードを入力するかどうかを設定します。 パスワードを要求されるのは、電源プラグを抜いてから最初に電源を入れるときだけです。電源プラグを抜かずにスタンバイ状態から電源を入れるときは、パスワードは要求されません。 設定を変更するときは、パスワードの入力が必要です。	切

USB 設定メニュー

ネットワーク・USB 設定メニュータブの USB 設定メニューの各項目を説明します。

USB 設定メニューは、Web Image Monitor でも設定、確認できます。ただし、次の設定はメニュー画面だけで利用できます。

- 「設定」の「USB メモリー取外し」
- 「状態表示」の「USB メモリー空き容量(KB)」、「USB メモリーへのアクセス状態」

Web Image Monitor では、「状態表示」の「ネットワーク・USB ファームウェアバージョン」はトップ画面で確認できます。

Web Image Monitor について詳しくは、P.164 「Web Image Monitor で本機を管理する」を参照してください。

設定

静止画

項目名	初期値
表示効果 画像が切り替わるときの表示効果を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • なし • プッシュ 表示中の画像を次の画像が押し出します。 • ワイブ 表示中の画像が次の画像で塗り替えられます。 • フェード 表示中の画像がフェードアウトし、次の画像がフェードインします。 	なし
表示間隔(秒)(スライドショー On 時) スライドショーの切り替わり間隔を 5～999 秒の間で入力します。	5 秒

動画

項目名	初期値
リピート(スライドショー Off 時) 動画再生をリピートするかどうかを選択します。	切

共通

項目名	初期値
スライドショーの自動スタート USB 機器を接続したときに自動的にスライドショーを開始するかどうかを選択します。	切
USB メモリー取外し USB 機器を取り外すときに実行します。	-

状態表示

USB メモリー

項目名	初期値
USB メモリー空き容量(KB) USB 機器の空き容量 (単位:KB) が表示されます。	-
USB メモリーへのアクセス状態 USB 機器にアクセスできるかどうか表示されます。	-

ファームウェアバージョン

項目名	初期値
Network・USB 機能 FW バージョン ネットワーク・USB 機能のファームウェアバージョンが表示されます。	-

ネットワーク設定メニュー

ネットワーク・USB 設定メニュータブのネットワーク設定メニューの各項目を説明します。

ネットワーク設定メニューは、Web Image Monitor でも設定、確認できます。ただし、次の設定はメニュー画面だけで利用できます。

- 「無線 LAN」の「無線 LAN 簡単セットアップ」、「EAP タイプ」、「クライアント証明書のインポート」、「クライアント証明書ユーザー名」、「クライアント証明書の一覧」、「CA 証明書のインポート」、「CA 証明書の一覧」、「クライアント/CA 証明書削除」、「MS-CHAP v2 ユーザー名」、「MS-CHAP v2 パスワード」、「Windows ドメイン名」、「サーバー証明書認証」、「中間認証局の許可」、「WPA/WPA2-EAP 接続確認」、「無線 LAN 設定の初期化」
- 「設定ウィザード」の「ネットワーク設定ウィザード」

Web Image Monitor では、「状態表示」の「ネットワーク・USB ファームウェアバージョン」はトップ画面で確認できます。

Web Image Monitor について詳しくは、P.164 「Web Image Monitor で本機を管理する」を参照してください。

7

有線 LAN

有線 LAN の設定

項目名	初期値
有線 LAN 有線 LAN の有効/無効を選択します。	有効
通信速度 有線 LAN の速度を選択します。 使用する環境に合わせた速度を選択してください。通常は「オートネゴシエーション」を選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> • オートネゴシエーション • 10BASE-T 全二重 • 10BASE-T 半二重 • 100BASE-TX 全二重 • 100BASE-TX 半二重 	オートネゴシエーション

TCP/IP の設定

項目名	初期値
DHCP DHCP の有効/無効を選択します。 「有効」を選択したときは、DHCP サーバーから自動的に IP アドレスが割り当てられます。「無効」を選択したときは、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを手動で入力してください。	有効
IP アドレス 本機の IP アドレスを入力します。	0.0.0.0
サブネットマスク サブネットマスクを入力します。	0.0.0.0
デフォルトゲートウェイ デフォルトゲートウェイを入力します。	0.0.0.0

無線 LAN

簡単設定

項目名	初期値
無線 LAN 簡単セットアップ アクセスポイントに設定されている無線 LAN の各種設定を取得し、本機のインフラストラクチャーモードの無線 LAN 設定が自動的にできます。 アクセスポイントによっては、この機能が使用できないことがあります。	-

無線 LAN の設定

項目名	初期値
無線 LAN 無線 LAN の有効/無効を選択します。	有効
通信モード 無線 LAN の通信モードを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> インフラストラクチャー 無線 LAN ネットワークに接続するときに選択します。「インフラストラクチャー」を選択したときは、「SSID」と、「セキュリティ」、「TCP/IP の設定」の各項目の設定が必要です。 アドホック パソコンと直接通信するときに選択します。「アドホック」を選択すると、本機は「SSID」と、「セキュリティ」、「TCP/IP の設定」の各項目を自動で設定します。 	アドホック

項目名	初期値
SSID 「通信モード」が「インフラストラクチャー」のとき、接続する無線 LAN ネットワークの SSID を入力します。 SSID は半角英数 32 文字以内で入力してください。	(空欄)
チャンネル 「通信モード」で「アドホック」を選択したときに使用するチャンネルを選択します。 使用する無線 LAN の規格に合わせてチャンネルを選択してください。次のチャンネルを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 2.4GHz : 1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13 • 5GHz : 36、40、44、48 	11

TCP/IP の設定

項目名	初期値
DHCP DHCP の有効/無効を選択します。 「有効」を選択したときは、DHCP サーバーから自動的に IP アドレスが割り当てられます。「無効」を選択したときは、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを手動で入力してください。	有効
IP アドレス 本機の IP アドレスを入力します。	0.0.0.0
サブネットマスク サブネットマスクを入力します。	0.0.0.0
デフォルトゲートウェイ デフォルトゲートウェイを入力します。	0.0.0.0

セキュリティー

項目名	初期値
認証方式 無線 LAN の認証方式を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • オープンシステム • WEP シェアードキー • WPA/WPA2-PSK • WPA2-PSK • WPA/WPA2-EAP • WPA2-EAP 	オープンシステム

項目名	初期値
<p>暗号方式 無線 LAN の暗号方式を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 暗号なし 通信は暗号化されません。「認証方式」が「オープンシステム」のときにだけ選択できます。 • WEP 「認証方式」が「オープンシステム」または「WEP シェアードキー」のときに選択します。 • TKIP 「認証方式」が「WPA/WPA2-PSK」または「WPA/WPA2-EAP」のときに選択します。 • CCMP 「認証方式」が「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」のときに選択します。 	暗号なし
<p>送信 WEP キー番号 「暗号方式」が「WEP」のときの認証・暗号送信に使用するキー番号を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 • 2 • 3 • 4 	1
<p>ネットワークキー 「認証方式」が「オープンシステム」または「WEP シェアードキー」で、「暗号方式」が「WEP」のときは WEP キーを入力します。 WEP キーで 64bit WEP を選択したときは、16 進数で 10 桁、半角英数で 5 桁の文字列が使用できます。128bit WEP を選択したときは、16 進数で 26 桁、半角英数で 13 桁の文字列が使用できます。 「認証方式」が「WPA/WPA2-PSK」または「WPA2-PSK」のときは PSK を入力します。 PSK は 16 進数では 64 桁、半角英数では 8-63 文字の範囲で入力します。</p>	(空欄)
<p>EAP タイプ 「認証方式」で「WPA/WPA2-EAP」または「WPA2-EAP」を選択したときに、WPA/WPA2-EAP の方式を設定します。EAP-TLS または EAP-PEAP から選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • EAP-TLS クライアント証明書と CA 証明書を本機にインポートする必要があります。 • EAP-PEAP CA 証明書を本機にインポートする必要があります。 	EAP-TLS
<p>クライアント証明書のインポート 「EAP タイプ」で「EAP-TLS」を選択したとき、WPA/WPA2-EAP または WPA2-EAP で使用するクライアント証明書をインポートします。</p>	-

項目名	初期値
クライアント証明書ユーザー名 「EAP タイプ」で「EAP-TLS」を選択したとき、WPA/WPA2-EAP または WPA2-EAP で使用するクライアント証明書のユーザー名を入力します。 入力は任意です。入力しないときは、証明書の初期値が使用されます。	(空欄)
クライアント証明書の一覧 インポート済みのクライアント証明書を一覧表示します。	-
CA 証明書のインポート WPA/WPA2-EAP または WPA2-EAP で使用する CA 証明書をインポートします。	-
CA 証明書の一覧 インポート済みの CA 証明書を一覧表示します。	-
クライアント/CA 証明書削除 インポート済みのクライアント証明書と CA 証明書を一括削除します。	-
MS-CHAP v2 ユーザー名 「EAP タイプ」で「EAP-PEAP」を選択したとき、MS-CHAP v2 ユーザー名を入力します。スペースを含む半角 31 文字まで入力できます。	(空欄)
MS-CHAP v2 パスワード 「EAP タイプ」で「EAP-PEAP」を選択したとき、MS-CHAP v2 パスワードを入力します。スペースを含む半角 128 文字まで入力できます。	(空欄)
Windows ドメイン名 「EAP タイプ」で「EAP-PEAP」を選択したとき、Windows ドメイン名を入力します。スペースを含む半角 64 文字まで入力できます。「@」と「\」（バックスラッシュ）は使用できません。	(空欄)
サーバー証明書認証 サーバー証明書による認証の有効/無効を設定します。	有効
中間認証局の許可 中間認証局の有効/無効を設定します。	有効
WPA/WPA2-EAP 接続確認 WPA/WPA2-EAP の接続確認を実行します。	-

無線 LAN 設定の初期化

項目名	初期値
無線 LAN 設定の初期化 無線 LAN 設定のすべての項目を工場出荷時の設定に戻します。 通信モード、SSID、チャンネル、認証方式、暗号方式、送信 WEP キー番号、ネットワークキー、DHCP、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ	-

LAN 共通

有線 LAN、無線 LAN 共通の設定ができます。

優先デフォルトゲートウェイ

項目名	初期値
優先デフォルトゲートウェイ 本機が有線 LAN と無線 LAN の両方に接続されているときに、利用するネットワークインターフェースを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 有線 LAN • 無線 LAN 	有線 LAN

DNS 設定

項目名	初期値
ホスト名 本機のホスト名が表示されます。 ホスト名は、「プロジェクター ID」の「プロジェクター名」の設定が反映されます。	-
ドメイン名 本機のドメイン名を入力します。半角英数 63 文字以内で入力してください。	(空欄)

プロジェクター検索設定

項目名	初期値
プロジェクター検索の有効無効 本機と本機に接続する機器が同じネットワークにあるときに、自動的に本機を検索するかどうかを選択します。	有効

HTTP サーバー設定

項目名	初期値
HTTP のポート HTTP のポートを 1～65535 の間で入力します。	80

プロジェクター ID

項目名	初期値
プロジェクター名 ネットワーク上で本機を識別するためのプロジェクター名を設定します。半角 16 文字以内で入力してください。入力できる文字は、半角の英数字、ハイフン、ドットです。プロジェクター名の先頭にはアルファベットだけ入力できます。末尾には記号を入力できません。また、記号は 2 つ以上並べて入力できません。	RPJxxxxxx ^{*1}
識別コード QuickProjection を使用して本機とパソコンを接続するときの識別コードを入力します。数字 4 桁で入力してください。	0000～9999 ^{*2}

*1 xxxxxx は有線 LAN の MAC アドレスの下 6 桁です。

*2 「識別コード」の初期値はプロジェクターごとに異なります。

設定ウィザード

項目名	初期値
ネットワーク設定ウィザード ネットワーク設定ウィザードを表示します。ネットワーク設定ウィザードについては、P.71 「本機をネットワークと接続する」を参照してください。	-

状態表示

有線 LAN

項目名	初期値
有線 LAN の状態を表示します。次の項目を確認できます。 接続ステータス、MAC アドレス、送信速度、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ	-

無線 LAN

項目名	初期値
無線 LAN の状態を表示します。次の項目を確認できます。 接続ステータス、電波強度、MAC アドレス、接続先 BSSID、通信モード、送信速度、チャンネル、SSID、認証方式、暗号方式、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ	-

ファームウェアバージョン

項目名	初期値
Network・USB 機能 FW バージョン ネットワーク・USB 機能のファームウェアバージョンが表示されます。	-

ネットワークアプリ設定メニュー

ネットワーク・USB 設定メニュータブのネットワークアプリ設定メニューの各項目を説明します。

ネットワークアプリ設定メニューは、Web Image Monitor でも設定、確認できます。ただし、次の設定はメニュー画面だけで利用できます。

- 「管理ツール」の「Crestron WebUI ユーザー認証」、「Crestron WebUI ユーザーパスワード」、「Crestron WebUI 管理者認証」、「Crestron WebUI 管理者パスワード」、「Control System IP アドレス」、「Control System IP ID」、「Control System ポート番号」
- 「サーバー」の「DLNA 認証モード」

Web Image Monitor では、「状態表示」の「ネットワーク・USB ファームウェアバージョン」はトップ画面で確認できます。

Web Image Monitor について詳しくは、P.164 「Web Image Monitor で本機を管理する」を参照してください。

管理ツール

Web Image Monitor

項目名	初期値
Web Image Monitor Web ブラウザーを使用した本機の状態確認や、設定の閲覧・編集を有効にするかしないかを設定します。Web Image Monitor のアクセス中に設定を変更したときは、Web Image Monitor にアクセスし直してください。Web Image Monitor については、P.164 「Web Image Monitor で本機を管理する」を参照してください。	有効

AMX Device Discovery

項目名	初期値
AMX Device Discovery AMX Device Discovery による本機の操作や監視を有効にするかしないかを設定します。この機能を使用するには、ネットワーク環境に AMX 社のコントローラーが必要です。AMX Device Discovery については、AMX 社のホームページを参照してください。	無効

Crestron RoomView

項目名	初期値
Crestron RoomView Crestron RoomView による本機の操作や監視を有効にするかしないかを設定します。Crestron RoomView については、P.167 「Crestron RoomView で本機を操作・監視する」を参照してください。	無効
Crestron WebUI ユーザー認証 Crestron WebUI へのアクセスをパスワードで制限するかしないかを設定します。	切
Crestron WebUI ユーザーパスワード Crestron WebUI ユーザー認証に使用するパスワードを入力します。半角英数 26 文字以内で入力してください。	(空欄)
Crestron WebUI 管理者認証 Crestron WebUI の Tools 画面へのアクセスをパスワードで制限するかしないかを設定します。	切
Crestron WebUI 管理者パスワード Crestron WebUI 管理者認証に使用するパスワードを入力します。半角英数 26 文字以内で入力してください。	(空欄)
Control System IP アドレス Crestron コントロールシステムの IP アドレスを入力します。	0.0.0.0
Control System IP ID Crestron コントロールシステムと接続するための IP ID を入力します。	3
Control System ポート番号 Crestron コントロールシステムとの通信に使用するポート番号を入力します。	41794

PJLink

項目名	初期値
PJLink 認証 PJLink 認証を設定するかどうかを選択します。	切
PJLink パスワード PJLink 認証に使用するパスワードを入力します。半角英数 32 文字以内で入力してください。	(空欄)

セキュリティ

項目名	初期値
管理者認証 管理者認証を設定するかどうかを選択します。設定を変更するときは、管理者パスワードの入力が必要です。 管理者認証を有効にしたときは、次の設定や操作をするときにパスワード入力が必要です。 <ul style="list-style-type: none"> • 「送信 WEP キー番号」、「ネットワークキー」、「EAP タイプ」、「クライアント証明書ユーザー名」、「MS-CHAP v2 ユーザー名」、「MS-CHAP v2 パスワード」、「Windows ドメイン名」、「サーバー証明書認証」、「中間認証局の許可」、「Crestron WebUI ユーザー認証」、「Crestron WebUI ユーザーパスワード」、「Crestron WebUI 管理者認証」、「Crestron WebUI 管理者パスワード」、「PJLink 認証」、「PJLink パスワード」の設定の変更 • 無線 LAN 簡単セットアップやネットワーク設定ウィザードを使用した設定 • クライアント証明書や CA 証明書のインポート、削除、一覧表示 • Web Image Monitor を使用した設定の変更 • 「セキュリティ設定の初期化」の実行 	切
管理者パスワード 管理者認証に使用するパスワードを入力します。半角英数 32 文字以内で入力してください。パスワードを変更するときは、現在のパスワードの入力が必要です。	(空欄)
アプリケーション認証 アプリケーション認証の有効/無効を設定します。	切
アプリケーションパスワード アプリケーション認証に使用するパスワードを入力します。半角英数 32 文字以内で入力してください。	(空欄)
セキュリティ設定の初期化 管理者認証で保護された以下の設定を初期化します。 「送信 WEP キー番号」、「ネットワークキー」、「EAP タイプ」、「クライアント証明書ユーザー名」、「MS-CHAP v2 ユーザー名」、「MS-CHAP v2 パスワード」、「Windows ドメイン名」、「サーバー証明書認証」、「中間認証局の許可」、「Crestron WebUI ユーザー認証」、「Crestron WebUI ユーザーパスワード」、「Crestron WebUI 管理者認証」、「Crestron WebUI 管理者パスワード」、「PJLink 認証」、「PJLink パスワード」の設定の変更	-

Miracast

Miracast

項目名	初期値
接続する端末の確認 プッシュボタン方式で接続したとき、本機で接続確認の操作をすることなく、スマートデバイス側の操作のみで投影できるようにするかどうかを設定します。	スキップしない

サーバー

投影リモート制御

項目名	初期値
投影リモート制御 投影リモート制御機能を有効にするかしないかを設定します。投影リモート制御機能では、ネットワーク経由でタブレット型コンピューターやスマートデバイスから映像を投影できます。本機能を利用した映像の投影方法は、P.81「DLNA 対応機器を使用して映像を投影する」を参照してください。	有効

7

静止画

項目名	初期値
表示効果 画像が切り替わるときの表示効果を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • なし • プッシュ 表示中の画像を次の画像が押し出します。 • ワイプ 表示中の画像が次の画像で塗り替えられます。 • フェード 表示中の画像がフェードアウトし、次の画像がフェードインします。 	なし
表示間隔(秒)(スライドショー On 時) スライドショーの切り替わり間隔を 5~999 秒の間で入力します。	5 秒

動画

項目名	初期値
リピート(スライドショー Off 時) 動画再生をリピートするかどうかを選択します。	切

項目名	初期値
DLNA 認証モード 本機を DLNA 認定機器として動作させるかどうかを設定します。本機は、DLNA1.5、対応メディアフォーマット静止画で認可を受けています。本機で投影できるファイルの種類は、P.81「DLNA 対応機器を使用して映像を投影する」を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> 有効 DLNA 認定機器として動作します。DLNA サーバーから配信される動画ファイルのうち、DLNA 対応動画ファイル以外がサーバー投影画面のファイル一覧に表示されます。 無効 DLNA 認定機器としてではなく、本機独自の動作をします。DLNA サーバーから配信される動画ファイルがすべてサーバー投影画面のファイル一覧に表示されます。 	無効

状態表示

PJLink

項目名	初期値
PJLink の対応クラス PJLink の対応クラスが表示されます。	-

ファームウェアバージョン

項目名	初期値
Network・USB 機能 FW バージョン ネットワーク・USB 機能のファームウェアバージョンが表示されます。	-

管理者認証

項目名	初期値
管理者パスワードの初期化 管理者パスワードを初期化します。	-
PJLink パスワードの初期化 PJLink パスワードを初期化します。	-

状態表示

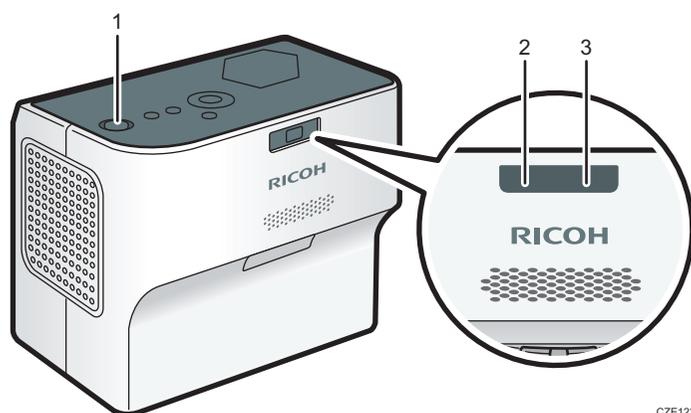
項目名
入力 選択されている入力信号が表示されます。
解像度 解像度が表示されます。 入力信号が「コンピューター」または「HDMI」(RGB 信号) のときに表示されます。
周波数 同期周波数が表示されます。 入力信号が「コンピューター」または「HDMI」(RGB 信号) のときに表示されます。
同期 同期信号極性が表示されます。 入力信号が「コンピューター」 のときに表示されます。
信号フォーマット Y/Pb/Pr 信号のフォーマットが表示されます。 入力信号が「Y/Pb/Pr」または「HDMI」(Y/Pb/Pr 信号) のときに表示されます。
ビデオモード ビデオ信号のカラー方式が表示されます。 入力信号が「ビデオ」 のときに表示されます。
ランプ時間 ランプの使用時間が表示されます。
ランプリセットカウント ランプの交換回数が表示されます。
トータル時間 本機の総使用時間が表示されます。
総 CO2 削減量 エコモードを設定したことで削減できた総 CO ₂ 量が表示されます。
エコモード時間比率 総使用時間のうち、エコモードを使用した時間の比率が表示されます。
現在時刻 初期設定 2 メニューの「現在時刻」 で設定した現在時刻が表示されます。
メイン FW バージョン メインボードのファームウェアバージョンが表示されます。
インタラクティブバージョン (RICOH PJ WX4152NI のみ) 本機にインタラクティブキットを接続しているとき、インタラクティブ機能のバージョンが表示されます。

8. 困ったときには

インジケータが点灯したときの対処方法や、基本的なトラブルについて説明します。

インジケータ表示一覧

本機は、機器に異常が生じると [電源] ボタン、インジケータの点灯とピープ音で知らせます。インジケータの状態を確認して対処してください。表の¹/₂は点滅を表します。



CZE123

1. [電源] ボタン
2. ランプインジケータ
3. 温度インジケータ

状態	原因	対処方法と参照先
電源が入らない。 ランプ 温度 	本機に異常が発生しています。	電源プラグを抜き、販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。
「ハードエラー」と表示され、使用中に電源が切れた。 ランプ 温度 点滅の間隔：0.2 秒 	本機に異常が発生しています。	電源プラグを抜き、しばらくしてから、もう一度電源を入れてください。 または、リモコンまたは操作部の [電源] ボタンを 2 秒以上長押ししてください。 それでも直らないときは、電源プラグを抜き、販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。

状態	原因	対処方法と参照先
ランプが点灯しない。 ランプ 温度 	<ul style="list-style-type: none"> • ランプが高温になって点灯しにくくなっています。 • ランプの交換時期です。 • 本機に異常が発生しています。 	電源プラグを抜き、しばらくしてから、もう一度電源を入れてください。 または、リモコンまたは操作部の [電源] ボタンを 2 秒以上長押ししてください。 ランプが切れたときは、新しいランプに交換してください。 ランプの交換方法は、P.156「ランプを交換する」を参照してください。
使用中にランプが消えた。 ランプ 温度  点滅の間隔：1 秒	<ul style="list-style-type: none"> • ランプの交換時期です。 • 本機に異常が発生しています。 	電源プラグを抜き、しばらくしてから、もう一度電源を入れてください。 または、リモコンまたは操作部の [電源] ボタンを 2 秒以上長押ししてください。 ランプが切れたときは、新しいランプに交換してください。 ランプの交換方法は、P.156「ランプを交換する」を参照してください。
ランプが点灯しない、または使用中にランプが消えた、またはランプが消灯しない。 ランプ 温度  点滅の間隔：0.2 秒	本機に異常が発生しています。	電源プラグを抜き、しばらくしてから、もう一度電源を入れてください。 または、リモコンまたは操作部の [電源] ボタンを 2 秒以上長押ししてください。 それでも直らないときは、電源プラグを抜き、販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。
使用中にランプが切れた、またはランプが点灯しない。 ランプ 温度  点滅の間隔：1 秒	ランプカバーが正しく取り付けられていません。	電源プラグを抜き、ランプカバーを取り付けなおしてください。ランプカバーの取り付け方法は、P.156「ランプを交換する」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
<p>「温度エラー」と表示され、使用中に電源が切れた。</p> <p>ランプ 温度</p>  <p>点滅の間隔：5 秒</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本機内部が高温になっています。 気温の高いところで使用しています。 	<p>吸気口、排気口をふさがないように設置してください。</p> <p>電源プラグを抜き、しばらくしてから、もう一度電源を入れてください。</p> <p>または、リモコンまたは操作部の「電源」ボタンを2秒以上長押ししてください。</p>
<p>「ファンエラー」と表示され、使用中に電源が切れた。</p> <p>ランプ 温度</p>  <p>点滅の間隔：5 秒間に 1～4 回点滅</p>	<p>本機内部の冷却ファンに異常が発生しています。</p>	<p>電源プラグを抜き、販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。</p>
<p>使用中に電源が切れた、または電源が入らない。</p> <p>ランプ 温度</p>  <p>点滅の間隔：0.2 秒</p>	<p>本機に異常が発生しています。</p>	<p>電源プラグを抜き、しばらくしてから、もう一度電源を入れてください。</p> <p>または、リモコンまたは操作部の「電源」ボタンを2秒以上長押ししてください。</p> <p>それでも直らないときは、電源プラグを抜き、販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。</p>
<p>使用中にランプが消えた。</p> <p>ランプ 温度</p>  <p>点滅の間隔：1 秒</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本機内部が高温になっています。 気温の高いところで使用しています。 	<p>吸気口、排気口をふさがないように設置してください。</p> <p>電源プラグを抜き、しばらくしてから、もう一度電源を入れてください。</p> <p>または、リモコンまたは操作部の「電源」ボタンを2秒以上長押ししてください。</p>
<p>使用中にランプが消えた。</p> <p>ランプ 温度</p>  <p>点滅の間隔：1 秒</p>	<ul style="list-style-type: none"> ランプの交換時期です。 	<p>電源プラグを抜き、しばらくしてから、もう一度電源を入れてください。</p> <p>または、リモコンまたは操作部の「電源」ボタンを2秒以上長押ししてください。</p> <p>ランプが切れたときは、新しいランプに交換してください。</p> <p>ランプの交換方法は、P.156「ランプを交換する」を参照してください。</p>

状態	原因	対処方法と参照先
<p>ランプが点灯しない。</p> <p>ランプ 温度</p>  <p>点滅の間隔：1 秒</p>	<p>本機に異常が発生しています。</p>	<p>電源プラグを抜き、しばらくしてから、もう一度電源を入れてください。</p> <p>または、リモコンまたは操作部の [電源] ボタンを 2 秒以上長押ししてください。</p> <p>それでも直らないときは、電源プラグを抜き、販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。</p>
<p>使用中にランプが消えた。</p> <p>ランプ 温度</p>  <p>点滅の間隔：1 秒</p>	<p>本機に異常が発生しています。</p>	<p>電源プラグを抜き、しばらくしてから、もう一度電源を入れてください。</p> <p>または、リモコンまたは操作部の [電源] ボタンを 2 秒以上長押ししてください。</p> <p>それでも直らないときは、電源プラグを抜き、販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。</p>

よくある質問

故障かな？と思ったときは、販売担当者またはサービス実施店に連絡する前に次のことを確認してください。

状態	確認する項目
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> • 電源コードのプラグやコネクターが正しく接続されているか確認してください。 • ランプカバーが正しく取り付けられているか確認してください。ランプカバーの取り付け方法は、P.156「ランプを交換する」 • 机上投影している場合は、必ず [電源] ボタンを押して電源を切ってください。[電源] ボタンを押さずに電源コードを抜いたり、[電源] ボタンを押した後のクーリング動作中に電源コードを抜いたり、停電などにより突然電源が切れたりすると、放熱のために最大で約 25 分間、電源が入らなくなります。本機が冷却されるまでしばらくお待ちください。
使用中に電源が切れる。	<ul style="list-style-type: none"> • 周囲の温度が高くないか確認してください。 • 吸気口や排気口がふさがれていないか確認してください。
映像が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> • 初期設定 1 メニューの「自動入力検索」が「切」のときは、入力信号の切り替えが正しいか確認してください。入力信号の切り替え方法は、P.119「初期設定 1 メニュー」を参照してください。 • AV ミュート機能がはたらいていないか確認してください。AV ミュート機能については、P.48「映像と音声を一時的に消去する」を参照してください。 • 映像調整メニューの「明るさ」の調整を確認してください。P.112「映像調整メニュー」を参照してください。 • パソコンや AV 機器が、本機と正しく接続されているか確認してください。P.32「本機と機器を接続する」を参照してください。 • パソコンの映像出力の切り替えが正しいか確認してください。パソコンの映像出力の切り替え方法は、P.40「ノート型パソコンの画面を投影するとき」を参照してください。 • 接続しているパソコンや AV 機器が正常に動作しているか確認してください。

状態	確認する項目
音声が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> • 初期設定 1 メニューの「自動入力検索」が「切」のときは、入力信号の切り替えが正しいか確認してください。入力信号の切り替え方法は、P.119「初期設定 1 メニュー」を参照してください。 • AV ミュート機能がはたっていないか確認してください。AV ミュート機能については、P.48「映像と音声を一時的に消去する」を参照してください。 • 音量の調整を確認してください。P.46「スピーカーの音量を調整する」を参照してください。 • パソコンや AV 機器が、本機と正しく接続されているか確認してください。P.32「本機と機器を接続する」を参照してください。 • 接続しているパソコンや AV 機器が正常に動作しているか確認してください。
映像が正常に映らない。	<ul style="list-style-type: none"> • 入力信号が本機に対応しているか確認してください。本機に対応している入力信号は、P.175「対応信号一覧」を参照してください。 • 映像調整メニューの「信号オートセット」を実行してください。P.112「映像調整メニュー」を参照してください。 • パソコンのグラフィックドライバーの設定を確認してください。詳しくは、パソコンの説明書を確認してください。 • ビデオテープなど、信号発生側の状態を確認してください。
映像がぼやける。 映像の一部のピントが合わない。	<ul style="list-style-type: none"> • レンズが汚れていないか確認してください。P.154「投影窓を清掃する」を参照してください。 • ピントの調整を確認してください。P.42「ピントを調整する」を参照してください。 • 投影距離が本機の対応範囲内か確認してください。本機に対応している投影距離は、P.31「投影距離と投影画面サイズの関係」を参照してください。 • 本機やスクリーンの設置角度を確認してください。P.42「投影角度を調整する」を参照してください。 • 映像調整メニューの「シャープネス」と「サンプリング位相」の調整を確認してください。P.112「映像調整メニュー」を参照してください。

状態	確認する項目
映像が暗い。	<ul style="list-style-type: none"> • 映像調整メニューの「明るさ」、「コントラスト」の調整を確認してください。P.112「映像調整メニュー」を参照してください。 • ランプの使用時間が寿命に近づいていないか確認してください。P.137「状態表示」を参照してください。 • 映像調整メニューの「RGB 入力レンジ」の設定を確認してください。P.112「映像調整メニュー」を参照してください。 • 表示設定メニューの「3D 投影」が「切」に設定されているか確認してください。P.115「表示・音設定メニュー」を参照してください。
色が薄い。 色あいが悪い。	<ul style="list-style-type: none"> • 映像調整メニューの「色の濃さ」、「赤レベル」、「緑レベル」、「青レベル」の調整を確認してください。P.112「映像調整メニュー」を参照してください。 • スクリーンが汚れていないか確認してください。 • 表示設定メニューの「壁色モード」の設定を確認してください。P.115「表示・音設定メニュー」を参照してください。 • ランプの使用時間が寿命に近づいていないか確認してください。P.137「状態表示」を参照してください。
本体操作部のボタンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> • 初期設定 2 メニューの「キーロック」が「入」に設定されていないか確認してください。P.120「初期設定 2 メニュー」を参照してください。
リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> • リモコンに設定している ID と初期設定 2 メニューの「リモコン ID」の設定が合っているか確認してください。詳しくは、P.26「リモコンで複数のプロジェクターを操作する」を参照してください。 • リモコンの電池が消耗していないか確認してください。 • リモコンの電池が正しく入っているか確認してください。P.25「リモコンに電池を入れる」を参照してください。 • リモコンの有効範囲をこえていないか確認してください。P.24「リモコンの有効範囲」を参照してください。 • リモコンと本機の間には障害物がないか確認してください。 • 強い光が本機のリモコン受光部に当たっていないか確認してください。
表示言語が外国語になっている。	<ul style="list-style-type: none"> • [メニュー] ボタンを押して、 タブの「Language / XXX」(XXX は現在の表示言語) で表示言語を選択してください。P.120「初期設定 2 メニュー」を参照してください。

状態	確認する項目
USB 機器の映像が映らない。	<ul style="list-style-type: none"> • USB 機器が正しく接続されているか確認してください。 • 接続している USB 機器が本機に対応しているか確認してください。本機に対応している USB 機器は、P.51 「USB ファイル投影の動作条件」を参照してください。 • USB 機器に JPEG ファイル、MPEG ファイルが保存されているか確認してください。 • 保存されているファイルの圧縮形式、ファイルサイズ、拡張子が本機に対応しているか確認してください。P.51 「USB ファイル投影の動作条件」を参照してください。
有線 LAN で接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> • ネットワーク設定メニューの「有線 LAN」の設定を確認してください。P.124 「ネットワーク設定メニュー」を参照してください。
無線 LAN で接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> • ネットワーク設定メニューの「無線 LAN」の設定を確認してください。P.124 「ネットワーク設定メニュー」を参照してください。 • パソコンと本機の間には障害物がないか確認してください。 • 使用しているパソコンの OS が、QuickProjection に対応しているか確認してください。P.78 「QuickProjection を使用するには」を参照してください。P.79 「QuickProjection で画像を投影する」を参照してください。 • 本機がスタンバイ中でないか確認してください。 • 本機とアクセスポイントを近づけてください。 • アクセスポイントや本機の近くから、電子レンジなど電波を発する機器を遠ざけてください。

インターネットの FAQ ページを閲覧する

リコーでは、お客様からいただくよくあるご質問（FAQ）をホームページで公開しています。

プロジェクターについての疑問や質問は、よくある質問をまとめた FAQ を確認してください。ホームページの URL は次のとおりです。

<http://www.ricoh.co.jp/support/qa/>

検索方法は次の 2 種類です。

自然文検索

空欄に質問文を入力し、検索ボタンを押してください。FAQ データベースから、該当する回答の候補を検索できます。

製品別検索

お客様からよく寄せられるご質問を、お使いの機器から選んで検索できます。

9. 保守・運用

本機の保守や運用上の注意を説明します。

使用上のお願い

⚠️ 注意



- 本機の光源には、点灯時に内部気圧が高くなる水銀ランプが使用されています。このランプには次の特性があるので、内容をよく理解して、取り扱いには十分注意してください。ランプの破裂によりけがをしたときや、ガラスの粉じんや水銀ガスが目に入ったり吸い込んだりしたと思われるときは、速やかに医師に相談してください。
 - 劣化や衝撃などによって、ランプが点灯しなくなったり、破裂して大きな音が出たりすることがあります。
 - 交換時期や破裂に至るまでの時間には、個々のランプと使用条件によってばらつきがあり、使用し始めてすぐに破裂することがあります。
 - 交換時期を超えて使用すると、破裂の可能性が高くなります。
 - ランプが破裂すると、ガラスの破片が本機の内部に飛び散ったり、吸気口、排気口などから外に出たりすることがあります。
 - ランプが破裂すると、ランプの内部に封入された微量の水銀ガスがガラスの粉じんと一緒に本機の吸気口、排気口などから放出されることがあります。

本機を使用するときには次の点に注意してください。

- ランプが割れたときの対処
 - 万一、ランプが破裂したときは、本機の電源プラグを抜き、本機のある部屋から退室し室内を十分に換気してください。
 - ランプが破裂したときに、ガラスの粉じんや水銀ガスが目に入ったり、吸い込んだりしたと思われるときは、速やかに医師に相談してください。
 - 割れたガラス部品でけがをしないように注意しつつ本機の周囲を念入りに清掃してください。
 - 本機近くに置かれていた食品は捨ててください。
 - 販売店にランプの交換と本機の内部点検を依頼してください。
- 電池から液がもれたときの対処
 - もれた液が肌に付着したときは、すぐに水で洗い流し、医師に相談してください。
 - もれた液が手につかないように注意してティッシュペーパーなどで拭き取ってください。

- 液を拭き取ったティッシュペーパーなどは、水を含ませてから燃えるゴミとして廃棄してください。
- 本機を手で持ち運ぶときは、本機を傾けず両手で持ってください。片手で持つと、カバーが外れて本機が落下することがあります。
- 振動や衝撃が加わるような状況で本機を移動するときは、こん包箱と付属のキャリングバッグをあわせて使用してください。キャリングバッグに入れただけの状態で輸送すると、振動や衝撃によって本機が故障することがあります。また、傷んだこん包箱で輸送すると故障の原因となりますので、振動や衝撃に耐える強度のこん包箱を使用してください。
- 殺虫剤などの揮発性物質を本機にかけないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変色や塗装がはがれるなどの原因となります。
- 本機は、長期間の連続運転での使用は想定していません。また、こん包箱から出さずに使用しないでください。このような条件で使用して故障したときは、保証期間内であっても修理は有料となります。
- 暖房器具の近くなど、温度の高い場所に置いて使用しないでください。故障の原因となります。
- 油煙やたばこの煙にさらされる場所は避けてください。光学部品に汚れが付着して、故障や、映像が暗くなる原因となります。
- 本機をテレビやラジオの近くで使用すると、映像や音声に悪い影響を与えることがあります。
- 潮風、腐食性ガスをさけてください。また、化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。故障の原因となります。
- 低温の場所から高温の場所に移動したときは、結露によって本機のレンズや部品に水滴が付くことがあります。そのまま使用すると故障の原因となるため、水滴が自然に消えるまで待ってください。
- 高地では空気が希薄なため、本機の冷却効率が低下します。「高地モード」の設定を「入」にして使用してください。
- 本機を極端に傾けた状態（±20度以上）で使用しないでください。故障の原因となります。
- エアフィルターおよび底面吸気口は定期的に清掃してください。目詰まりすると、本機内部の温度が上がり、光学部品の故障の原因となります。
- エアフィルターが傷んだときは、新しいものと交換してください。傷んだまま使用すると、ほこりやごみが本機の内部に入り、動作停止や故障の原因となります。

保守契約

保守契約とは、無償保証期間後のサービスシステムです。一定の費用で本機を良好な状態に保つことができます。

保守契約には次のようなメリットがあります。

- 計画的に経費の運用ができます。
- 故障したときは、迅速で的確なサービスが受けられます。

保守契約を希望するときは、販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。

本機を清掃する

⚠ 警告



- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を分解・改造しないでください。火災や感電の原因になります。



- 天吊り・壁掛け設置しているときは、本機を清掃したり、部品の交換をしたりしないでください。落下によるけがの原因になります。
- 天吊り・壁掛け設置しているときは、本機のランプカバーを開けないでください。ランプカバーが落下したり、また万一、ランプが破裂しているとガラス破片が落下してけがの原因になります。
- 天吊り・壁掛け設置しているときは、本機の清掃や部品の交換を販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。

⚠ 注意



- お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

エアフィルターを清掃する

9

★ 重要

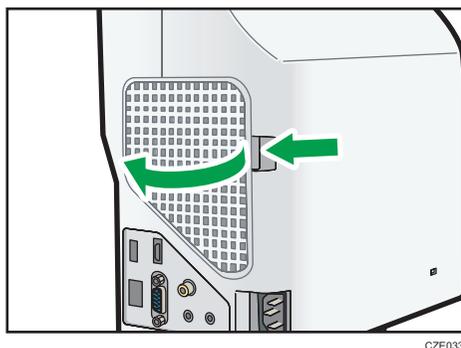
- エアフィルターと底面吸気口の汚れにより十分な吸気が行われず、本体内部が高温になると、使用中にランプが消えるエラーが発生する場合があります。「温度エラー」が発生したときにも清掃してください。
- エアフィルターが傷んだときは、新しいものと交換してください。傷んだまま使用すると、ほこりやごみが本機の内部に入り、動作停止や故障の原因となります。詳しくは、販売担当者またはサービス実施店に問い合わせてください。

エアフィルターは、本機内部へのほこりやごみの侵入を防ぐ部品です。本機を使用するときは、エアフィルターを取り付けてください。

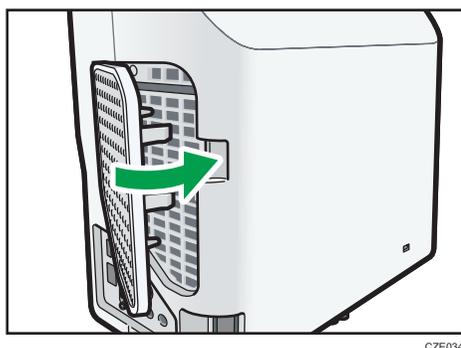
「エアフィルターの汚れを確認してください。」または「エアフィルターを清掃してください。」とメッセージが表示されたときは、エアフィルターの汚れを確認し、次の手順で清掃してください。

1. コンセントから電源プラグを抜きます。

2. エアフィルター右側のレバーを押して、エアフィルターを開きます。



3. エアフィルターを取り外します。
4. 掃除機でエアフィルターのほこりやごみを清掃します。
5. エアフィルターを本機にセットします。

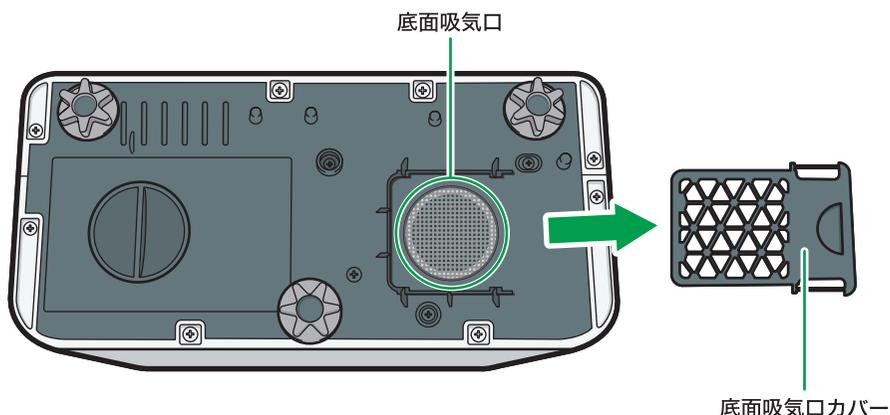


エアフィルターの左側を本機に差し込み、右側のレバーを押しながらセットします。エアフィルターが正しく取り付けられているか確認してください。正しく取り付けられていないと汚れやほこりが内部に入り、動作停止や故障の原因になります。

底面吸気口を清掃する

1. 底面が見えるように、平らな面に本機を置きます。

2. 底面吸気口カバーをスライドさせて引き抜き、掃除機で底面吸気口のほこりやごみを清掃します。



DHY851

3. 底面吸気口カバーをスライドさせて取り付けます。

底面吸気口カバーが正しく取り付けられているか確認してください。

↓ 補足

- メッセージは以下のタイミングで一度だけ表示されます。
 - 500 時間ごと
 - 使用中にランプが消えるエラーが発生してから再起動したあと
- メッセージは電源を入れたあとに約 30 秒間表示されます。何かの操作をするとメッセージは消えます。
- 設置環境によっては早期にエアフィルターの目詰まりが発生します。メッセージが表示されなくても、エアフィルターにほこりがたまっているときは清掃してください。エアフィルターにほこりがたまると、吸気が悪くなって本機内部の温度が上昇し、動作停止や故障の原因となります。
- エアフィルターを掃除機で清掃してもきれいにならないときは、水洗いをしてください。水洗い後は、完全に乾いてから本機にセットしてください。

投影窓を清掃する

投影窓を清掃するときは、次の点に注意してください。

- 市販のブローヤーやメガネふき用クロス、クリーニングペーパー、レンズクリーナーなどを使用してください。
- 投影窓の表面は傷つきやすいため、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

本機を清掃する

本機を清掃するときは、次の点に注意してください。

- 本機の汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。水にぬらした布で拭くと内部に水がしみこんで、感電や故障の原因となることがあります。
- ベンジン、シンナーは使用しないでください。変形、変色、塗装がはがれるなどの原因となります。また、化学ぞうきんも使用できません。

ランプを交換する

警告



- ランプを交換するときは、電源を切ってから 1 時間以上たって、本機が冷めてから交換してください。冷めないうちの交換は、内部および光源ランプユニットは高温となっている部分があるため、やけどやけがの原因になります。
- ランプユニットを交換する前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを抜かずに交換すると、感電や破裂の原因になります。
- 使用済みのランプは、破損しないように取り扱いに注意してください。破損するとけがの原因になります。



- 天吊り・壁掛け設置しているときは、本機を清掃したり、部品の交換をしたりしないでください。落下によるけがの原因になります。
- 天吊り・壁掛け設置しているときは、本機のランプカバーを開けないでください。ランプカバーが落下したり、また万一、ランプが破裂しているとガラス破片が落下してけがの原因になります。
- 天吊り・壁掛け設置しているときは、本機の清掃や部品の交換を販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。

注意



- ランプ交換には必ず新品の専用ランプを使用してください。専用ランプ以外を使用すると破損してけがの原因になります。

⚠️ 注意



- 本機の光源には、点灯時に内部気圧が高くなる水銀ランプが使用されています。このランプには次の特性があるので、内容をよく理解して、取り扱いには十分注意してください。ランプの破裂によりけがをしたときや、ガラスの粉じんや水銀ガスが目に入ったり吸い込んだりしたと思われるときは、速やかに医師に相談してください。
 - 劣化や衝撃などによって、ランプが点灯しなくなったり、破裂して大きな音が出たりすることがあります。
 - 交換時期や破裂に至るまでの時間には、個々のランプと使用条件によってばらつきがあり、使用し始めてすぐに破裂することがあります。
 - 交換時期を超えて使用すると、破裂の可能性が高くなります。
 - ランプが破裂すると、ガラスの破片が本機の内部に飛び散ったり、吸気口、排気口などから外に出たりすることがあります。
 - ランプが破裂すると、ランプの内部に封入された微量の水銀ガスがガラスの粉じんと一緒に本機の吸気口、排気口などから放出されることがあります。

★ 重要

- ランプはガラス製品です。ガラス面を素手でさわったり、強い衝撃をあたえたり、傷つけたりしないでください。ランプが割れたときの対処方法は、P.149「使用上のお願い」を参照してください。
- 本機のランプには環境に有害な微量の無機水銀が使われています。使用済みのランプは、破損させないように取り扱いに注意し、地方自治体の条例または規則にしたがって処理してください。

ランプの交換時期になると、電源を入れたときに「ランプが寿命です。交換してください。」とメッセージが表示されます。メッセージに従いランプを交換してください。

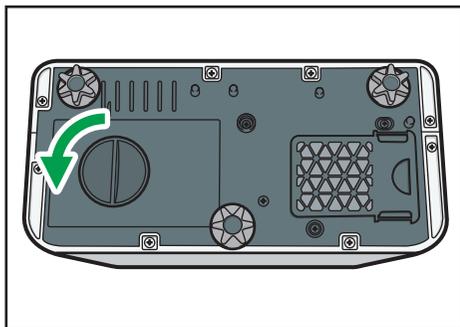
省エネ設定メニューの「ランプパワー」が「標準」のときは3500時間、「エコ」のときは5000時間がランプ交換の目安です。ただし、ランプの特性や使用条件によって、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなったりすることがあります。交換用ランプをあらかじめ準備することをお勧めします。

ランプが点灯した直後に電源を切る、または電源が切れた直後に電源を入れる操作を繰り返さないでください。頻繁に電源入/切を繰り返すと、ランプが点灯しなくなったりすることがあります。

また、ランプを長時間使用すると映像が暗くなったり、ランプが切れて点灯しなくなったりすることがあります。このときも新しいランプと交換してください。

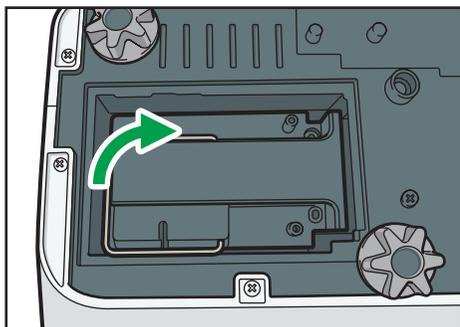
1. 底面が見えるように、平らな面に本機を置きます。

2. ノブを反時計回りに回転させ、ふたを取りはずします。



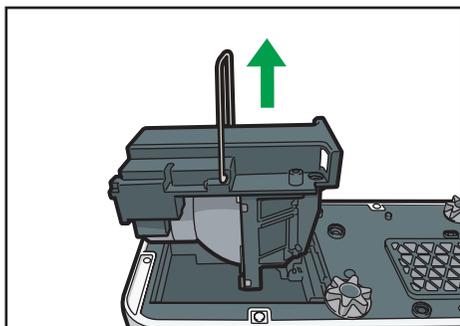
CZE150

3. 金属製の取っ手を起こします。



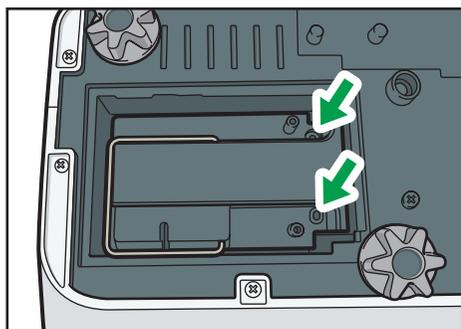
CZE151

4. 取っ手を持ち、ランプユニットを垂直に引き上げます。



CZE152

5. 新しいランプユニットを本機に挿入します。



CZE153

本体内部の突起がランプユニットの穴にしっかりと差し込まれているか確認してください。

6. ふたを装着します。

ランプカバーは正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないと電源が入らなかったり、ランプが点灯しないなど誤動作の原因となります。

7. ランプ時間をリセットします。

リセットのしかたは、ランプの説明書を参照してください。

↓ 補足

- 「状態表示」の「ランプ時間」でランプの使用時間が確認できます。

プロジェクター管理ユーティリティーで本機を管理する

プロジェクター管理ユーティリティーは PJLink クラス 1 の規格に適合し、クラス 1 のすべてのコマンドに対応しています。

1 台のパソコンで、ネットワークに接続しているプロジェクターを 100 台まで管理できません。

プロジェクター管理ユーティリティーの動作環境は次のとおりです。

- 対応 OS
 - Windows Vista Ultimate / Business / Home Premium / Home Basic SP2 以降 (32bit / 64bit 版)
 - Windows 7 Home Premium / Professional / Ultimate / Enterprise SP1 (32bit / 64bit 版)
 - Windows 8 / Pro / Enterprise (32bit / 64bit 版)
 - Windows 8.1 / Pro / Enterprise (32bit / 64bit 版)
 - Windows 10 Home / Pro / Enterprise / Education (32bit / 64bit 版)
 - Windows Server 2008 Standard SP2 以降 (32bit / 64bit 版)
 - Windows Server 2008 R2 Standard SP1 以降 (64bit 版)

↓ 補足

- 本ソフトウェアは、当社のプロジェクターを管理するためのソフトウェアです。
- プロジェクター管理ユーティリティーの使用方法は、プロジェクター管理ユーティリティーのヘルプを参照してください。

プロジェクター管理ユーティリティーをインストールする

★ 重要

- プロジェクター管理ユーティリティーをインストールまたはアンインストールするときは、管理者権限でログインしてください。

プロジェクター管理ユーティリティーは付属の CD-ROM に収録されています。

1. すべてのアプリケーションを閉じます。
2. CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
選択画面が表示されます。
3. 言語と機種名を選択し、[Select] をクリックします。
4. [プロジェクター管理ユーティリティー] をクリックします。

5. 画面の指示に従って、インストールを実行します。

6. インストールが完了したら、[完了] をクリックします。

デスクトップにショートカットアイコンが作成されます。

↓ 補足

- プロジェクター管理ユーティリティをアンインストールするときは、[コントロールパネル]にあるプログラム削除機能を使用して、「Ricoh Projector Management Utility」を削除してください。

本機の設定をする

プロジェクター管理ユーティリティで本機を管理するには、次の項目を設定してください。

- ネットワーク設定メニューで本機をネットワーク接続する
- ネットワーク設定メニューの「プロジェクター名」
- ネットワークアプリ設定メニューの「PJLink」の各項目

詳しくは、P.124「ネットワーク設定メニュー」、P.132「ネットワークアプリ設定メニュー」を参照してください。

↓ 補足

- 工場出荷時は、「PJLink パスワード」は設定されていません。早めに設定することをお勧めします。また、パスワードを忘れたときは、再度設定してください。新しく設定したパスワードが有効になります。

プロジェクター管理ユーティリティを起動する

プロジェクター管理ユーティリティでプロジェクターを管理するには、プロジェクターの登録が必要です。登録方法は、プロジェクター管理ユーティリティのヘルプを参照してください。

プロジェクター管理ユーティリティの起動時に、設定ファイルからプロジェクターの登録情報を取得します。

★ 重要

- プロジェクター管理ユーティリティを利用するときは、管理者権限でログオンしてください。

1. デスクトップの「プロジェクター管理ユーティリティ」アイコンをダブルクリックします。



認識したプロジェクターの情報が表示されます。

取得できる情報は次のとおりです。

- プロジェクターの状態（電源、入力信号、ミュート、ランプ時間、エラー）
- プロジェクターに関する情報（名称、メーカー、IP アドレス）

プロジェクター管理ユーティリティから操作できる機能は、電源のオン/オフ、入力信号の切り替え、ミュートのオン/オフです。

↓ 補足

- 「待機時 NW 設定」の設定によっては、スタンバイ状態のプロジェクターが応答しないことがあります。[電源] ボタンを押すか、「待機時 NW 設定」の設定を「有線 LAN」または「有線/無線 LAN」に設定し、有線 LAN または無線 LAN 経由で本機が起動できるようにしてください。
- 通信エラーでプロジェクターが認識できないときは、「？」が表示されます。パスワードが正しくないなどの不具合があるときは「×」が表示されます。
- 「ミュート」でプロジェクターが対応していないミュート方法を指定しても、ミュートのオン/オフは切り替わりません。本機は「映像&音声」のミュートに対応しています。「映像」、「音声」のミュートには対応していません。
- 「入力切替」でプロジェクターが対応していない入力信号を指定しても、入力信号は切り替わりません。本機の入力信号と PJLink 入力名の対応は次のとおりです。

本機の入力信号	PJLink 入力名
コンピューター	RGB1
Y/Pb/Pr	RGB2

本機の入力信号	PJLink 入力名
HDMI	DIGITAL1
ビデオ	VIDEO1
ネットワーク PC	NETWORK1
サーバー	NETWORK2
Miracast	NETWORK3
USB メモリー	STORAGE1

Web Image Monitor で本機を管理する

Web Image Monitor を使用すると、Web ブラウザーで本機の状態を確認したり、本機の設定を変更できます。

Web Image Monitor を使用するには、次の設定をしてください。

- ネットワーク設定メニューで本機をネットワーク接続する
 - ネットワークアプリ設定メニューの「Web Image Monitor」で「有効」を選択する
- Web Image Monitor のアクセス中に設定を変更したときは、Web Image Monitor にアクセスし直してください。

詳しくは、P.124 「ネットワーク設定メニュー」、P.132 「ネットワークアプリ設定メニュー」を参照してください。

Web Image Monitor の推奨ブラウザは次のとおりです。

- Windows 環境：
 - Internet Explorer 8.0 以降
 - Microsoft Edge
- Macintosh 環境：
 - Safari 8.0 以降

↓ 補足

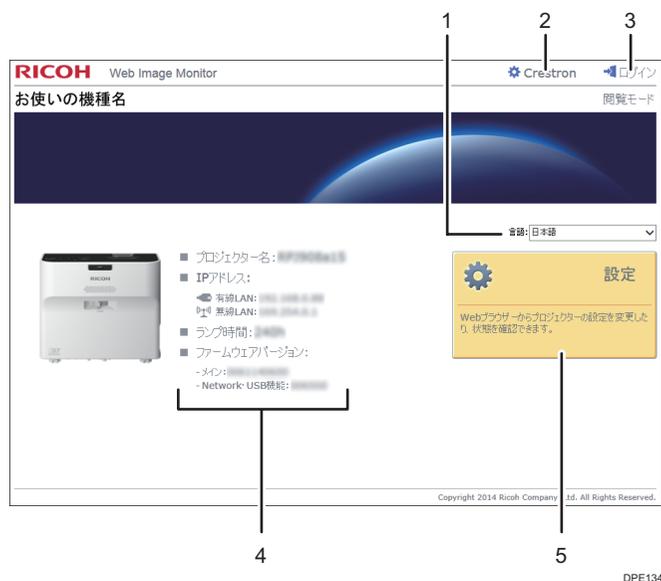
- 使用するブラウザのバージョンが推奨ブラウザより低いときや、推奨していないブラウザを使用しているときは、表示や操作に不具合が生じることがあります。
- Web Image Monitor を使用するには、使用するブラウザの設定で「JavaScript」と「Cookie の使用許可」を有効にする必要があります。
- Internet Explorer で Web Image Monitor を使用するには、「ネイティブ XMLHTTP サポート」を有効にする必要があります。
- Web ブラウザーに表示される URL をブックマーク登録すると、Web Image Monitor 画面をすぐに呼び出すことができます。
- 「待機時 NW 設定」の設定によっては、スタンバイ状態の本機が応答しないことがあります。[電源] ボタンを押すか、「待機時 NW 設定」を「有線 LAN」または「有線/無線 LAN」に設定し、有線 LAN または無線 LAN 経由で本機が起動できるようにしてください。

Web Image Monitor を表示する

1. Web ブラウザーを起動します。

2. Web ブラウザーの URL バーに「http:// (本機の IP アドレス) /」と入力します。

Web Image Monitor のトップ画面が表示されます。



1. 言語

Web Image Monitor の表示言語を選択します。次の言語から選択できます。

日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、オランダ語、中国語 (簡体字)

2. Crestron

Crestron WebUI を表示します。Crestron WebUI については、P.167 「Crestron RoomView で本機を操作・監視する」を参照してください。

ネットワークアプリ設定メニューの「Crestron RoomView」が「有効」のときに表示されます。

3. ログイン/ログアウト

編集モードにログインするときは、[ログイン] をクリックして管理者パスワードを入力します。編集モードからログアウトするときは、[ログアウト] をクリックします。

ネットワークアプリ設定メニューの「管理者認証」が「入」のときに表示されます。

4. ステータスエリア

本機のプロジェクター名、IP アドレス、ランプ時間、ファームウェアバージョンを確認できます。

5. 設定

設定画面を表示します。設定画面では、USB 設定メニュー、ネットワーク設定メニュー、ネットワークアプリ設定メニューの各種項目を閲覧・編集できます。設定項目については、P.122 「USB 設定メニュー」、P.124 「ネットワーク設定メニュー」、P.132 「ネットワークアプリ設定メニュー」を参照してください。

閲覧モードと編集モード

ネットワークアプリ設定メニューの「管理者認証」を「入」に設定すると、閲覧モード／編集モードの2つのモードで Web Image Monitor を使用できます。

閲覧モード

ログインしないで使用します。閲覧モードでは、本機の状態や設定の確認ができます。ただし、設定の変更はできません。

編集モード

管理者パスワードを入力すると編集モードにログインできます。編集モードでは、本機の状態の確認や、設定の変更ができます。

↓ 補足

- ネットワークアプリ設定メニューの「管理者認証」が「切」のときは、パスワードを入力しないで編集モードで利用できます。

編集モードにログインする

1. Web Image Monitor のトップページで、[ログイン] をクリックします。
2. 管理者パスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。

ネットワークアプリ設定メニューの「管理者パスワード」で設定したパスワードを入力します。

↓ 補足

- ブラウザーの設定により、パスワードがブラウザーに保存されることがあります。パスワードの保存を防止するには、ブラウザーでパスワードを保存しないように設定してください。

Crestron RoomView で本機を操作・監視する

本機は Crestron RoomView に対応しています。Crestron RoomView は、ネットワークに接続された複数の機器を操作・監視するための、Crestron 社が開発したシステムです。詳しくは、Crestron 社のホームページを参照してください。

Crestron RoomView でできること

- Web ブラウザーを使用して本機を操作・監視する

Crestron WebUI を使用して、パソコンから本機を操作・監視できます。詳しくは、P.167 「Crestron WebUI を表示する」、P.168 「Crestron WebUI を使用する」を参照してください。

- アプリケーションを使用して本機を操作・監視する

Crestron 社が提供するアプリケーションの、Crestron RoomView Express/Crestron RoomView Server Edition を使用して、本機の監視、ヘルプデスクとの通信、緊急時のメッセージ通信ができます。詳しくは、Crestron 社のホームページを参照してください。

この機能を使用するには、次の設定をしてください。

- ネットワーク設定メニューで本機をネットワーク接続する
- ネットワークアプリ設定メニューの「Crestron RoomView」で「有効」を選択する
- 必要に応じて、「Crestron RoomView」のその他の項目を設定する

詳しくは、P.124 「ネットワーク設定メニュー」、P.132 「ネットワークアプリ設定メニュー」を参照してください。

↓ 補足

- 「待機時 NW 設定」の設定によっては、スタンバイ状態の本機が応答しないことがあります。[電源] ボタンを押すか、「待機時 NW 設定」を「有線 LAN」または「有線/無線 LAN」に設定し、有線 LAN または無線 LAN 経由で本機が起動できるようにしてください。

Crestron WebUI を表示する

★ 重要

- Crestron WebUI を使用するには、パソコンに Adobe Flash® Player のインストールが必要です。

1. Web ブラウザーを起動します。

2. Web ブラウザーの URL バーに「http:// (本機の IP アドレス) /」 と入力します。

Web Image Monitor のトップ画面が表示されます。

3. Web Image Monitor 画面右上の [Crestron] をクリックします。

Crestron WebUI のトップ画面が表示されます。



↓ 補足

- ネットワークアプリ設定メニューの「Crestron WebUI ユーザー認証」を有効にしているときは、Crestron WebUI へのアクセスにパスワードが必要です。

Crestron WebUI を使用する

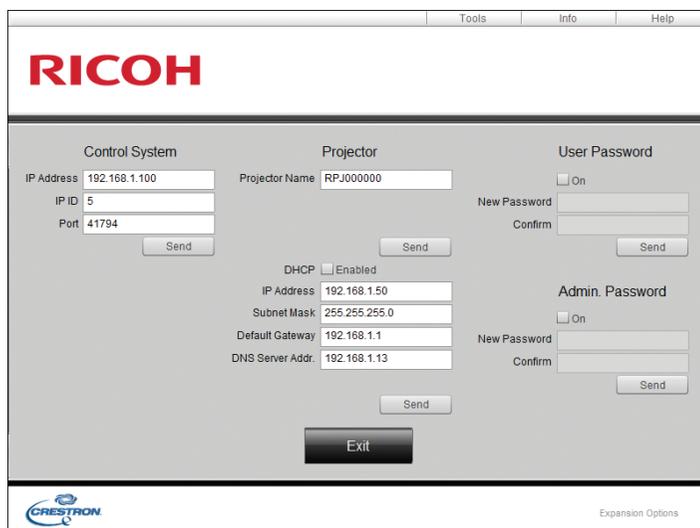
トップ画面

Crestron WebUI にアクセスしたとき、または、Tools 画面や Info 画面で [Exit] をクリックしたときに表示されます。トップ画面では、入力信号の切り替え、映像や音量の調整、本機の電源の切断ができます。



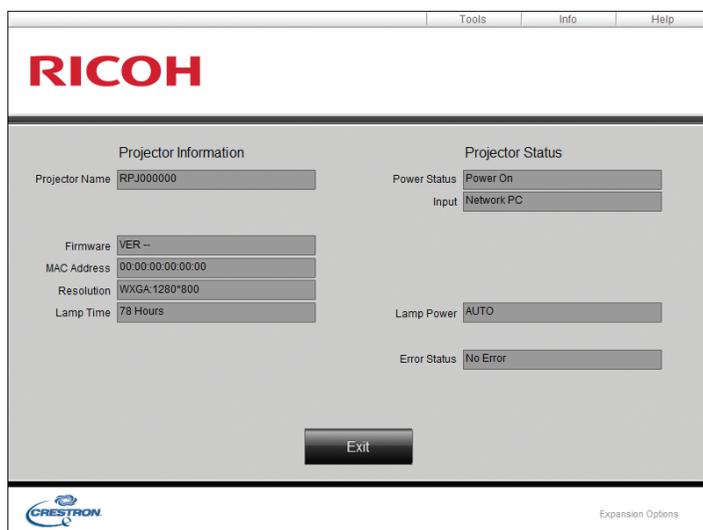
Tools 画面

[Tools] タブをクリックすると表示されます。Tools 画面では、本機のネットワーク設定や、Crestron RoomView の設定ができます。



Info 画面

[Info] タブをクリックすると表示されます。Info 画面では、ファームウェアバージョンやランプの状態など、本機の情報を確認できます。



Help Desk ウィンドウ

[Help] タブをクリックすると表示されます。Help Desk ウィンドウでは、Crestron RoomView Express を使用している管理者とメッセージの送受信ができます。



↓ 補足

- ネットワークアプリ設定メニューの「Crestron WebUI 管理者認証」を有効にしているときは、Tools 画面へのアクセスにパスワードが必要です。

消耗品一覧

消耗品の詳細は、販売担当者またはサービス実施店にお問い合わせください。

商品名	商品コード	販売単位
RICOH PJ 交換用ランプ タイプ 11	512628	1 個
RICOH PJ 交換用フィルター タイプ 4	512629	1 個

10. 付録

本機の仕様や対応信号を説明します。また、お問い合わせ先も説明します。

仕様

項目	仕様
消費電力	標準モード：313W エコモード：208W
待機時消費電力	通常待機モード：0.3W ネットワーク待機モード(有線 LAN のみ)：1.4W ネットワーク待機モード(有線/無線 LAN)：1.8W
質量	約 3.0kg
外形寸法 (突起部含まず)	257×144×221mm
使用環境条件	温度：5～35°C、湿度：30～70%
使用電源	100V、3.7A、50/60Hz
表示素子	<ul style="list-style-type: none">表示方式 単板式 DLP®チップパネルサイズ 0.65 型画素数 1024000 画素 (水平 1280 × 垂直 800)
投影系	レンズ/ミラー式超短焦点
ランプ	高圧水銀ランプ (標準：250 W、エコモード：150 W)
投影画面サイズ	48～80 型
投影距離	12～25cm
スピーカー	2W (モノラル)

項目	仕様
接続端子	<ul style="list-style-type: none"> • Computer In 端子 Mini D-SUB15 × 1 • HDMI 端子 (HDCP 対応) * HDMI × 1 • VIDEO 端子 RCA_1pin × 1 (映像) • Audio In 端子 Mini Jack × 1 (音声入力) • Audio Out 端子 Mini Jack × 1 (音声出力) • コントロール端子 USB-TYPE-minB × 1 • USB 端子 TYPE-A×1 USB2.0 High-Speed 対応 出力電圧：DC 5 V 供給電流：500 mA • LAN 端子 RJ-45 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
無線 LAN	IEEE 802.11a/b/g/n 準拠

* HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) は、DVI や HDMI 端子を經由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。HDCP 規格は、Digital Content Protection, LLC によって、策定・管理されています。本機の HDMI 端子は、HDCP に対応しているため HDCP 技術で保護されたデジタル映像を投写できます。ただし、HDCP の規格変更などがされたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなることがあります。

対応信号一覧

パソコンや AV 機器の出力信号の設定は、本機が対応している入力信号に合うように設定してください。

映像にちらつきやにじみが発生したり、映像が表示されないときは、入力信号の解像度や周波数が本機に対応しているか確認してください。

↓ 補足

- 解像度が 1280×800 をこえる信号では映像が圧縮表示されるため、情報の一部が欠けたり、画質が劣化したりすることがあります。

ビデオ入力

対応モード

NTSC、PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N、PAL60、NTSC4.43

Y/Pb/Pr 入力

対応モード

480i、480p、576i、576p、720 / 50p、720 / 60p、1080 / 50i、1080 / 60i、1080 / 50p、1080 / 60p

コンピューター入力

モード	解像度		周波数		
	水平 (pixel)	垂直 (pixel)	垂直 (Hz)	水平 (kHz)	クロック (MHz)
640 × 480	640	480	59.93	31.46	25.17
			72.81	37.86	31.50
			75.00	37.50	31.50
			85.01	43.27	36.00
720 × 400	720	400	85.04	37.93	35.50
800 × 600	800	600	56.25	35.16	36.00
			60.32	37.88	40.00
			72.19	48.08	50.00
			75.00	46.88	49.50
848 × 480	848	480	85.06	53.67	56.25
1024 × 768	1024	768	60.00	31.02	33.75
			60.00	48.36	65.00
			70.07	56.48	75.00
			75.03	60.02	78.75
1152 × 864	1152	864	85.00	68.68	94.50
1280 × 720	1280	720	75.00	67.50	108.00
1280 × 768	1280	768	60.00	45.00	74.25
			59.99	47.40	68.25
			59.87	47.78	79.50
			74.89	60.29	102.25
1280 × 800	1280	800	84.84	68.63	117.50
			59.91	49.31	71.00
			59.81	49.70	83.50
			74.93	62.79	106.50
1280 × 960	1280	960	84.88	71.55	122.50
			60.00	60.00	108.00
			85.00	85.94	148.50
			60.02	63.98	108.00
1280 × 1024	1280	1024	75.02	79.98	135.00
			85.02	91.15	157.50
			60.02	47.71	85.50
1360 × 768	1360	768	60.00	48.00	72.00
1366 × 768	1366	768	59.79	47.71	85.50
			59.95	64.74	101.00
			59.98	65.32	121.75
1400 × 1050	1400	1050	74.87	82.28	156.00
			59.90	55.47	88.75
			59.89	55.93	106.50
			74.98	70.64	136.75
1440 × 900	1440	900	84.84	80.43	157.00
			60.00	60.00	108.00
1600 × 900	1600	900	60.00	60.00	108.00
1600 × 1200	1600	1200	60.00	75.00	162.00
1680 × 1050	1680	1050	59.88	64.67	119.00
			59.95	65.29	146.25

HDMI 入力

モード	解像度		周波数		
	水平 (pixel)	垂直 (pixel)	垂直 (Hz)	水平 (kHz)	クロック (MHz)
480i	720	242.5	59.940	15.734	13.500
576i	720	288	50.000	15.625	13.500
480p	720	483	59.940	31.469	27.000
576p	720	576	50.000	31.250	27.000
720 / 50p	1280	720	50.000	37.500	74.250
720 / 60p	1280	720	60.000	45.000	74.250
1080 / 50i	1920	540	50.000	28.125	74.250
1080 / 60i	1920	540	60.000	33.750	74.250
1080 / 24p	1920	1080	24.000	27.000	74.250
1080 / 30p	1920	1080	30.000	33.750	74.250
1080 / 50p	1920	1080	50.000	56.250	148.500
1080 / 60p	1920	1080	60.000	67.500	148.500
640 × 480	640	480	59.93	31.46	25.17
			72.81	37.86	31.50
			75.00	37.50	31.50
			85.01	43.27	36.00
800 × 600	800	600	56.25	35.16	36.00
			60.32	37.88	40.00
			72.19	48.08	50.00
			75.00	46.88	49.50
848 × 480	848	480	85.06	53.67	56.25
			60.00	31.02	33.75
1024 × 768	1024	768	60.00	48.36	65.00
			70.07	56.48	75.00
			75.03	60.02	78.75
			85.00	68.68	94.50
1152 × 864	1152	864	75.00	67.50	108.00
1280 × 720	1280	720	60.00	45.00	74.25
1280 × 768	1280	768	59.99	47.40	68.25
			59.87	47.78	79.50
			74.89	60.29	102.25
			84.84	68.63	117.50
1280 × 800	1280	800	59.91	49.31	71.00
			59.81	49.70	83.50
			74.93	62.79	106.50
			84.88	71.55	122.50
1280 × 960	1280	960	60.00	60.00	108.00
			85.00	85.94	148.50
1280 × 1024	1280	1024	60.02	63.98	108.00
			75.02	79.98	135.00
			85.02	91.15	157.50
1360 × 768	1360	768	60.02	47.71	85.50
1366 × 768	1366	768	60.00	48.00	72.00
			59.79	47.71	85.50
			59.95	64.74	101.00
1400 × 1050	1400	1050	59.98	65.32	121.75
			74.87	82.28	156.00
			59.90	55.47	88.75
1440 × 900	1440	900	59.89	55.93	106.50
			74.98	70.64	136.75
			84.84	80.43	157.00
			60.00	60.00	108.00
1600 × 900	1600	900	60.00	60.00	108.00
1680 × 1050	1680	1050	59.88	64.67	119.00
			59.95	65.29	146.25

3D フォーマット

○：対応

×：非対応

コンピューター入力

モード	周波数		3D フォーマット		
	垂直 (Hz)	クロック (MHz)	フレーム シーケンシャル	サイドバイサイド	トップアンドボトム
640 × 480	59.93	25.17	○	○	○
800 × 600	60.32	40.00	○	○	○
1024 × 768	60.00	65.00	○	○	○
1280 × 960	60.00	108.00	○	○	○
1280 × 1024	60.02	108.00	○	○	○
1360 × 768	60.02	85.50	○	○	○
1366 × 768	60.00	72.00	○	○	○
	59.79	85.50	○	○	○
1440 × 900	59.90	88.75	○	○	○
	59.89	106.50	○	○	○
1600 × 900	60.00	108.00	○	○	○
1600 × 1200	60.00	162.00	○	○	○
1680 × 1050	59.88	119.00	○	○	○
	59.95	146.25	○	○	○

Y/Pb/Pr 入力

モード	3D フォーマット		
	フレーム シーケンシャル	サイドバイサイド	トップアンドボトム
480i	○	○	○
576i	○	○	○
480p	×	○	○
576p	×	○	○
720 / 60p	×	○	○
1080 / 60i	×	○	○
1080 / 60p	×	○	○

ビデオ入力

モード	3D フォーマット		
	フレーム シーケンシャル	サイドバイサイド	トップアンドボトム
NTSC	○	×	×
PAL	○	×	×

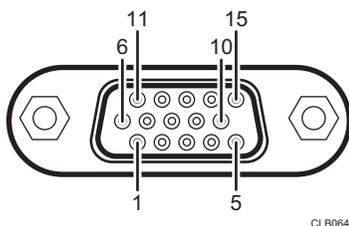
HDMI 入力

モード	周波数		3D フォーマット			
	垂直 (Hz)	クロック (MHz)	フレーム シーケンシャル	サイドバイ サイド	トップアンド ボトム	フレーム パッキング
640 × 480	59.93	25.17	○	○	○	×
800 × 600	60.32	40.00	○	○	○	×
1024 × 768	60.00	65.00	○	○	○	×
1280 × 960	60.00	108.00	○	○	○	×
1280 × 1024	60.02	108.00	○	○	○	×
1360 × 768	60.02	85.50	○	○	○	×
1366 × 768	60.00	72.00	○	○	○	×
	59.79	85.50	○	○	○	×
1440 × 900	59.90	88.75	○	○	○	×
	59.89	106.50	○	○	○	×
1600 × 900	60.00	108.00	○	○	○	×
1600 × 1200	60.00	162.00	○	○	○	×
1680 × 1050	59.88	119.00	○	○	○	×
	59.95	146.25	○	○	○	×
480i	59.940	13.500	○	○	○	×
576i	50.000	13.500	○	○	○	×
480p	59.940	27.000	×	○	○	×
576p	50.000	27.000	×	○	○	×
720 / 60p	60.000	74.250	×	○	○	×
1080 / 60i	60.000	74.250	×	○	○	×
1080 / 60p	60.000	148.500	×	○	○	×
720 / 50p (Frame Packing)	50.000	148.500	×	×	×	○
720 / 60p (Frame Packing)	59.940/60.000	148.350/148.500	×	×	×	○
1080 / 24p (Frame Packing)	23.976/24.000	148.350/148.500	×	×	×	○
1080 / 50i (Side by Side)	50.000	74.250	×	○	×	×
1080 / 60i (Side by Side)	59.940/60.000	74.176/74.250	×	○	×	×
720 / 50p (Top and Bottom)	50.000	74.250	×	×	○	×
720 / 60p (Top and Bottom)	59.940/60.000	74.176/74.250	×	×	○	×
1080 / 24p (Top and Bottom)	23.976/24.000	74.176/74.250	×	×	○	×

接続端子の仕様

Computer In 端子

ピン配列



ピン番号	信号内容	
	RGB 入力時	Y/Pb/Pr 入力時
1	映像信号 (R)	色差信号 (Pr)
2	映像信号 (G)	輝度信号 (Y)
3	映像信号 (B)	色差信号 (Pb)
4	N.C	-
5	GND	-
6	GND (R)	GND (Pr)
7	GND (G)	GND (Y)
8	GND (B)	GND (Pb)
9	N.C	-
10	GND	-
11	N.C	-
12	I ² C Data	-
13	水平同期信号	-
14	垂直同期信号	-
15	I ² C CLOCK	-

入力信号

- RGB 入力

R、G、B 信号 : 0.7V (p-p)、75Ω

水平同期信号 : TTL レベル (正/負極性)

垂直同期信号：TTL レベル（正／負極性）

- Y/Pb/Pr 入力

Y 信号：1.0V (p-p)、75Ω

Pb、Pr 信号：0.7V (p-p)、75Ω

コントロール端子

インターフェースのフォーマット

通信方式	RS-232C、115,200bps、パリティなし、データ長：8 ビット、ストップビット：1 ビット
通信フォーマット	'#(23h)' + Command + CR(0Dh) 一回の通信で 1 コマンドだけ有効 使用できるコマンドは、「おもなコマンド」を参照
データフォーマット	入力コマンドは ASCII 準拠の大文字英数
返信	<ul style="list-style-type: none"> • 応答（異常終了） '=(3Dh)' + Command + ':(3Ah)' + 'E(45h)' + 'R(52h)' + '0(30h)' + CR(0Dh) • 非応答 '=(3Dh)' + 'E(45h)' + 'R(52h)' + '0(30h)' + CR(0Dh) 正常終了時の応答は、「おもなコマンド」を参照

おもなコマンド

項目	コマンド	正常終了時の応答 *
電源オン	PON	=PON:SC0
電源オフ	POF	=POF:SC0
ガイダンス表示オン	ICN:1	=ICN:1
ガイダンス表示オフ	ICN:0	=ICN:0
オートセット (RGB 入力)	PAT	=PAT:SC0
状態表示オン	DON	=DON:SC0
状態表示オフ	DOF	=DOF:SC0
入力信号 コンピューター	INP:1	=INP:1
入力信号 HDMI	INP:5	=INP:5
入力信号 ネットワーク PC	INP:12	=INP:12

* 終端に CR が付きます。

↓ 補足

- コントロール端子は、サービス実施店や管理者用の端子です。
- コントロール端子を使用して本機を制御するには、USB ドライバーのインストールが必要です。詳しくはサービス実施店にお問い合わせください。

搭載されているソフトウェアの著作権等に関する情報

本製品には、オープンソースソフトウェア、およびサードパーティー製ソフトウェアが使用されています。それらの著作権に関する情報は、付属の CD-ROM の「OSS」フォルダーから確認できます。

また、次の URL からソースコードの閲覧、ダウンロードができます。

http://www.support-download.com/bb/html/dr_ut_e/oss/index.htm

ファームウェアを更新する

最新のファームウェアをリコーのホームページからダウンロードできます。更新手順は、ファームウェアに付属の「ファームウェア更新手順書」を参照してください。

↓ 補足

- メニュー画面でファームウェアのバージョンを確認できます。
 - メイン FW バージョン：状態表示メニュー
 - Network・USB 機能 FW バージョン：ネットワーク・USB 設定メニュー⇒ネットワーク設定メニューまたは USB 設定メニューまたはネットワークアプリ設定メニュー⇒状態表示

お問い合わせ先

消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売担当者にご注文ください。

<http://www.ricoh.co.jp/office/supply/index.html>

保守部品について

補修用性能部品及び消耗品の最低保有期間は、本機の製造中止後、7年間です。したがって、本期間以降は、修理をお引き受けできない場合があります。

故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、販売担当者にお問い合わせください。修理範囲(サービスの内容)、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

転居の際は、販売担当者にご連絡ください。転居先の最寄りの販売担当者をご紹介します。

操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター（ご購入後のお客様専用ダイヤル）」にお問い合わせください。

050-3786-6777

上記番号をご利用いただけない方は、03-4330-0925 をご利用ください。

- 受付時間：平日（月～金）9時～12時、13時～17時（土日、祝祭日、弊社休業日を除く）
- 050 ビジネスダイヤルは、一部のIP電話を除き、通話料はご利用者負担となります。
- お問い合わせの際に機番を確認させていただく場合があります。

※お問合せの内容・発信者番号は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただいております。

※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

<http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html>

最新ソフトウェア情報

最新版のファームウェアやユーティリティーをインターネットのリコーホームページから入手できます。

<http://www.ricoh.co.jp/download/index.html>

商標

Adobe、Acrobat、Flash Player、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

AMX および AMX ロゴは米国 AMX LLC の登録商標です。



Crestron、Crestron ロゴおよび RoomView は、Crestron Electronics, Inc.の登録商標です。



DLNA、DLNA ロゴ、および DLNA CERTIFIED は Digital Living Network Alliance の商標および登録商標です。



DLP はテキサス・インスツルメンツの登録商標です。DLP Link はテキサス・インスツルメンツの商標です。

HDMI、High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。

Macintosh、Mac OS、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

Microsoft、PowerPoint、Windows、Windows Server、Windows Vista、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Miracast は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。

PJLink 商標および PJLink ロゴは、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。



VGA は IBM Corporation の商標または登録商標です。

Wi-Fi CERTIFIED ロゴは Wi-Fi Alliance の商標および登録商標です。



Internet Explorer 8 の正式名称は Windows® Internet Explorer® 8 です。

- Windows Vista の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft® Windows Vista® Ultimate
 - Microsoft® Windows Vista® Business
 - Microsoft® Windows Vista® Home Premium
 - Microsoft® Windows Vista® Home Basic
- Windows 7 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft® Windows® 7 Home Premium
 - Microsoft® Windows® 7 Professional
 - Microsoft® Windows® 7 Ultimate
 - Microsoft® Windows® 7 Enterprise
- Windows 8 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft® Windows® 8
 - Microsoft® Windows® 8 Pro
 - Microsoft® Windows® 8 Enterprise
- Windows 8.1 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft® Windows® 8.1
 - Microsoft® Windows® 8.1 Pro
 - Microsoft® Windows® 8.1 Enterprise
- Windows 10 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft® Windows® 10 Home
 - Microsoft® Windows® 10 Pro
 - Microsoft® Windows® 10 Enterprise
- Windows Server 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition
- Windows Server 2008 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft® Windows Server® 2008 Standard
- Windows Server 2008 R2 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

索引

記号・数字

3D 投影.....	116
3D フォーマット.....	178

アルファベット

AC In ソケット.....	21
AMX Device Discovery.....	132
Audio In 端子.....	21
Audio Out 端子.....	21
AV 機器との接続.....	34
AV ミュートボタン.....	18, 22, 48
Computer In 端子.....	21, 180
Crestron RoomView.....	133, 167
Crestron WebUI.....	167, 168
D-Sub-コンポーネント変換ケーブル.....	34
DLNA.....	81, 82
DLNA サーバー.....	83, 84
DNS 設定.....	129
DVI-HDMI 変換ケーブル.....	33
FAQ.....	146
HDMI ケーブル.....	32, 34
HDMI 端子.....	20
HTTP サーバー設定.....	130
JPEG 変換ツール.....	57, 58
Language / 言語.....	120
LAN 共通.....	129
LAN ケーブル.....	33
LAN ケーブルの接続.....	69
LAN 端子.....	20
Miracast.....	86, 135
PC 用アダプター登録.....	91
PJLink.....	133, 136, 160, 161
QuickProjection.....	78, 79
RGB ケーブル.....	32
RGB 入力レンジ.....	113
RICOH PJ Interactive Software.....	96
TCP/IP の設定.....	125, 126
Ultra Short Throw Projector Setting Guide... 9	
USB 機器の接続.....	53
USB 機器の取り外し.....	55
USB コネクター.....	99
USB 設定メニュー.....	122
USB 端子.....	20

USB メモリーからの画像投影.....	53, 54
USB メモリーからのファイル投影.....	51, 53
Video In 端子.....	20
Web Image Monitor.....	132, 164

あ

青レベル.....	112
明るさ.....	112
赤レベル.....	112
アスペクト.....	115
アドホックモード.....	76
一時消去.....	48
一時停止.....	48
イメージエコ.....	117
色あい.....	113
色の濃さ.....	113
インジケータ表示一覧.....	139
インタラクティブ.....	119
インタラクティブ機能.....	89
インタラクティブ機能のセットアップ... 89	
インタラクティブバージョン.....	137
インタラクティブモード.....	90
インフラストラクチャーモード.....	73, 75
エアフィルター.....	152
映像調整メニュー.....	112
映像の著作権.....	7
映像の投影.....	37, 39, 83, 84
映像モード.....	112
エコボタン.....	23, 48
エコモード.....	48
エコモード時間比率.....	137
閲覧モード.....	166
エラー.....	139
お客様登録.....	11
おことわり.....	7
お問い合わせ先.....	185
音質.....	46, 68, 116
音質ボタン.....	23, 46, 68
温度インジケータ.....	19
温度エラー.....	139
音量の調整.....	46
音量ボタン.....	23, 46

か

解像度	137
ガイダンス表示	119
外部スピーカーとの接続	35
拡大	47
壁色モード	115
簡単設定	125
管理者認証	134, 136
管理者パスワード	134
管理ツール	132
キーロック	121
機器との接続	32
起動パスワード	121
吸気口	21
クローズドキャプション	116
決定ボタン	18, 23
現在時刻	120, 137
ケンジントンスロット	21
高地モード	121
この本の読みかた	10
困ったときには	139, 143
困ったときには (インタラクティブ機能)	104, 106
コントラスト	112
コントロール端子	181

さ

サーバー	135
識別コード	130
自動台形補正	115
自動入力検索	119
シャープネス	112
周波数	137
縮小	44
省エネ設定メニュー	117
使用上のお願い	149
使用説明書	9
使用説明書<インタラクティブ機能>	9
状態表示	123, 130, 136, 137
商標	186
消耗品	171
仕様 (接続端子)	180
仕様 (本体)	173
初期設定 1 メニュー	119

初期設定 2 メニュー	120
信号オートセット	113
信号詳細設定	113, 114
信号フォーマット	137
数字ボタン	22
ズーム	115
ズームボタン	23, 44
スタートガイド	9
スタートガイド<インタラクティブ機能>	9
スタート画面	119
スタートメニュー	38
スピーカー	19
すべてを初期化	111, 121
スライドショー	61, 65
スライドショーの自動スタート	61, 63
静止画	135
清掃	152, 153, 154, 155
セキュリティ	126, 134
セキュリティスロット	21
設置状態	120
設置方法	29
設定ウィザード	130
設定の初期化	111
設定の変更	109
説明書	9
選択ボタン	19, 22
総 CO2 削減量	137
操作部	18
ソフトウェアの著作権	183

た

対応 3D フォーマット	178
対応信号	175
対応信号一覧 (HDMI 入力)	177
対応信号一覧 (Y/Pb/Pr 入力)	175
対応信号一覧 (コンピューター入力)	176
対応信号一覧 (ビデオ入力)	175
待機時 NW 設定	118
待機時電源	117
台形補正	115
台形補正ボタン	23, 43
台形ゆがみ	43
タイマー	49
タイマーボタン	23, 49

ダイレクトパワーオン.....	121
正しくお使いいただくために.....	10
注意事項.....	13
著作権.....	7
通信インジケーター.....	98
底面吸気口.....	153
デジタルカメラからの画像投影.....	53, 54
デジタルカメラからのファイル投影.....	51, 53
デジタルズーム.....	44
電源スイッチ.....	99
電源タイマー.....	61, 120
電源の切断.....	40
電源の投入.....	37
電源ボタン.....	18, 22, 37, 40
電子ペン.....	94, 98, 99, 101, 103
電子ペンの充電.....	103
電池インジケーター.....	98
電池の交換.....	25
投影.....	37, 39
投影角度.....	42
投影画面サイズ.....	31
投影距離.....	31
投影高さ.....	31
投影窓.....	19, 154
投影リモート制御.....	135
動画.....	135
同期.....	137
トータル時間.....	137

な

ナレーション.....	68
入力.....	137
入力検知起動.....	121
入力信号.....	39
入力ボタン.....	18, 22, 39
ネットワークアプリ設定メニュー.....	132
ネットワーク接続.....	69, 71
ネットワーク接続ガイド.....	9
ネットワーク設定ウィザード.....	72, 73, 75, 76, 130
ネットワーク設定メニュー.....	124
ノイズリダクション.....	113
ノート型パソコン.....	40

は

ハードエラー.....	139
排気口.....	20
はじめに.....	7
はじめにお読みください.....	9
パソコン画面の投影.....	40
パソコンとの接続.....	32
パソコン用 USB アダプター.....	91
ビープ音.....	119
ビデオケーブル.....	34
ビデオモード.....	137
表示・音設定メニュー.....	115
表示位置.....	115
表示間隔.....	66
表示効果.....	65
ピント.....	42
ファームウェア更新.....	184
ファームウェアバージョン.....	131, 136
ファンエラー.....	139
フォーカスレバー.....	20
付属品.....	17
フットアジャスター.....	20, 42
部分拡大ボタン.....	22, 47
フリーズボタン.....	22, 48
プレゼンテーションタイマー.....	49
プロジェクター ID.....	130
プロジェクター管理ユーティリティ.....	160, 161
プロジェクター管理ユーティリティのインストール.....	160
プロジェクター検索設定.....	129
プロジェクターの起動.....	37
プロジェクターの終了.....	40
プロジェクター名.....	130
ページボタン.....	23
ペン先スイッチ.....	98
編集モード.....	166
ポイント位置補正ボタン.....	98
保守契約.....	151
本機の特長.....	15
本書についてのご注意.....	10
本体各部の名称とはたらき.....	18
本体上面.....	18

本体正面.....	19	リモコン ID ボタン.....	23, 26, 27
本体底面.....	21	リモコン各部の名称とはたらき.....	22
本体背面.....	20	リモコン受光部.....	19
本体左側面.....	19	リモコンの使いかた.....	24
本体右側面.....	20		

ま

マークについて.....	10
マウス左ボタン.....	98
マウス右ボタン.....	98
右クリックボタン.....	23
緑レベル.....	112
ミュージック.....	68
無信号時ランプパワー.....	117
無信号電源オフ.....	117
無信号背景.....	119
無線 LAN.....	33, 125
無線 LAN 簡単セットアップ.....	73
無線 LAN 設定の初期化.....	129
無線 LAN の設定.....	73, 75, 76, 125
無線 LAN を使用するときの注意.....	70
メイン FW バージョン.....	137
メニュー画面.....	107, 109
メニューボタン.....	18, 22
文字入力.....	26

や

有効範囲.....	24
ユーザーロゴ.....	119
有線 LAN.....	124
有線 LAN の設定.....	72, 124
優先デフォルトゲートウェイ.....	129
よくある質問.....	143

ら

ランプ.....	156
ランプインジケータ.....	19
ランプカバー.....	21
ランプ交換.....	156
ランプ時間.....	137
ランプパワー.....	117
ランプリセットカウント.....	137
リモコン.....	22, 24, 25
リモコン ID.....	26, 27, 121

株式会社リコー

東京都中央区銀座8-13-1 〒104-8222

<http://www.ricoh.co.jp/>

